

**第 1 5 回 国立市政世論調査
報告書**

2 0 1 4 年 1 0 月

目次

・調査概要	2
・調査結果	6
1．市政全般の評価度と優先度	6
2．国立市の住みやすさ	14
3．コミュニティ	18
4．社会貢献的な市民活動	25
5．子どもや若者のために	32
6．健康と福祉	38
7．地域振興と観光、消費者	44
8．環境（水・緑）	50
9．環境（ごみとリサイクル）	54
10．男女平等・人権・平和、個人情報保護	60
11．防災対策について	68
12．公共施設について	70
13．市政への関心	78
14．自由意見	84
・資料	85
1．調査票	85
2．集計データ（単純集計結果）	107

． 調査概要

1 調査の目的

この調査は、国立市民の市政に対する意見・要望などを把握し、今後の総合基本計画策定及びまちづくりの参考とするものである。

2 調査の内容

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1) 市政全般の評価度と優先度 | (2) 国立市の住みやすさ |
| (3) コミュニティ | (4) 社会貢献的な市民活動 |
| (5) 子どもや若者のために | (6) 健康と福祉 |
| (7) 地域振興と観光、消費者 | (8) 環境(水・緑) |
| (9) 環境(ごみとリサイクル) | (10) 男女平等・人権・平和・個人情報保護 |
| (11) 防災対策について | (12) 公共施設について |
| (13) 市政への関心 | |

3 調査の設計

- (1) 調査地域 国立市全域
- (2) 調査対象 国立市在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 調査方法 郵送による配票、回収
- (5) 調査期間 2014 年(平成 26 年)6 月 1 日～6 月 23 日

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000 人(100.0%)
- (2) 有効回収数 1,017 人(有効回収率 33.9%)
- (3) 回答者の属性 次ページグラフ参照

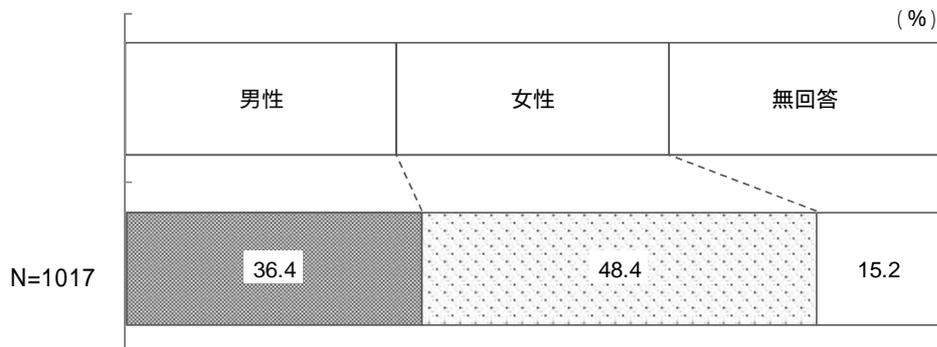
5 報告書を見るにあたって

- (1) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない。
- (2) 2 つ以上の回答を要する(複数回答)質問では、その回答比率の合計は 100%を超える。
- (3) 各質問における回答数(基数)を「N」と表記する。図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答を除いているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は一致していない。
- (4) 図表中の記号の意味は、以下のとおり。

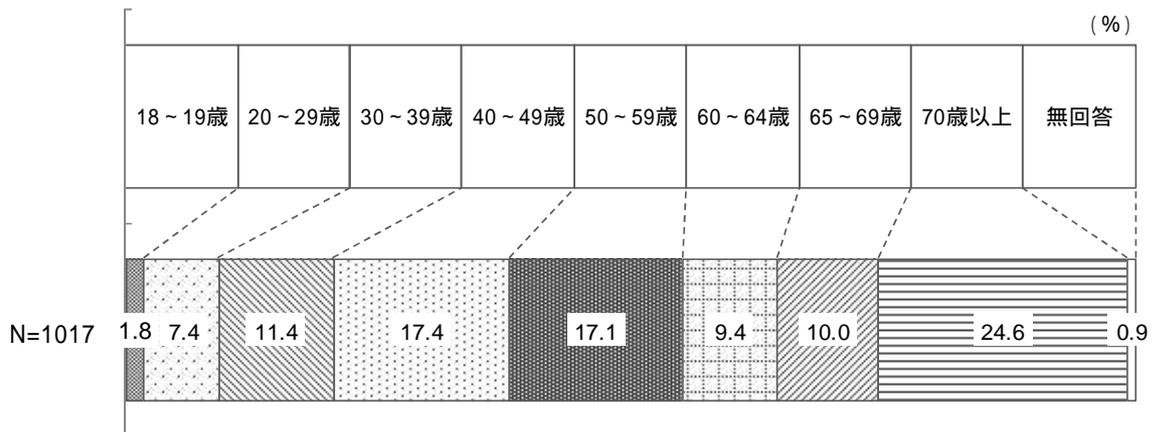
全体値より	: +20%以上高い	: -20%以上低い
	○ : +15～20%高い	: -15～20%低い
	: +10～15%高い	: -10～15%低い

6 回答者の属性

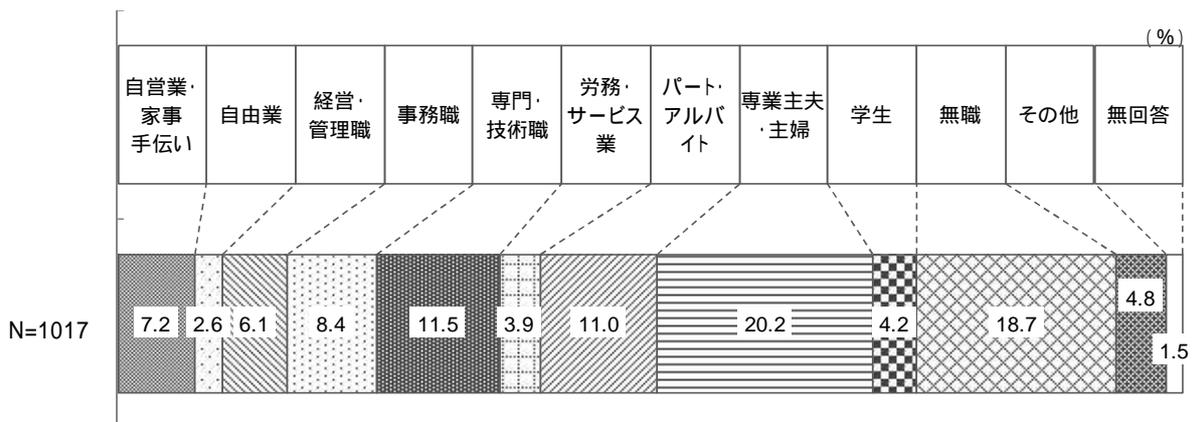
(1) 性別



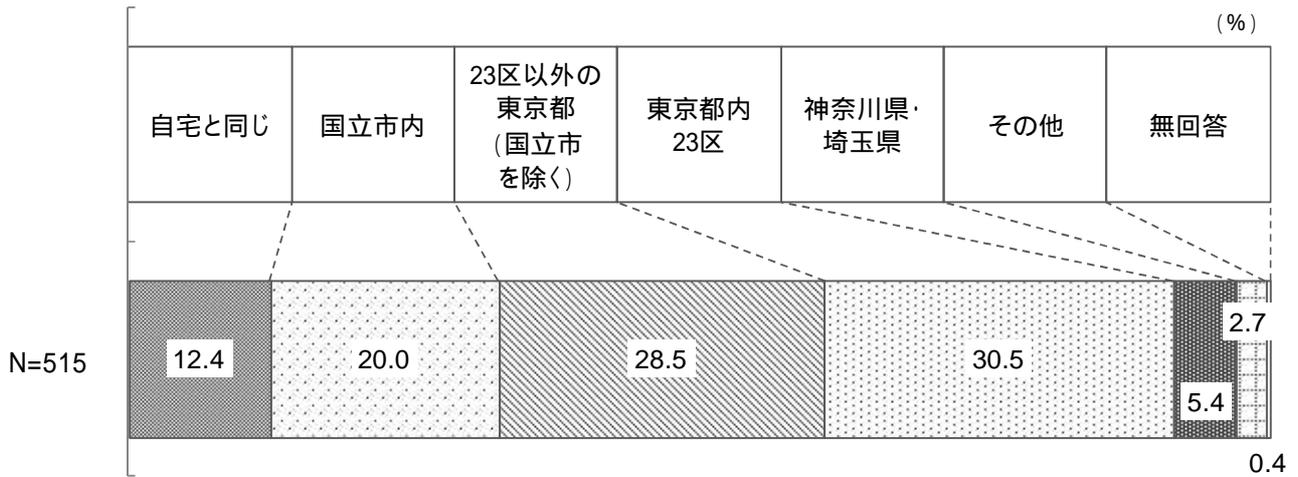
(2) 年齢



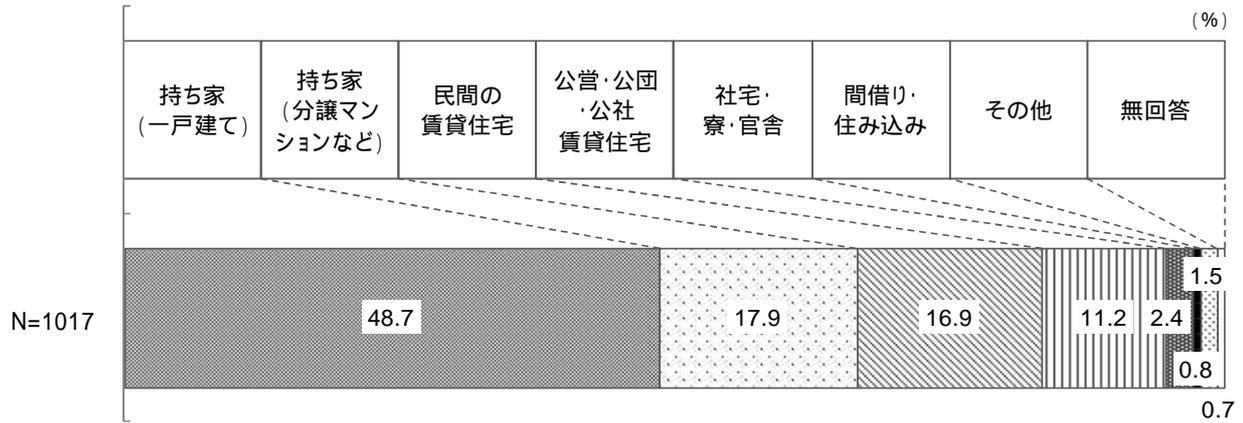
(3) 職業



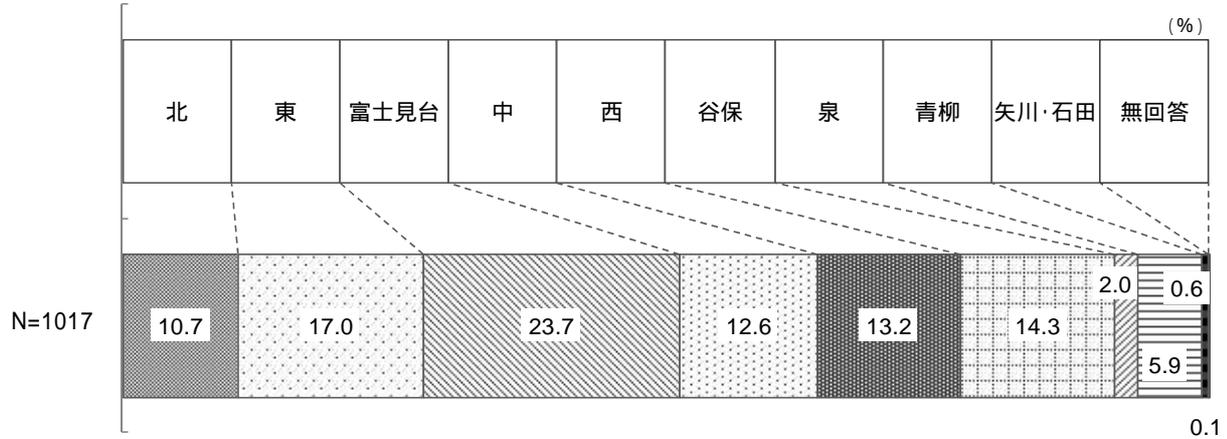
(4) 勤務者の職場地域



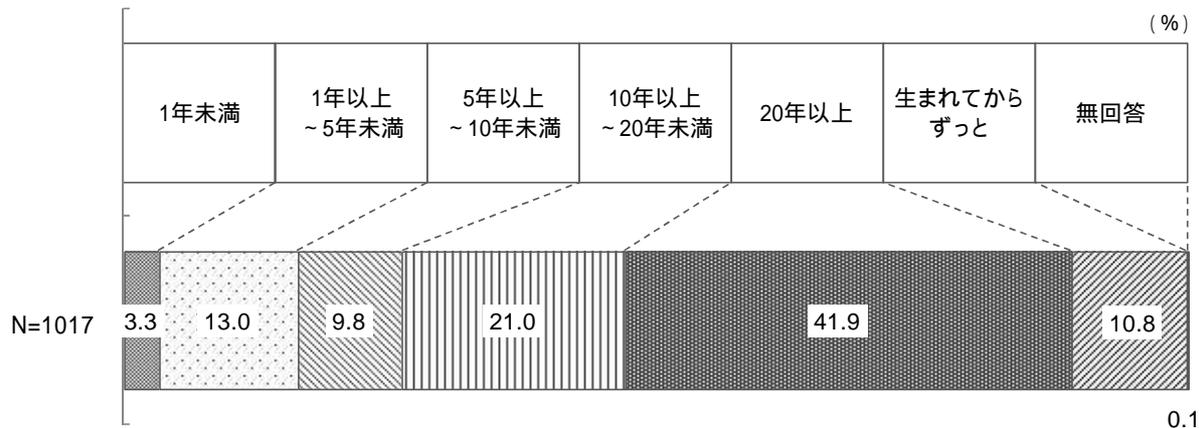
(5) 住居形態



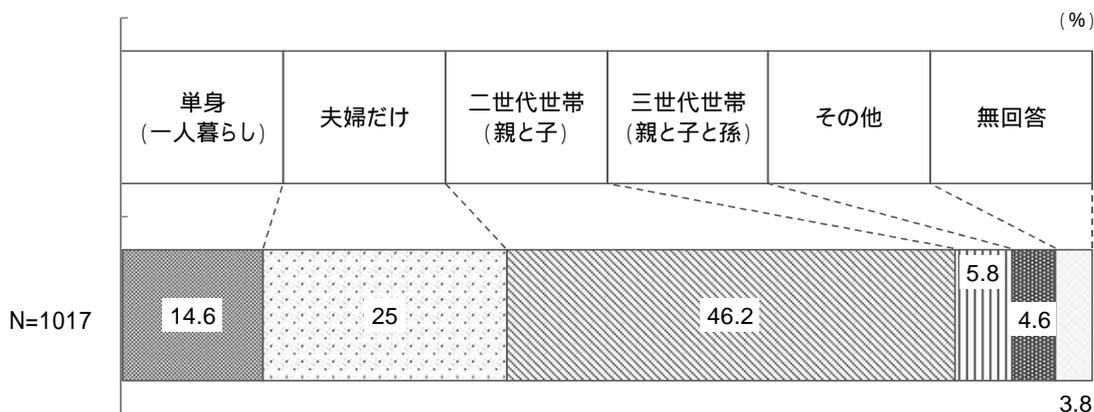
(6) 居住地域



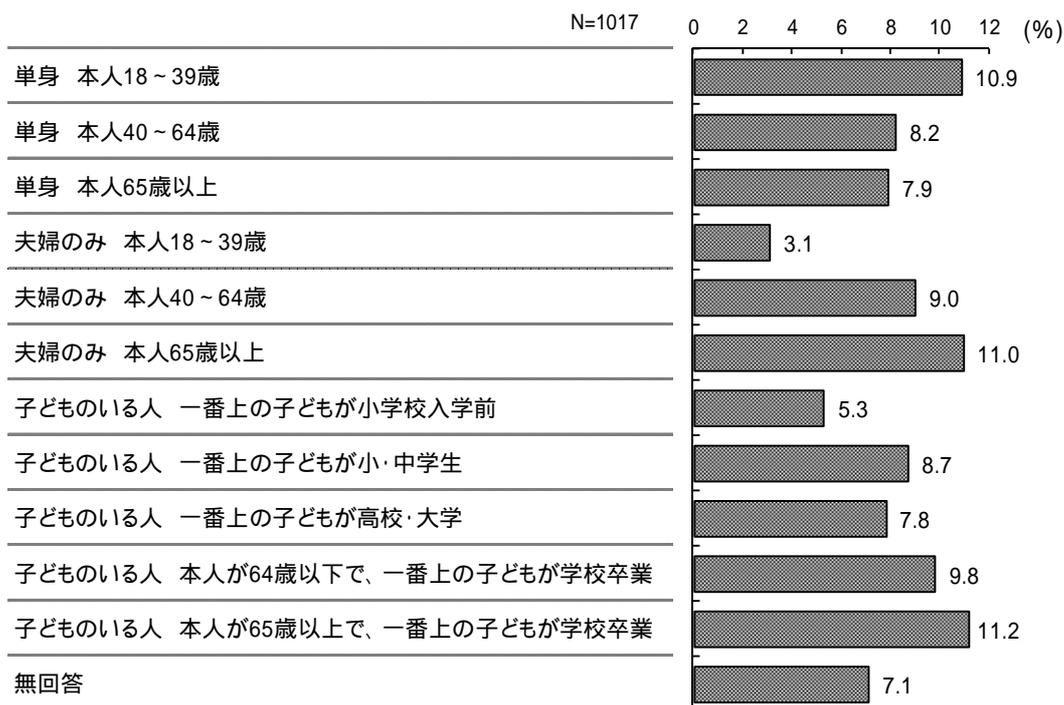
(7) 居住年数



(8) 家族構成



(9) 家族形態



．調査結果

1．市政全般の評価度と優先度

問1 国立市では、基本計画にて施策を定め、計画的に行政運営やまちづくりを行っています。あなたは、以下の基本計画上の施策の取組みについて、どの程度評価していますか。また、今後それらに対して、どのくらい力を入れてほしいと思いますか。各項目の当てはまる番号に をつけてください。

(1) 現在の評価度

国立市の基本計画上の32の施策の取組みについての評価をみたのが次ページのグラフである。「わからない」との回答が30%を超える施策も多数みられるが、「評価できる」と「どちらかといえば評価できる」の合計値が50%を超える施策は、以下の10施策となっている。

ただし、この10施策のうち「評価できない」と「どちらかといえば評価できない」の合計値が20%を超える施策が4施策あることに留意しておく必要がある。

【「評価できる」と「どちらかといえば評価できる」の合計値が50%を超える施策】

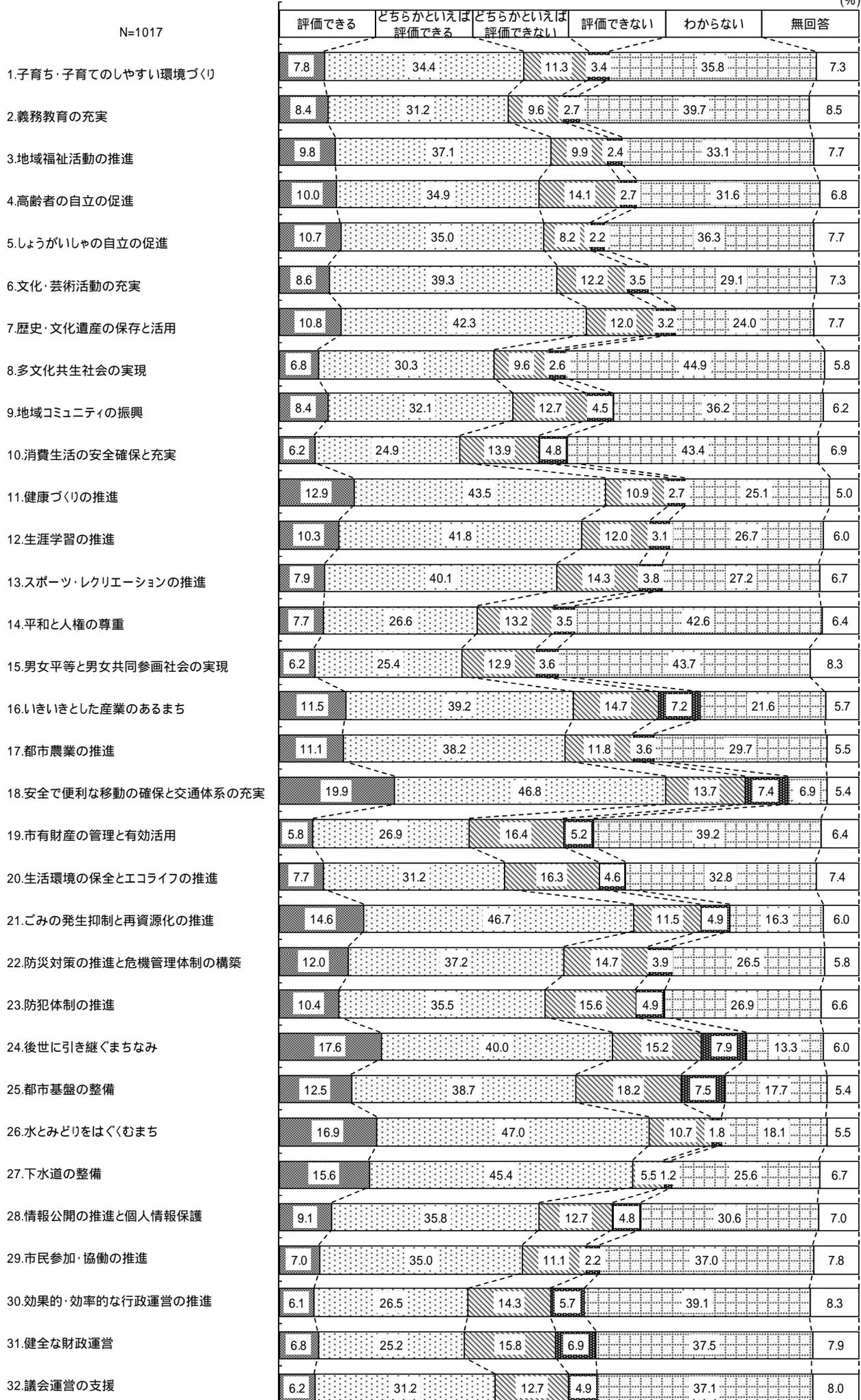
	評価できる計	評価できない計
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	66.7	21.1
26.水とみどりをはぐくむまち	63.9	12.5
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	61.3	16.4
27.下水道の整備	61.0	6.7
24.後世に引き継ぐまちなみ	57.6	23.1
11.健康づくりの推進	56.4	13.6
7.歴史・文化遺産の保存と活用	53.1	15.2
12.生涯学習の推進	52.1	15.1
25.都市基盤の整備	51.2	25.7
16.いきいきとした産業のあるまち	50.7	21.9

「評価できる」と「どちらかといえば評価できる」の合計値が50%を下回り、「評価できない」と「どちらかといえば評価できない」の合計値が20%を超える施策は、以下の5施策となっている。

【「評価できない」と「どちらかといえば評価できない」の合計値が20%を超える施策】

	評価できる計	評価できない計
31.健全な財政運営	32.0	22.7
19.市有財産の管理と有効活用	32.7	21.6
20.生活環境の保全とエコライフの推進	38.9	20.9
23.防犯体制の推進	45.9	20.5
30.効果的・効率的な行政運営の推進	32.6	20.0

N=1017



(2) 今後の優先度

国立市の基本計画上の32の施策の取り組みについて、今後の優先度をみたのが次ページのグラフである。

「特に力を入れてほしい」と「力をいれてほしい」の合計値が75%を超える施策は、以下の9施策となっている。

【「特に力を入れてほしい」と「力をいれてほしい」の合計値が75%を超える施策】

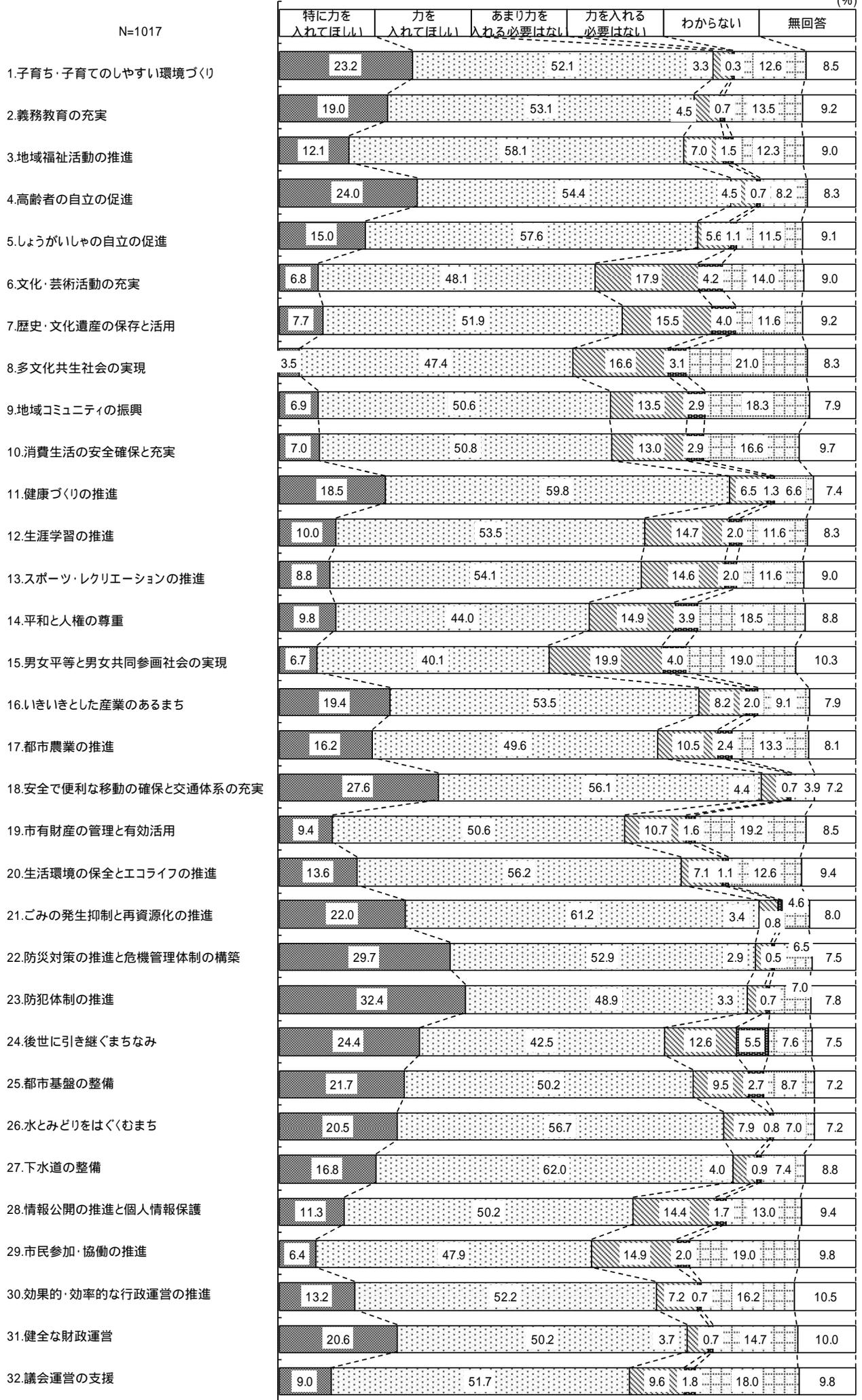
	力を入れてほしい計	力を入れる必要はない計
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	83.7	5.1
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	83.2	4.2
22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	82.6	3.4
23.防犯体制の推進	81.3	4.0
27.下水道の整備	78.8	4.9
4.高齢者の自立の促進	78.4	5.2
11.健康づくりの推進	78.3	7.8
26.水とみどりをはぐくむまち	77.2	8.7
1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	75.3	3.6

なお、「力を入れる必要はない」と「あまり力を入れる必要はない」の合計値が20%台の施策は、以下の2施策となっている。

【「力を入れる必要はない」と「あまり力を入れる必要はない」の合計値が20%台の施策】

	力を入れてほしい計	力を入れる必要はない計
15.男女平等と男女共同参画社会の実現	46.8	23.9
6.文化・芸術活動の充実	54.9	22.1

N=1017



(3) 現在の評価度と今後の優先度からみたゾーニング分析

現在の評価度と今後の優先度から、以下の基準により32施策の整理を行った。なお、現在の評価度と今後の優先度における各施策の平均値の算出方法は以下のとおりである。

「評価できる」「特に力を入れてほしい」=「4」
「どちらかといえば評価できる」「力を入れてほしい」=「3」
「どちらかといえば評価できない」「あまり力を入れる必要はない」=「2」
「評価できない」「力を入れる必要はない」=「1」
として得点を与え、「4」から「1」の回答者をベースに加重平均値を計算。

なお、現在の評価度平均値2.82と今後の優先度平均値3.02は、32施策のそれぞれの平均値を加算し、32で割った値である

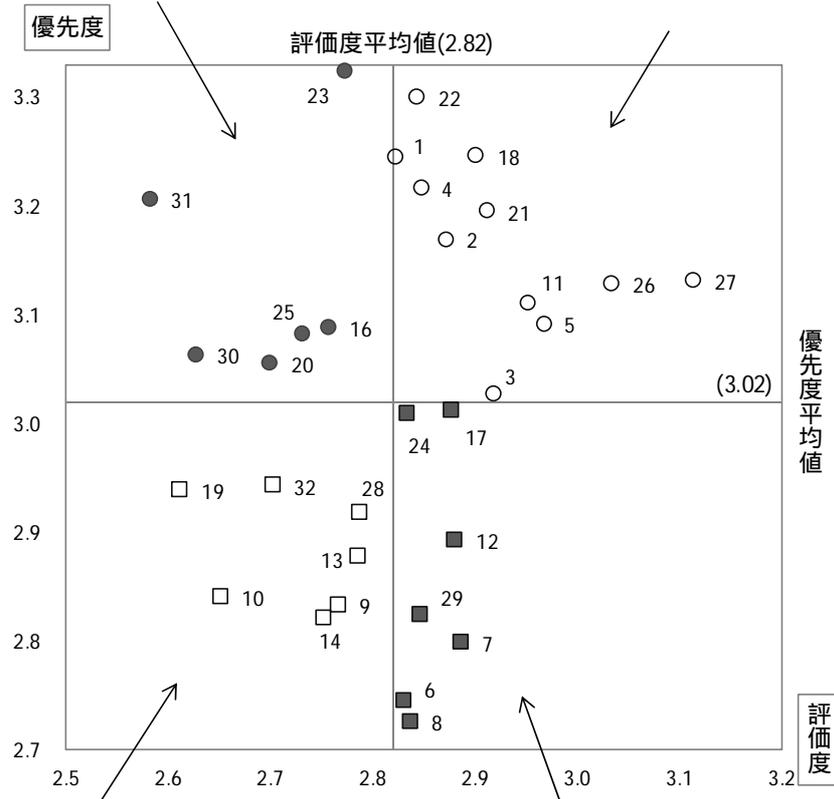
- Aゾーンの施策...優先度平均値3.02を上回り、評価度平均値2.82を下回る施策。
(優先度が高いにもかかわらず、評価度が低いことから、改善の必要がある施策)
- Bゾーンの施策...優先度平均値3.02、評価度平均値2.82をともに上回る施策。
(優先度、評価度ともに高く、今後も継続して維持していけばよい施策)
- Cゾーンの施策...優先度平均値3.02、評価度平均値2.82をともに下回る施策。
(優先度、評価度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)
- Dゾーンの施策...優先度平均値3.02を下回るが、評価度平均値2.82を上回る施策。
(優先度は低いですが、評価度は高く、現状の評価度を維持していけばよい施策)

現在の評価度と今後の優先度の平均値をもとに、上記の基準により施策を4つのゾーンにプロットしたのが、次ページの図である。ゾーンごとの施策数は以下のとおりとなっている。

ゾーン	施策数
Aゾーン (優先度が高いにもかかわらず、評価度が低いことから、改善の必要がある施策)	6 施策
Bゾーンの施策 (優先度、評価度ともに高く、今後も継続して維持していけばよい施策)	11 施策
Cゾーンの施策 (優先度、評価度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)	8 施策
Dゾーンの施策 (優先度は低いですが、高い評価度を得ており、今後も継続して維持していけばよい施策)	7 施策

Aゾーン(優先度が高いにもかかわらず、評価度が低いことから、改善の必要がある施策)

Bゾーン(優先度、評価度ともに高く、今後も継続して維持していけばよい施策)



Cゾーン(優先度、評価度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

Dゾーン(優先度は低いが、高い評価度を得おり、今後も継続して維持していけばよい施策)

		評価度	優先度
Aゾーン	23.防犯体制の推進	2.77	3.32
	16.いきいきとした産業のあるまち	2.76	3.09
	25.都市基盤の整備	2.73	3.08
	20.生活環境の保全とエコライフの推進	2.70	3.06
	30.効果的・効率的な行政運営の推進	2.63	3.06
	31.健全な財政運営	2.58	3.21
Bゾーン	27.下水道の整備	3.11	3.13
	26.水とみどりをはぐくむまち	3.03	3.13
	5.しょうがいしゃの自立の促進	2.97	3.09
	11.健康づくりの推進	2.95	3.11
	3.地域福祉活動の推進	2.92	3.03
	21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	2.91	3.19
	18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	2.90	3.25
	2.義務教育の充実	2.87	3.17
	4.高齢者の自立の促進	2.85	3.22
	22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	2.84	3.30
Cゾーン	1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	2.82	3.24
	19.市有財産の管理と有効活用	2.61	2.94
	10.消費生活の安全確保と充実	2.65	2.84
	32.議会運営の支援	2.70	2.94
	15.男女平等と男女共同参画社会の実現	2.71	2.70
	14.平和と人権の尊重	2.75	2.82
	9.地域コミュニティの振興	2.77	2.83
Dゾーン	13.スポーツ・レクリエーションの推進	2.79	2.88
	28.情報公開の推進と個人情報保護	2.79	2.92
	6.文化・芸術活動の充実	2.83	2.75
	24.後世に引き継ぐまちなみ	2.83	3.01
	8.多文化共生社会の実現	2.84	2.73
	29.市民参加・協働の推進	2.85	2.82
	17.都市農業の推進	2.88	3.01
12.生涯学習の推進	2.88	2.89	
7.歴史・文化遺産の保存と活用	2.89	2.80	
	平均値	2.82	3.02

性・年齢別に、現在の評価度と今後の優先度の平均値をみたのが以下の表である。

Aゾーンの施策としてあげられている施策数をみると、男性39歳以下は5施策、男性40～64歳は9施策、男性65歳以上は9施策、女性39歳以下は5施策、女性40～64歳は8施策、女性65歳以上は4施策となっている。なお、「31.健全な財政運営」は、男女の各年代層から共通してAゾーンにあげられている。

	男性						女性					
	39歳以下		40～64歳		65歳以上		39歳以下		40～64歳		65歳以上	
	評価度	優先度	評価度	優先度	評価度	優先度	評価度	優先度	評価度	優先度	評価度	優先度
1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	2.78	3.29	2.78	3.26	2.97	3.14	2.65	3.50	2.71	3.17	3.01	3.22
2.義務教育の充実	2.66	3.16	2.75	3.12	2.93	3.14	2.95	3.29	2.82	3.14	3.07	3.23
3.地域福祉活動の推進	2.84	2.88	2.84	3.01	2.85	3.04	3.13	3.01	2.91	3.06	3.03	3.12
4.高齢者の自立の促進	2.80	3.05	2.72	3.16	2.78	3.24	3.09	3.12	2.78	3.27	2.97	3.35
5.しょうがいしゃの自立の促進	3.03	3.05	2.85	3.10	2.76	3.11	3.11	3.10	2.98	3.09	3.15	3.15
6.文化・芸術活動の充実	2.85	2.76	2.68	2.64	2.74	2.74	3.01	2.63	2.83	2.73	2.92	2.86
7.歴史・文化遺産の保存と活用	2.93	2.80	2.74	2.69	2.77	2.77	3.02	2.81	2.87	2.82	3.05	2.90
8.多文化共生社会の実現	2.76	2.67	2.73	2.57	2.87	2.63	2.89	2.86	2.87	2.83	2.97	2.73
9.地域コミュニティの振興	2.86	2.70	2.66	2.83	2.77	2.90	2.88	2.80	2.78	2.84	2.91	2.90
10.消費生活の安全確保と充実	2.74	2.77	2.50	2.68	2.70	2.81	2.68	2.91	2.58	2.86	2.87	3.00
11.健康づくりの推進	2.98	3.02	2.83	2.99	2.84	3.12	3.03	3.22	2.87	3.12	3.20	3.21
12.生涯学習の推進	2.83	3.00	2.75	2.82	2.80	2.79	3.10	2.94	2.78	2.85	3.04	3.05
13.スポーツ・レクリエーションの推進	2.79	2.88	2.59	2.79	2.82	2.95	2.97	2.84	2.73	2.85	2.93	2.97
14.平和と人権の尊重	2.72	2.80	2.67	2.68	2.70	2.74	2.64	2.80	2.73	2.85	2.97	3.00
15.男女平等と男女共同参画社会の実現	2.75	2.56	2.66	2.58	2.75	2.74	2.75	2.74	2.61	2.71	2.85	2.87
16.いきいきとした産業のあるまち	2.85	3.12	2.70	2.97	2.41	3.03	2.96	3.26	2.79	3.05	2.81	3.23
17.都市農業の推進	2.93	2.86	2.72	2.90	2.59	2.82	3.10	3.14	2.95	3.07	2.98	3.12
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	2.85	3.35	2.78	3.21	2.94	3.15	2.95	3.35	2.82	3.22	3.10	3.26
19.市有財産の管理と有効活用	2.50	2.85	2.54	2.90	2.65	2.95	2.72	2.98	2.56	2.88	2.79	3.09
20.生活環境の保全とエコライフの推進	2.71	2.94	2.60	2.93	2.70	3.06	2.81	3.15	2.69	3.05	2.76	3.20
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	2.86	3.15	2.73	3.14	2.97	3.21	2.80	3.24	2.86	3.19	3.18	3.27
22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	2.93	3.40	2.77	3.24	2.67	3.18	2.87	3.37	2.85	3.35	3.10	3.34
23.防犯体制の推進	2.70	3.35	2.65	3.28	2.65	3.27	3.04	3.52	2.71	3.29	2.98	3.33
24.後世に引き継ぐまちなみ	2.90	3.09	2.76	2.94	2.75	2.82	2.98	3.06	2.79	3.00	2.94	3.24
25.都市基盤の整備	2.90	3.09	2.68	3.10	2.70	3.02	2.84	3.11	2.66	3.09	2.84	3.08
26.水とみどりをはくむまち	3.00	3.03	2.91	3.05	2.97	3.07	3.10	3.16	3.05	3.14	3.23	3.25
27.下水道の整備	2.98	2.90	3.00	3.04	3.17	3.15	3.07	3.15	3.11	3.18	3.32	3.24
28.情報公開の推進と個人情報保護	2.65	2.80	2.59	2.92	2.85	2.90	2.84	2.86	2.71	2.91	3.07	3.05
29.市民参加・協働の推進	2.76	2.72	2.73	2.68	2.72	2.85	3.00	2.93	2.93	2.89	2.98	2.92
30.効果的・効率的な行政運営の推進	2.64	2.97	2.43	3.01	2.65	3.26	2.65	3.02	2.57	3.03	2.87	3.13
31.健全な財政運営	2.58	3.24	2.48	3.16	2.67	3.27	2.55	3.20	2.50	3.21	2.78	3.22
32.議会運営の支援	2.63	2.86	2.52	2.77	2.79	3.00	2.81	2.88	2.59	2.96	2.95	3.10

評価度平均値:2.82、優先度平均値:3.02

評価度平均値未満、優先度平均値以上の値を で囲んでいる。

網掛けは、評価度平均値未満かつ優先度平均値以上の項目である

居住地区別に、現在の評価度と今後の優先度の平均値をみたのが以下の表である。

Aゾーンの施策としてあげられている施策数をみると、北は1施策、東は6施策、富士見台は5施策、中は7施策、西は6施策、谷保は8施策、泉、青柳、矢川、石田は12施策となっており、泉、青柳、矢川、石田で多さが目立っている。なお、「31.健全な財政運営」は、各居住地域から共通してAゾーンにあげられている。

	北		東		富士見台		中		西		谷保		泉、青柳、 矢川、石田	
	評価	優先度	評価	優先度										
1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	2.85	3.26	2.94	3.27	2.84	3.23	2.79	3.25	2.78	3.21	2.71	3.23	2.75	3.27
2.義務教育の充実	2.85	3.12	2.95	3.21	2.93	3.15	2.89	3.17	2.92	3.15	2.69	3.19	2.86	3.19
3.地域福祉活動の推進	2.94	2.94	2.95	3.05	2.87	3.09	3.10	3.01	2.91	2.99	2.82	3.03	2.91	3.00
4.高齢者の自立の促進	2.98	3.18	2.84	3.20	2.84	3.25	3.00	3.28	2.86	3.21	2.74	3.23	2.73	3.11
5.しょうがいしゃの自立の促進	3.00	3.04	3.10	3.07	2.97	3.15	3.06	3.11	2.83	3.11	2.88	3.05	2.86	3.05
6.文化・芸術活動の充実	2.84	2.69	2.85	2.78	2.87	2.77	2.85	2.74	2.84	2.81	2.73	2.70	2.82	2.67
7.歴史・文化遺産の保存と活用	3.05	2.71	2.89	2.81	2.90	2.82	2.85	2.88	2.83	2.76	2.85	2.76	2.90	2.82
8.多文化共生社会の実現	2.91	2.78	2.73	2.68	2.84	2.74	3.02	2.80	2.82	2.76	2.74	2.65	2.91	2.68
9.地域コミュニティの振興	3.00	2.86	2.72	2.83	2.82	2.81	2.64	2.78	2.69	2.84	2.72	2.85	2.75	2.93
10.消費生活の安全確保と充実	2.69	2.84	2.58	2.83	2.71	2.82	2.79	2.87	2.58	2.73	2.59	2.90	2.65	2.92
11.健康づくりの推進	3.01	3.07	3.06	3.11	2.95	3.12	2.88	3.16	2.89	3.14	2.98	3.05	2.81	3.11
12.生涯学習の推進	3.01	2.90	2.87	2.94	2.90	2.85	2.87	2.92	2.91	2.95	2.86	2.85	2.74	2.84
13.スポーツ・レクリエーションの推進	2.83	2.86	2.73	2.88	2.84	2.85	2.81	2.88	2.79	2.92	2.74	2.90	2.80	2.87
14.平和と人権の尊重	2.76	2.75	2.71	2.85	2.78	2.88	2.90	2.91	2.79	2.70	2.69	2.78	2.67	2.80
15.男女平等と男女共同参画社会の実現	2.77	2.71	2.68	2.77	2.75	2.74	2.86	2.71	2.68	2.63	2.58	2.62	2.67	2.67
16.いきいきとした産業のあるまち	2.82	3.10	2.83	3.13	2.76	3.01	2.74	3.15	2.64	3.11	2.76	3.12	2.74	3.04
17.都市農業の推進	3.02	2.89	2.85	2.99	2.91	3.00	2.96	3.17	2.83	3.05	2.84	2.96	2.70	3.06
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	3.03	3.20	2.95	3.22	3.00	3.22	2.86	3.23	2.78	3.34	2.87	3.26	2.67	3.29
19.市有財産の管理と有効活用	2.65	2.94	2.45	3.01	2.69	2.87	2.64	2.96	2.66	2.89	2.57	2.91	2.68	3.05
20.生活環境の保全とエコライフの推進	2.85	2.95	2.67	3.10	2.74	3.03	2.77	3.06	2.73	3.03	2.51	3.08	2.70	3.12
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	2.94	3.15	2.91	3.17	2.96	3.20	2.97	3.28	2.85	3.15	2.92	3.20	2.80	3.21
22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	2.85	3.25	2.81	3.24	2.87	3.28	2.84	3.34	2.84	3.33	2.86	3.39	2.84	3.27
23.防犯体制の推進	2.91	3.28	2.80	3.32	2.77	3.32	2.65	3.39	2.84	3.30	2.73	3.33	2.71	3.33
24.後世に引き継ぐまちなみ	2.90	2.99	2.93	3.24	2.81	2.96	2.83	3.10	2.89	3.08	2.76	2.88	2.66	2.62
25.都市基盤の整備	2.96	3.11	2.62	3.05	2.78	3.08	2.77	3.19	2.91	3.17	2.50	3.01	2.60	2.94
26.水とみどりをはくむまち	3.08	3.02	3.04	3.15	3.03	3.17	3.12	3.21	3.02	3.14	2.97	3.10	3.02	3.00
27.下水道の整備	3.19	3.06	3.15	3.16	3.06	3.16	3.17	3.18	3.11	3.12	3.11	3.11	3.02	3.07
28.情報公開の推進と個人情報保護	2.80	2.94	2.79	2.93	2.82	2.89	2.89	2.94	2.76	2.93	2.66	2.88	2.80	2.95
29.市民参加・協働の推進	2.98	2.86	2.83	2.75	2.82	2.87	2.90	2.89	2.77	2.76	2.80	2.80	2.91	2.88
30.効果的・効率的な行政運営の推進	2.77	2.97	2.63	3.08	2.70	3.03	2.45	3.15	2.81	3.11	2.42	3.05	2.59	3.03
31.健全な財政運営	2.81	3.19	2.49	3.16	2.64	3.17	2.48	3.24	2.68	3.27	2.45	3.21	2.59	3.29
32.議会運営の支援	2.83	2.93	2.66	2.99	2.67	2.89	2.67	2.94	2.75	2.94	2.68	2.97	2.77	2.97

評価度平均値:2.82、優先度平均値:3.02

評価度平均値未満、優先度平均値以上の値を で囲んでいる。

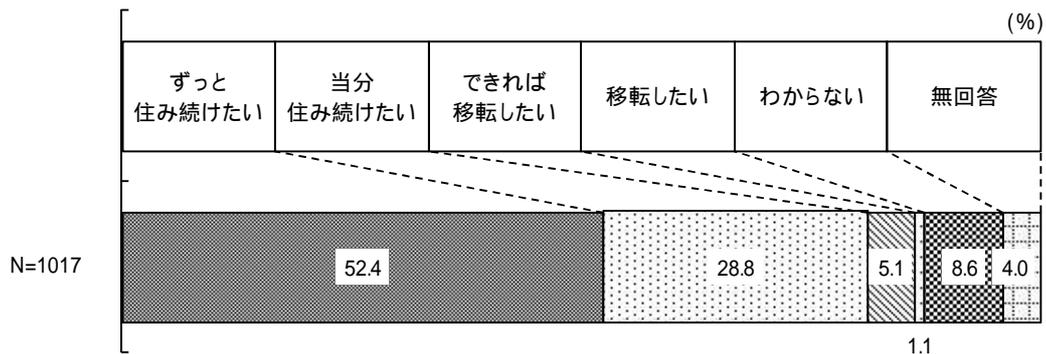
網掛けは、評価度平均値未満かつ優先度平均値以上の項目である

2. 国立市の住みやすさ

(1) 今後の居留意向

国立市への今後の居留意向をみると、「ずっと住み続けたい」は52.4%、「当分住み続けたい」は28.8%であり、この両者を合わせると81.2%と多数が“住み続けたい”としている。

問2 あなたはこれからも国立市に住み続けたいと思いますか。(は1つ)



前回の調査結果と比較すると、大きな変化はみられず、“住み続けたい”としている人が多数を占めている。

	(%)					
	ずっと住み続けたい	当分住み続けたい	できれば移転したい	移転したい	わからない	無回答
今回(H26)	52.4	28.8	5.1	1.1	8.6	4.0
前回(H22)	52.6	27.5	6.2	1.3	12.2	0.2
前々回(H15)	46.7	38.3	6.8	2.0	6.1	0.1

前々回(H15)調査は、標本数1,000(回収数707)、調査員の訪問による個別面接聴取法

性・年齢別にみると、男女とも39歳以下は「当分住み続けたい」との回答が多く、65歳以上は「ずっと住み続けたい」との回答が多くなっている。

居住地域別にみると、泉、青柳、矢川、石田では「できれば移転したい」との回答が15.1%とやや多くなっている。

家族形態別にみると、「ずっと住み続けたい」との回答は65歳以上で多くなっている。

(%)

	合計	ずっと住み続けたい	当分住み続けたい	できれば移転したい	移転したい	わからない	無回答
【全体】	1,017	52.4	28.8	5.1	1.1	8.6	4.0
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	35.1	44.6	6.8	1.4	12.2	0.0
男性 40～64歳	174	51.1	32.2	2.3	0.6	10.3	3.4
男性 65歳以上	117	65.8	21.4	6.0	0.0	3.4	3.4
女性 39歳以下	125	33.6	44.0	6.4	3.2	9.6	3.2
女性 40～64歳	220	47.3	28.6	7.3	1.8	10.9	4.1
女性 65歳以上	146	72.6	15.1	2.1	0.7	4.1	5.5
【居住地域】							
北	109	46.8	32.1	3.7	0.9	10.1	6.4
東	173	54.9	28.9	5.2	0.6	8.1	2.3
富士見台	241	58.5	25.3	4.1	0.8	7.9	3.3
中	128	52.3	32.0	3.1	0.0	7.8	4.7
西	134	53.7	29.1	3.0	3.0	8.2	3.0
谷保	145	47.6	33.1	4.8	0.7	7.6	6.2
泉、青柳、矢川、石田	86	44.2	22.1	15.1	2.3	12.8	3.5
【家族形態(ライフステージ)】							
単身 本人18～39歳	111	32.4	45.0	6.3	3.6	12.6	0.0
単身 本人40～64歳	83	41.0	36.1	7.2	1.2	12.0	2.4
単身 本人65歳以上	80	62.5	22.5	6.3	0.0	6.3	2.5
夫婦のみ 本人64歳以下	124	41.9	37.9	4.0	2.4	12.1	1.6
夫婦のみ 本人65歳以上	112	75.9	14.3	0.9	0.9	2.7	5.4
長子が小学校入学前	54	46.3	33.3	9.3	0.0	5.6	5.6
長子が小・中学生	88	46.6	33.0	5.7	0.0	11.4	3.4
長子が高校・大学	79	43.0	34.2	8.9	0.0	10.1	3.8
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	57.0	26.0	3.0	2.0	7.0	5.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	70.2	14.0	4.4	0.0	4.4	7.0

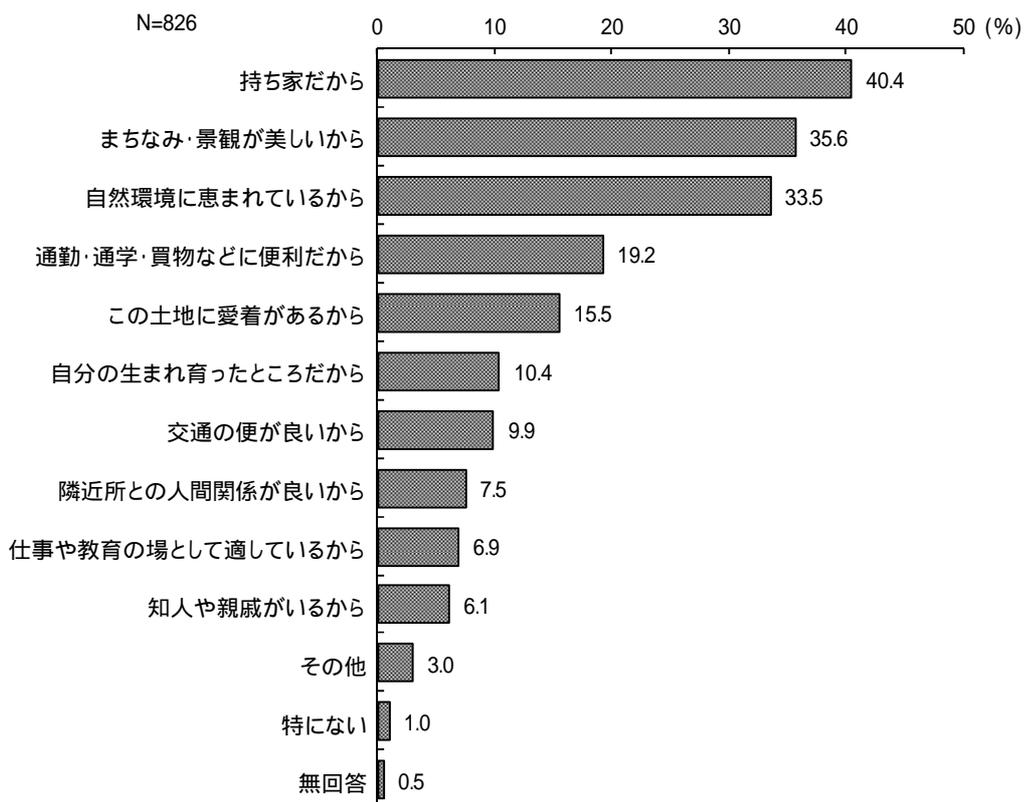
全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い

網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 住み続けたい理由

「ずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」と回答した人の住み続けたい理由をみると、「持ち家だから」(40.4%)、「まちなみ・景観が美しいから」(35.6%)、「自然環境に恵まれているから」(33.5%)が上位にあげられている。

問3 問1で「1. ずっと住み続けたい」「2. 当分住み続けたい」と答えた方に伺います。住み続けたい理由は何でしょうか。(は2つまで)



前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

(%)

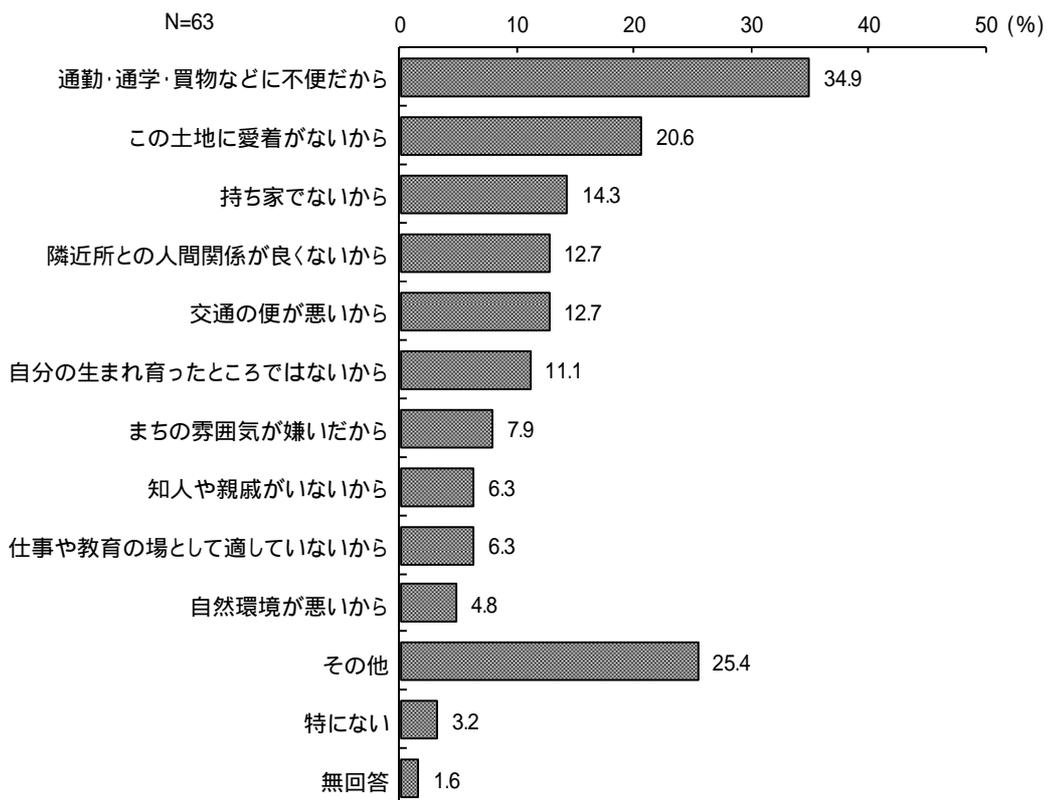
	持ち家だから	まちなみ・景観が美しいから	自然環境に恵まれているから	この土地に愛着があるから	通勤・通学・買物などに便利だから	知人や親戚がいるから	交通の便が良いから	自分の生まれ育ったところだから	仕事や教育の場として適しているから	隣近所との人間関係が良いから	その他	特にない	無回答
今回(H26)	40.4	35.6	33.5	19.2	15.5	10.4	9.9	7.5	6.9	6.1	3.0	1.0	0.5
前回(H22)	42.6	31.0	29.1	17.2	16.4	9.5	9.1	8.9	7.2	5.5	2.8	1.0	0.1
前々回(H15)	39.9		41.6	18.1	26.1	10.0		14.6	8.8	9.8	5.8	1.3	0.2

前々回調査では、「まちなみ・景観が美しいから」「交通の便が良いから」の選択肢はなかった

(3) 移転したい理由

「できれば移転したい」、「移転したい」と回答した人は少ないが、移転したい理由をみると、主に「通勤・通学・買物などに不便だから」(34.9%)が最も多く、ついで「この土地に愛着がないから」(20.6%)がつづいている。

問4 問1で「3. できれば移転したい」「4. 移転したい」と答えた方に伺います。移転したい理由は何でしょうか。(は2つまで)



「その他」の回答内容の主なものは、以下のとおりである。

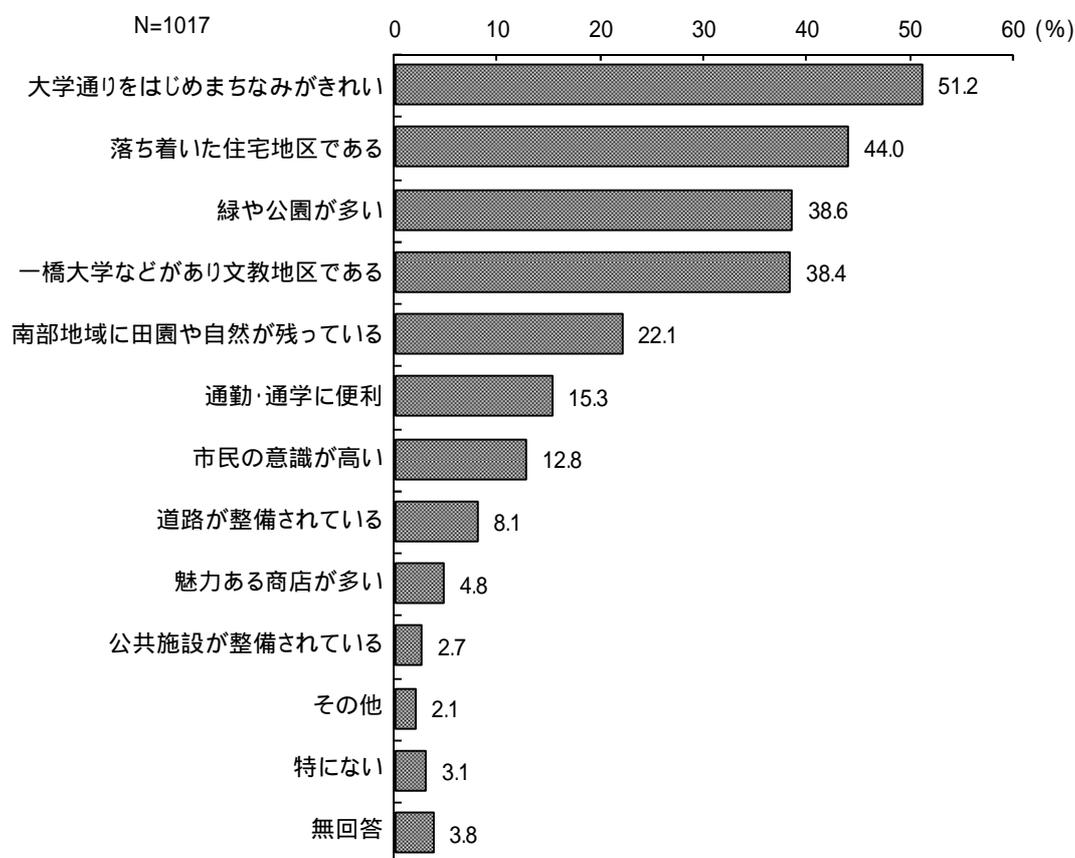
- 歩道が狭いなど道路環境がよくない
- 税金が高い
- 子育てしにくい

3. コミュニティ

(1) 国立市の魅力

国立市の魅力としては、「大学通りをはじめまちなみがきれい」(51.2%)が最も多く、以下「落ち着いた住宅地区である」(44.0%)、「緑や公園が多い」(38.6%)、「一橋大学などがあり文教地区である」(38.4%)がつついている。

問5 あなたは、国立市の魅力は何だと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、割合が増えているものとしては「緑や公園が多い」が7.3ポイント増とやや目立っている。

(%)

	が大学通りをはじめまちなみがきれい	落ち着いた住宅地区である	緑や公園が多い	一橋大学などがあり文教地区である	南部地域に田園や自然が残っている	通勤・通学に便利	市民の意識が高い	道路が整備されている	魅力ある商店が多い	公共施設が整備されている	その他	特にない	無回答
今回(H26)	51.2	44.0	38.6	38.4	22.1	15.3	12.8	8.1	4.8	2.7	2.1	3.1	3.8
前回(H22)	49.0	48.0	31.3	36.4	20.4	14.2	13.0	6.3	5.8	2.6	2.9	6.0	0.5
前々回(H15)	54.0	46.7	39.2	31.0	19.2	19.2	13.4	7.6	6.1	3.1	3.4	4.8	0.6

性・年齢別にみると、男性39歳以下では「落ち着いた住宅地区である」をあげる人が56.8%と多くなっている。

居住地区別にみると、西では「落ち着いた住宅地区である」、富士見台では「緑や公園が多い」、東と中では「一橋大学などがあり文教地区である」をあげる人が多くなっている。

	合計	大学通りをはじめまちなみがきれい	落ち着いた住宅地区である	緑や公園が多い	一橋大学などがあり文教地区である	南部地域に田園や自然が残っている	通勤・通学に便利	市民の意識が高い
[全体]	1,017	51.2	44.0	38.6	38.4	22.1	15.3	12.8
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	54.1	56.8	32.4	40.5	10.8	18.9	6.8
男性 40～64歳	174	50.6	40.8	37.4	39.7	21.3	17.8	10.9
男性 65歳以上	117	41.9	39.3	47.0	36.8	23.1	16.2	10.3
女性 39歳以下	125	56.0	51.2	46.4	34.4	16.0	13.6	9.6
女性 40～64歳	220	60.0	48.6	35.9	38.2	23.2	16.4	17.7
女性 65歳以上	146	51.4	40.4	37.7	37.0	26.7	10.3	14.4
【居住地域】								
北	109	49.5	41.3	29.4	37.6	7.3	18.3	13.8
東	173	57.2	42.2	34.7	53.8	15.6	13.3	20.8
富士見台	241	54.4	42.3	50.6	33.2	25.7	22.0	11.2
中	128	59.4	52.3	33.6	50.8	14.1	7.8	14.8
西	134	52.2	60.4	30.6	43.3	15.7	13.4	10.4
谷保	145	42.1	35.9	38.6	24.8	38.6	18.6	9.7
泉、青柳、矢川、石田	86	33.7	31.4	45.3	20.9	38.4	5.8	5.8

	合計	道路が整備されている	魅力ある商店が多い	公共施設が整備されている	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	8.1	4.8	2.7	2.1	3.1	3.8
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	12.2	10.8	2.7	5.4	4.1	0.0
男性 40～64歳	174	2.9	4.6	1.7	3.4	5.7	3.4
男性 65歳以上	117	14.5	0.0	3.4	0.9	7.7	0.9
女性 39歳以下	125	9.6	10.4	2.4	4.0	0.8	2.4
女性 40～64歳	220	2.7	5.5	0.5	0.9	1.4	3.2
女性 65歳以上	146	15.8	1.4	5.5	0.0	0.7	7.5
【居住地域】							
北	109	7.3	5.5	4.6	5.5	4.6	6.4
東	173	9.2	6.4	2.3	3.5	1.2	2.3
富士見台	241	7.1	4.1	3.7	0.4	1.7	2.1
中	128	10.2	7.0	3.9	2.3	1.6	3.1
西	134	12.7	6.0	1.5	0.0	3.0	3.0
谷保	145	4.8	2.1	0.7	3.4	2.8	6.9
泉、青柳、矢川、石田	86	4.7	2.3	1.2	0.0	12.8	5.8

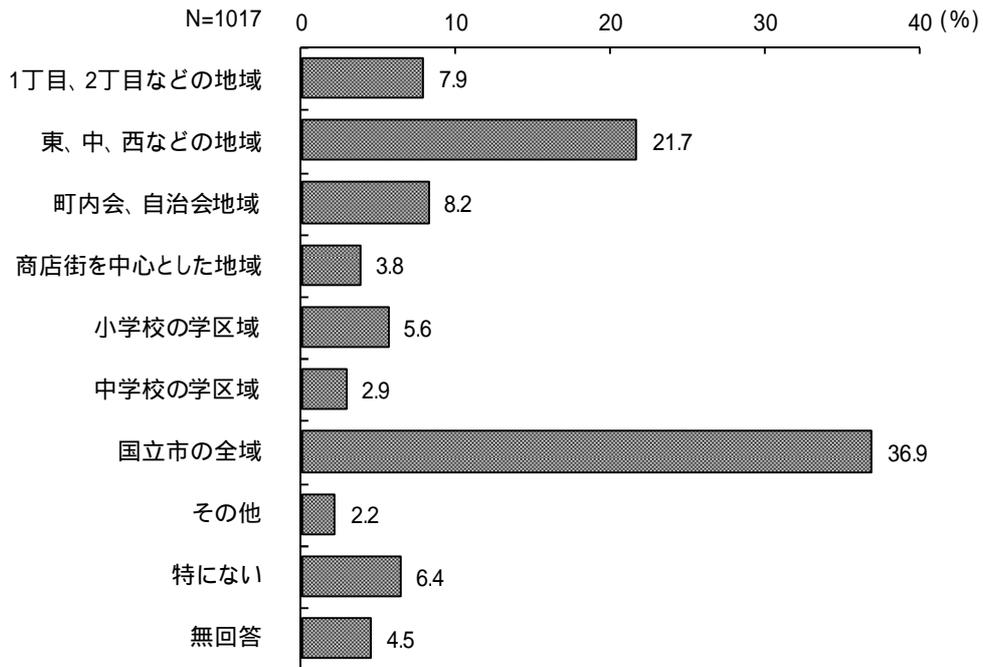
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い

網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2)「私たちの地域」の範囲

国立市民が「私たちの地域」という言葉で思い浮かぶ範囲については、「国立市の全域」と答えた市民が36.9%と最も多く、ついで「東、中、西などの地域」が21.7%となっている。

問6 あなたは、「私たちの地域」といったとき、どのくらいの範囲を思い浮かべますか。(は1つ)



前回調査と比較してもほぼ同様の結果となっており、ほとんど差はみられない。

	国立市の全	東、中、西などの地域	町内会、自治会地域	1丁目、2丁目などの地域	小学校の学区	商店街を中心とした地域	中学校の学区	その他	特にない	無回答
今回(H26)	36.9	21.7	8.2	7.9	5.6	3.8	2.9	2.2	6.4	4.5
前回(H22)	39.3	21.8	9.4	6.7	5.4	4.3	2.2	2.8	7.0	1.1
前々回(H15)	35.6	21.9	11.0	8.3	5.4	5.4	1.7	3.0	6.9	0.7

居住地域別にみると、富士見台では「国立市の全域」が、52.7%と半数強を占めるのに対し、泉、青柳、矢川、石田では25.6%と少なくなっている。東、西では「東、中、西などの地域」が4割弱と多くなっている。

(%)

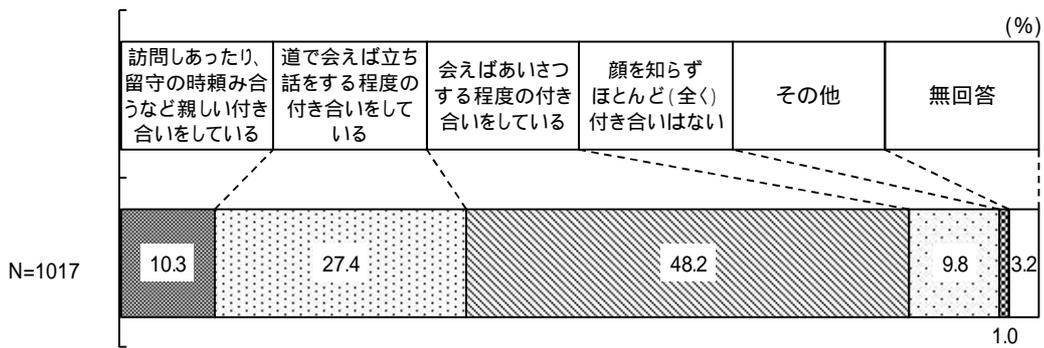
	合計	1丁目、2丁目などの地域	東、中、西などの地域	町内会、自治会地域	商店街を中心とした地域	小学校の学区域	中学校の学区域	国立市の全域	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	7.9	21.7	8.2	3.8	5.6	2.9	36.9	2.2	6.4	4.5
[居住地域]											
北	109	11.0	20.2	11.9	2.8	5.5	0.9	33.9	3.7	3.7	6.4
東	173	5.8	39.3	5.2	5.8	4.0	2.9	28.9	1.7	4.0	2.3
富士見台	241	8.3	7.5	5.8	4.6	5.8	3.3	52.7	2.1	6.2	3.7
中	128	14.8	31.3	1.6	4.7	2.3	0.0	35.2	1.6	4.7	3.9
西	134	6.0	37.3	1.5	3.0	3.7	0.7	35.8	0.7	7.5	3.7
谷保	145	2.8	9.7	20.0	2.8	8.3	4.1	31.7	3.4	11.0	6.2
泉、青柳、矢川、石田	86	8.1	10.5	16.3	1.2	11.6	9.3	25.6	2.3	8.1	7.0

全体値より ○ : +20%以上高い、○ : +15~20%高い、○ : +10~15%高い
 △ : -20%以上低い、△ : -15~20%低い、△ : -10~15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 近所付き合いの範囲

市民が日頃隣近所とどの程度付き合いをしているかをみると、「会えばあいさつする程度の付き合いをしている」が48.2%と半数近くを占め、ついで「道で会えば立ち話をする程度の付き合いをしている」が27.4%でつづいている。「訪問しあったり、留守の時頼み合うなど親しい付き合いをしている」や「顔を知らずほとんど(全く)付き合いはない」としている人は1割前後と少ない。

問7 あなたは、日頃隣近所とどの程度のお付き合いをしていますか。(は1つ)



前回調査と比較してもほとんど差はみられない。

	訪問しあったり、留守の時頼み合う等親しい付き合いをしている	道で会えば立ち話をする程度の付き合いをしている	会えばあいさつする程度の付き合いをしている	顔を知らずほとんど(全く)付き合いはない	その他	無回答
今回(H26)	10.3	27.4	48.2	9.8	1.0	3.2
前回(H22)	11.6	27.7	51.8	7.8	0.8	0.3
前々回(H15)	13.0	28.7	48.9	8.5	0.6	0.3

性・年齢別にみると、男性は各年代層とも「会えばあいさつする程度の付き合いをしている」が6割前後と多くなっている。一方、女性65歳以上は「訪問しあったり、留守の時頼み合うなど親しい付き合いをしている」とする人が2割強あり、「道で会えば立ち話をする程度の付き合いをしている」とする人も4割と多く、親密な近所付き合いをしている人が多い。

居住地域別では、あまり大きな差はみられないが、谷保で「訪問しあったり、留守の時頼み合うなど親しい付き合いをしている」とする人が2割弱と他地域に比べやや多くなっている。

家族形態別にみると、単身や夫婦のみの64歳以下では「会えばあいさつする程度の付き合いをしている」とする人が6割強と多くなっている。

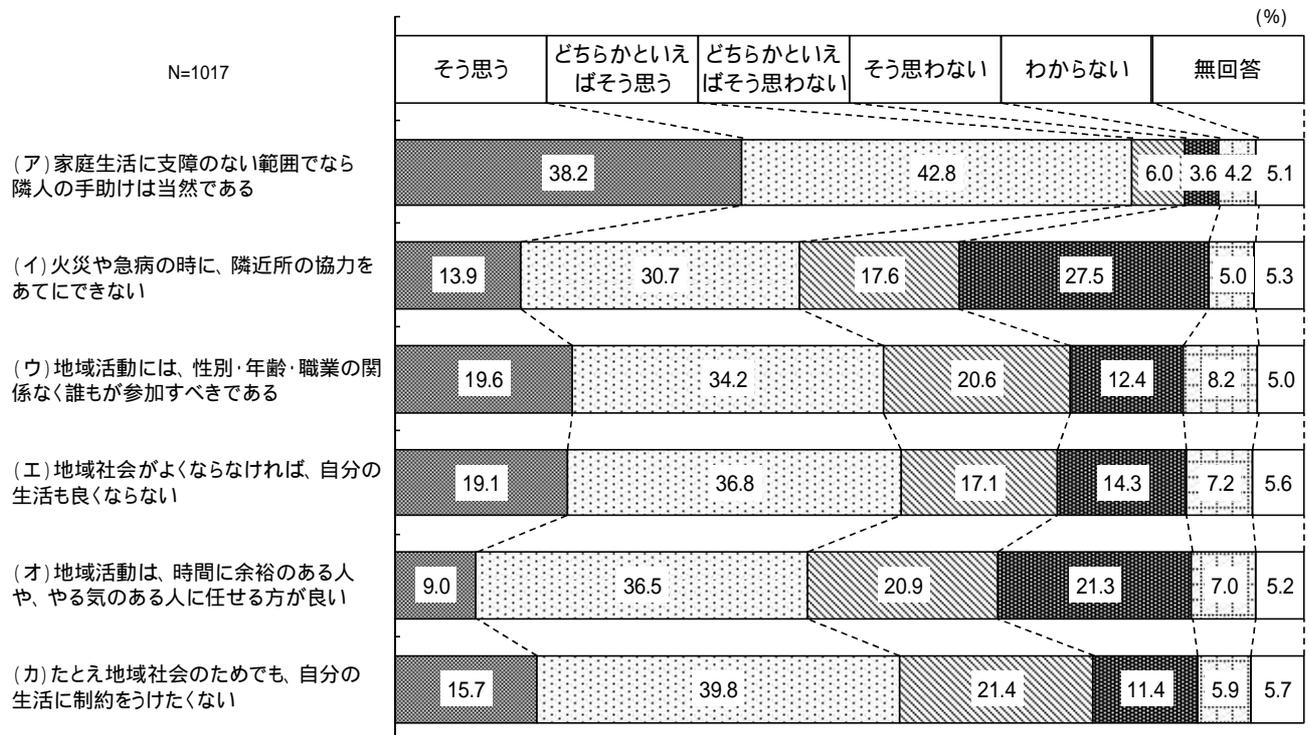
	合計	訪問し あったり、留守 の時頼み 合うなど 親しい付 き合いを している	道で会 えば立ち 話をする 程度の付 き合いを している	会えばあ いさつす る程度 の付き 合いを してい る	顔を知ら ずほとん ど(全 く)付 き合 いは ない	その他	無回答
[全体]	1,017	10.3	27.4	48.2	9.8	1.0	3.2
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	4.1	12.2	62.2	21.6	0.0	0.0
男性 40～64歳	174	6.9	24.1	59.2	5.7	0.6	3.4
男性 65歳以上	117	10.3	24.8	59.0	3.4	1.7	0.9
女性 39歳以下	125	6.4	12.0	54.4	24.0	1.6	1.6
女性 40～64歳	220	9.1	30.9	44.5	11.4	0.9	3.2
女性 65歳以上	146	21.9	40.4	28.8	1.4	1.4	6.2
【居住地域】							
北	109	12.8	26.6	43.1	11.9	0.9	4.6
東	173	6.4	27.2	53.2	9.8	0.6	2.9
富士見台	241	10.0	27.8	48.1	11.2	0.4	2.5
中	128	8.6	27.3	48.4	10.2	1.6	3.9
西	134	7.5	27.6	48.5	11.2	1.5	3.7
谷保	145	18.6	29.0	40.7	6.2	2.1	3.4
泉、青柳、矢川、石田	86	9.3	25.6	55.8	7.0	0.0	2.3
【家族形態(ライフステージ)】							
単身 本人18～39歳	111	3.6	9.9	62.2	24.3	0.0	0.0
単身 本人40～64歳	83	4.8	13.3	61.4	16.9	1.2	2.4
単身 本人65歳以上	80	17.5	32.5	38.8	7.5	1.3	2.5
夫婦のみ 本人64歳以下	124	4.0	18.5	60.5	14.5	0.8	1.6
夫婦のみ 本人65歳以上	112	17.0	40.2	34.8	1.8	1.8	4.5
長子が小学校入学前	54	9.3	18.5	55.6	11.1	1.9	3.7
長子が小・中学生	88	15.9	38.6	42.0	1.1	1.1	1.1
長子が高校・大学	79	10.1	26.6	49.4	8.9	1.3	3.8
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	6.0	31.0	49.0	8.0	1.0	5.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	14.0	38.6	39.5	3.5	0.9	3.5

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 地域における人との付き合い、地域との関わりの考え方

地域における人との付き合い、地域との関わりの考え方をみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定回答が最も多いのは、「(ア) 家庭生活に支障のない範囲でなら隣人の手助けは当然である」であり81.0%と多数を占めている。以下「(エ) 地域社会がよくならなければ、自分の生活も良くなるない」(55.9%)、「(カ) たとえ地域社会のためでも、自分の生活に制約をうけたくない」(55.5%)、「(ウ) 地域活動には、性別・年齢・職業の関係なく誰もが参加すべきである」(53.8%)が50%台でつづいている。

問8 地域における人との付き合いや、地域との関わりについて次のような考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。



前回調査と比較すると、全体的な回答傾向は変わらないが、「(エ) 地域社会がよくならなければ、自分の生活も良くなるない」の肯定回答が8.5ポイント減少している。

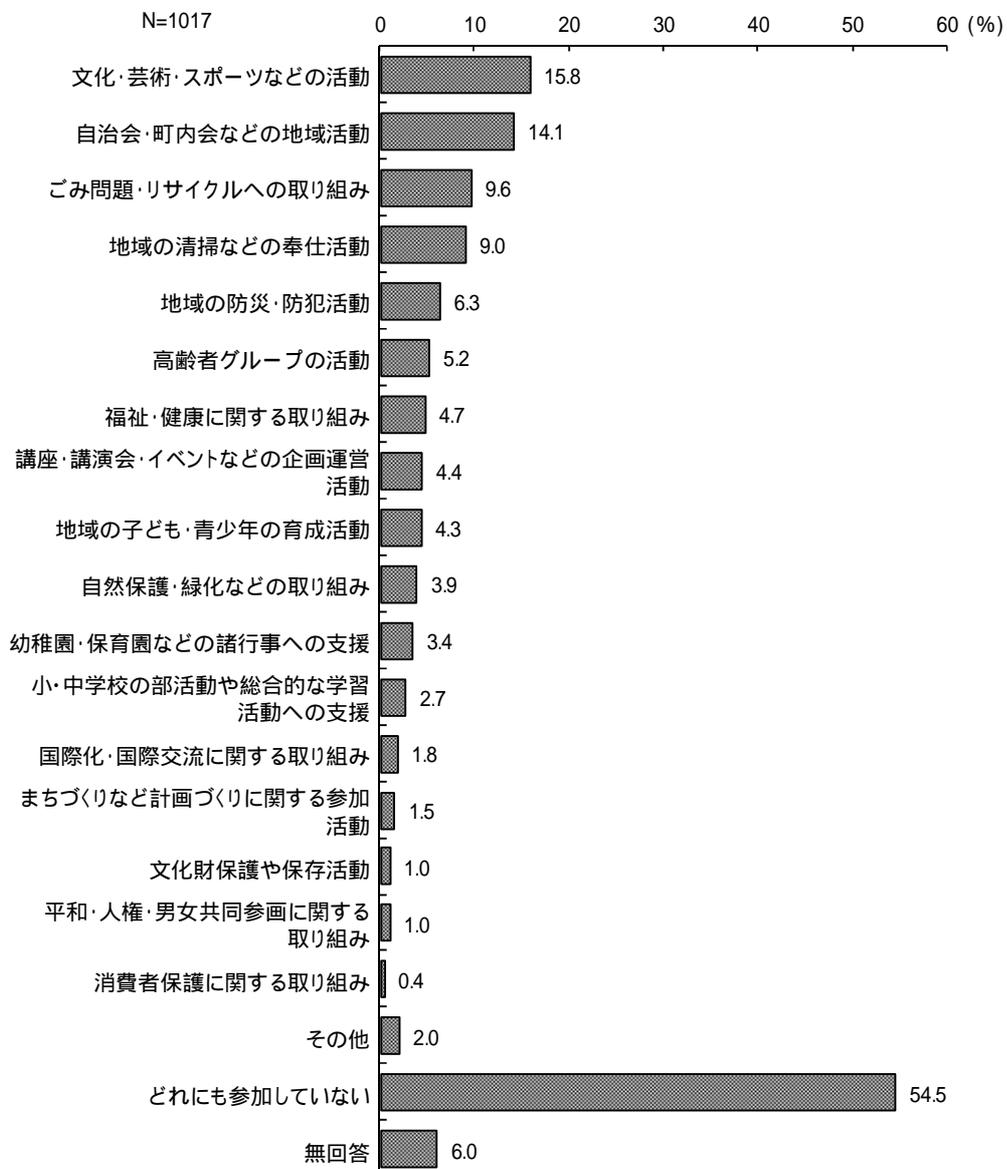
	今回 (H26)	前回 (H22)	前々回 (H15)
(ア) 家庭生活に支障のない範囲でなら隣人の手助けは当然である	81.0	82.3	83.5
(イ) 火災や急病の時に、隣近所の協力をあてにできない	44.6	41.0	35.3
(ウ) 地域活動には、性別・年齢・職業の関係なく誰もが参加すべきである	53.8	58.5	65.7
(エ) 地域社会がよくならなければ、自分の生活も良くなるない	55.9	64.4	66.6
(オ) 地域活動は、時間に余裕のある人や、やる気のある人に任せる方が良い	45.5	48.4	49.0
(カ) たとえ地域社会のためでも、自分の生活に制約をうけたくない	55.5	57.2	59.2

4. 社会貢献的な市民活動

(1) グループ活動や地域活動の参加状況

グループ活動や地域活動の参加状況を見ると、54.5%と半数強の人が参加していないとしている。比較的参加率が高い活動としては、「文化・芸術・スポーツなどの活動」(15.8%)、「自治会・町内会などの地域活動」(14.1%)があげられている。

問9 あなたは現在、仕事や趣味などを通して得た知識や経験を、グループ活動や地域活動に生かすため、下欄の枠内のような活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに)



前回調査と比較するとほぼ同様の結果となっており、大きな差はみられない。

(%)

	文化・芸術・スポーツなどの活動	自治会・町内会などの地域活動	ごみ問題・リサイクルへの取り組み	地域の清掃などの奉仕活動	高齢者グループの活動	地域の防災・防犯活動	福祉・健康に関する取り組み	地域の子ども・青少年の育成活動	小・中学校の部活動や総合的な学習活動	講座・講演会・イベントなどの企画運営活動
今回(H26)	15.8	14.1	9.6	9.0	5.2	6.3	4.7	4.3	2.7	4.4
前回(H22)	15.3	14.3	8.6	8.6	5.4	5.0	4.3	3.6	3.1	3.0
前々回(H15)	14.1	12.2	4.1	6.5	3.7	4.8	3.3	4.1	2.4	3.5
	幼稚園・保育園などの諸行事への支援	自然保護・緑化などの取り組み	国際化・国際交流に関する取り組み	平和・人権・男女共同参加に関する取り組み	まちづくりなど計画づくりに関する参加活動	文化財保護や保存活動	消費者保護に関する取り組み	その他	どれにも参加していない	無回答
今回(H26)	3.4	3.9	1.8	1.0	1.5	1.0	0.4	2.0	54.5	6.0
前回(H22)	2.4	2.2	1.1	1.1	0.9	0.6	0.4	2.0	59.3	0.6
前々回(H15)	3.5	1.3	1.1	1.1	2.0	0.7	0.1	1.6	56.0	11.2

性・年齢別にみると、男女とも39歳以下は「どれにも参加していない」とする人が7割を超え多くなっている。

居住地域別にみると、中、西では「自治会・町内会などの地域活動」に参加している人が5%を切り他地域に比べ少なさが目立っている。一方、谷保では「自治会・町内会などの地域活動」に参加している人は3割と多く、「地域の清掃などの奉仕活動」に参加している人も2割と多くなっている。

家族形態別にみると、単身や夫婦のみの64歳以下は「どれにも参加していない」とする人が多くなっている。

(%)

	合計	文化・芸術・スポーツなどの活動	自治会・町内会などの地域活動	ごみ問題・リサイクルへの取り組み	地域の清掃などの奉仕活動	地域の防災・防犯活動	高齢者グループの活動	福祉・健康に関する取り組み	講座・講演会・イベントなどの企画運営活動	地域の子ども・青少年の育成活動	自然保護・緑化などの取り組み
【全体】	1,017	15.8	14.1	9.6	9.0	6.3	5.2	4.7	4.4	4.3	3.9
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	16.2	4.1	4.1	1.4	2.7	1.4	2.7	2.7	0.0	4.1
男性 40～64歳	174	13.8	13.2	10.3	12.1	8.0	1.1	1.7	5.7	5.2	2.3
男性 65歳以上	117	17.9	23.1	9.4	13.7	9.4	12.0	8.5	7.7	2.6	8.5
女性 39歳以下	125	4.0	3.2	5.6	1.6	0.0	0.0	2.4	0.0	4.0	0.8
女性 40～64歳	220	17.3	12.3	9.1	4.1	3.6	0.5	2.3	4.5	6.4	2.3
女性 65歳以上	146	22.6	19.9	13.7	18.5	8.9	17.8	11.6	5.5	2.7	5.5
【居住地域】											
北	109	15.6	22.0	12.8	15.6	9.2	8.3	7.3	4.6	3.7	6.4
東	173	15.6	12.1	12.1	5.8	5.8	3.5	4.0	2.9	4.6	1.2
富士見台	241	17.4	14.5	7.5	6.6	5.0	4.6	3.7	3.7	2.5	5.0
中	128	15.6	2.3	6.3	5.5	0.8	2.3	2.3	6.3	0.8	3.9
西	134	14.2	4.5	6.0	6.0	3.7	1.5	2.2	4.5	3.7	2.2
谷保	145	17.9	29.7	13.1	19.3	13.1	10.3	9.0	6.2	13.1	5.5
泉、青柳、矢川、石田	86	11.6	12.8	11.6	7.0	8.1	8.1	5.8	3.5	1.2	3.5
【家族形態(ライフステージ)】											
単身 本人18～39歳	111	9.0	2.7	4.5	0.9	0.0	0.9	4.5	0.9	0.9	2.7
単身 本人40～64歳	83	8.4	8.4	12.0	6.0	4.8	1.2	1.2	2.4	1.2	3.6
単身 本人65歳以上	80	15.0	17.5	13.8	13.8	3.8	10.0	8.8	2.5	1.3	2.5
夫婦のみ 本人64歳以下	124	16.1	6.5	6.5	4.8	3.2	0.8	1.6	3.2	0.8	3.2
夫婦のみ 本人65歳以上	112	17.0	30.4	10.7	11.6	9.8	8.0	5.4	5.4	3.6	6.3
長子が小学校入学前	54	3.7	9.3	3.7	5.6	5.6	3.7	1.9	3.7	3.7	1.9
長子が小・中学生	88	14.8	12.5	12.5	9.1	5.7	0.0	2.3	2.3	9.1	2.3
長子が高校・大学	79	19.0	8.9	8.9	7.6	6.3	1.3	2.5	2.5	11.4	2.5
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	21.0	22.0	9.0	8.0	8.0	1.0	4.0	10.0	11.0	1.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	26.3	17.5	12.3	19.3	11.4	17.5	9.6	10.5	3.5	8.8

	合計	幼稚園・保育園などの諸行事への支援	小・中学校の部活動や総合的な学習活動への支援	国際化・国際交流に関する取り組み	まちづくりなど計画づくりに関する参加活動	文化財保護や保存活動	平和・人権・男女共同参画に関する取り組み	消費者保護に関する取り組み	その他	どれも参加していない	無回答
【全体】	1,017	3.4	2.7	1.8	1.5	1.0	1.0	0.4	2.0	54.5	6.0
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	2.7	1.4	2.7	4.1	0.0	1.4	0.0	0.0	74.3	1.4
男性 40～64歳	174	2.3	4.6	1.1	1.7	0.6	1.1	0.0	1.1	59.2	4.6
男性 65歳以上	117	1.7	2.6	1.7	0.9	2.6	0.9	1.7	5.1	41.0	6.8
女性 39歳以下	125	11.2	3.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	72.8	3.2
女性 40～64歳	220	3.6	3.2	2.7	0.9	0.5	0.9	0.5	1.4	55.0	5.9
女性 65歳以上	146	0.7	1.4	2.1	2.7	2.7	2.1	0.0	2.7	43.2	6.2
【居住地域】											
北	109	1.8	2.8	0.9	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	46.8	9.2
東	173	4.6	1.7	1.7	2.9	0.0	1.2	0.0	1.7	60.1	3.5
富士見台	241	1.7	2.5	1.7	0.8	0.4	0.4	0.0	1.2	55.6	4.6
中	128	2.3	2.3	3.9	1.6	0.8	1.6	0.8	2.3	60.9	6.3
西	134	3.7	3.7	0.7	2.2	0.7	0.0	0.7	5.2	56.0	9.7
谷保	145	4.8	4.1	0.7	0.0	4.1	2.1	0.0	2.1	42.8	4.8
泉、青柳、矢川、石田	86	7.0	1.2	3.5	1.2	1.2	1.2	2.3	1.2	57.0	7.0
【家族形態(ライフステージ)】											
単身 本人18～39歳	111	2.7	0.9	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	79.3	2.7
単身 本人40～64歳	83	1.2	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.9	4.8
単身 本人65歳以上	80	1.3	0.0	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.5	47.5	10.0
夫婦のみ 本人64歳以下	124	0.8	0.8	1.6	3.2	1.6	1.6	0.0	2.4	68.5	4.8
夫婦のみ 本人65歳以上	112	0.9	2.7	1.8	0.9	1.8	1.8	0.0	4.5	36.6	8.0
長子が小学校入学前	54	16.7	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	50.0	11.1
長子が小・中学生	88	17.0	13.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	45.5	1.1
長子が高校・大学	79	2.5	6.3	3.8	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	58.2	5.1
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	1.0	45.0	6.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	0.9	1.8	2.6	2.6	1.8	2.6	1.8	3.5	45.6	5.3

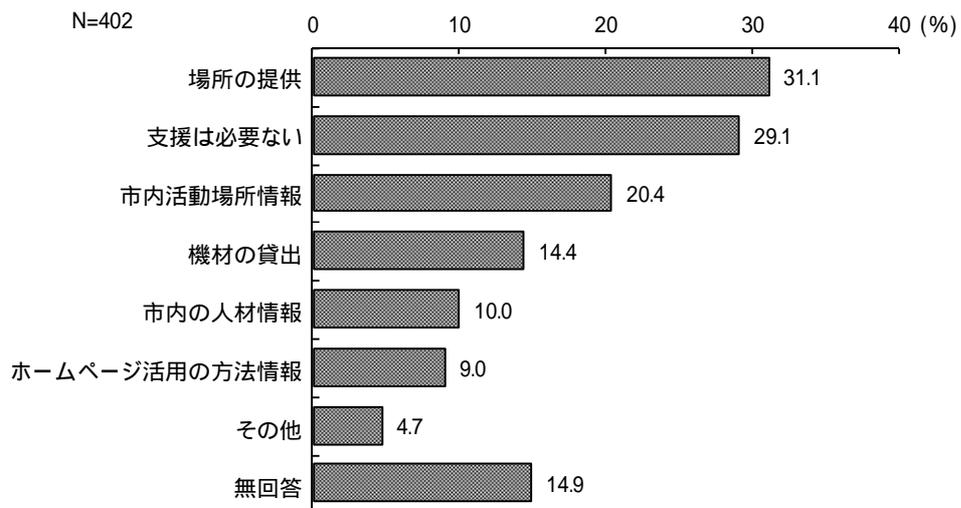
全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い

網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 現在参加しているグループ活動や地域活動に必要な支援

グループ活動や地域活動に参加している人に、現在の活動に必要な支援について聞いたところ「支援は必要ない」との回答は29.1%にとどまっている。必要な支援としては「場所の提供」が31.1%と最も多く、ついで「市内活動場所情報」が20.4%でつづいている。

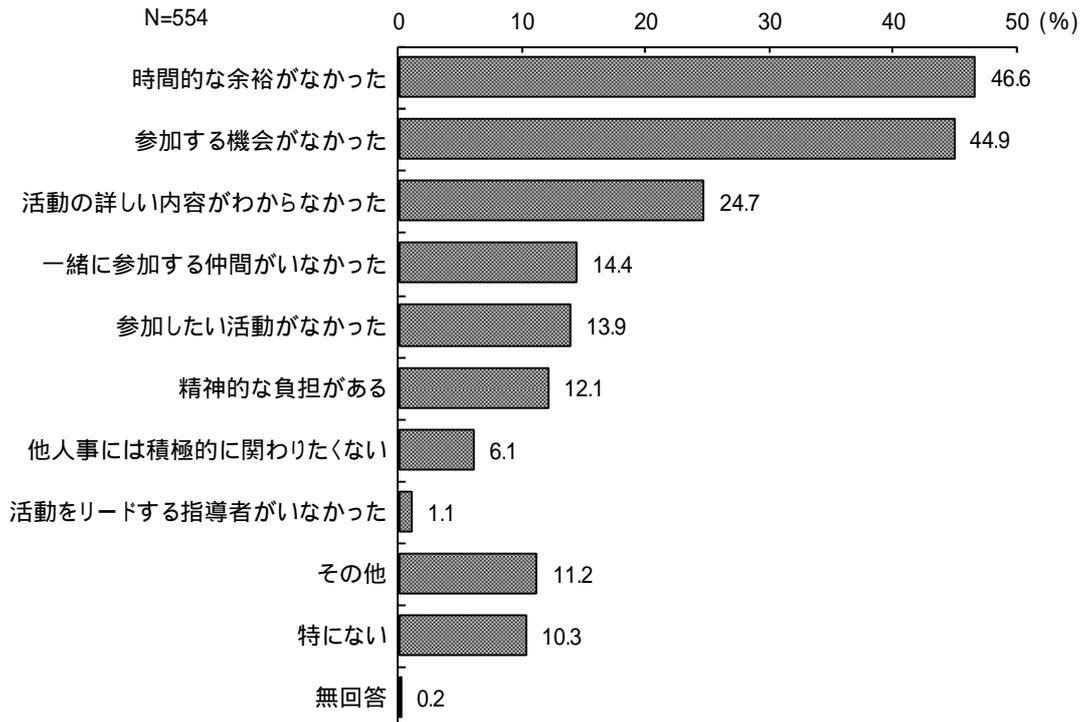
問10 問9で1~18と答えた方に伺います。現在参加されている活動について支援を必要としていますか。支援が必要な場合、どのような支援が必要ですか。(あてはまるもの全てに)



(3) グループ活動や地域活動に参加していない理由

グループ活動や地域活動に参加していない人の理由をみると、「時間的な余裕がなかった」(46.6%)、「参加する機会がなかった」(44.9%)の2つをあげる人が多くなっている。

問11 問9で「19. どれにも参加していない」と答えた方に伺います。あなたが活動に参加していないのは、どのような理由からですか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、ほとんど差はみられない。

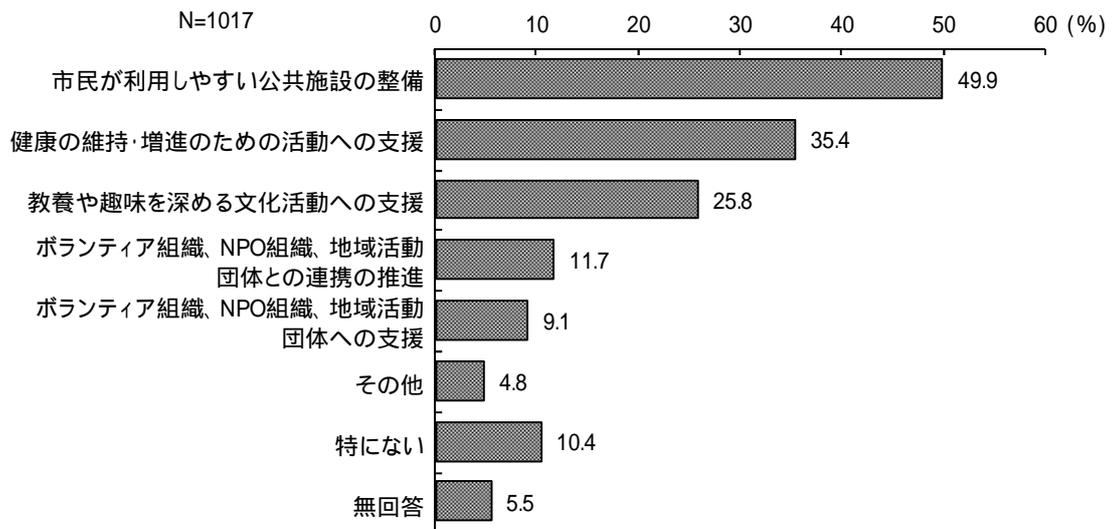
(%)

	時間的な余裕がなかった	参加する機会がなかった	活動の詳しい内容がわからなかった	一緒に参加する仲間がいなかった	精神的な負担がある	参加したい活動がなかった	積極的に関わりたいくない	他人事には積極的に関わりたいくない	活動をリードする指導者がいなかった	その他	特にない	無回答
今回(H26)	46.6	44.9	24.7	14.4	12.1	13.9	6.1	1.1	11.2	10.3	0.2	
前回(H22)	46.0	45.2	21.5	15.4	11.1	9.5	7.2	1.5	9.7	10.6	1.9	
前々回(H15)	63.6	43.2	22.0	11.9	13.6	13.4	4.0	1.8	12.6	6.3	2.3	

(4) 多くの市民がグループ活動・市民活動に参加するために市が行うべき策

多くの市民がグループ活動・市民活動に参加するために市が行うべきこととしては、「市民が利用しやすい公共施設の整備」が49.9%と最も多くなっている。以下「健康の維持・増進のための活動への支援」が35.4%、「教養や趣味を深める文化活動への支援」が25.8%でつづいている。

問12 多くの市民のみなさんに活動に参加していただくため、市はどのようなことを行うことが必要と思いますか。(は2つまで)



前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

(%)

	市民が利用しやすい公共施設の整備	健康の維持・増進のための活動への支援	教養や趣味を深める文化活動への支援	ボランティア組織との連携推進	ボランティア組織、NPO組織、地域活動団体への支援	その他	特にない	無回答
今回(H26)	49.9	35.4	25.8	11.7	9.1	4.8	10.4	5.5
前回(H22)	50.0	32.1	26.8	15.0	11.2	4.7	9.8	3.5
前々回(H15)	58.8	31.5	29.3	12.9	11.6	5.2	9.3	1.3

性・年齢別にみると、「健康の維持・増進のための活動への支援」は、男女とも65歳以上で5割弱と多くなっている。

	合計	市民が利用しやすい公共施設の整備	健康の維持・増進のための活動への支援	教養や趣味を深める文化活動への支援	ボランティア組織、NPO組織、地域活動団体との連携の推進	ボランティア組織、NPO組織、地域活動団体への支援	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	49.9	35.4	25.8	11.7	9.1	4.8	10.4	5.5
【性・年齢別】									
男性 39歳以下	74	56.8	27.0	27.0	9.5	6.8	8.1	13.5	0.0
男性 40～64歳	174	50.0	30.5	27.0	13.2	11.5	5.2	9.8	5.7
男性 65歳以上	117	41.9	47.9	29.1	6.8	7.7	1.7	12.0	6.0
女性 39歳以下	125	53.6	22.4	28.8	16.0	9.6	7.2	8.0	0.8
女性 40～64歳	220	57.7	35.0	21.8	16.8	9.1	3.6	10.0	3.6
女性 65歳以上	146	45.2	48.6	24.0	7.5	6.8	3.4	8.2	8.9

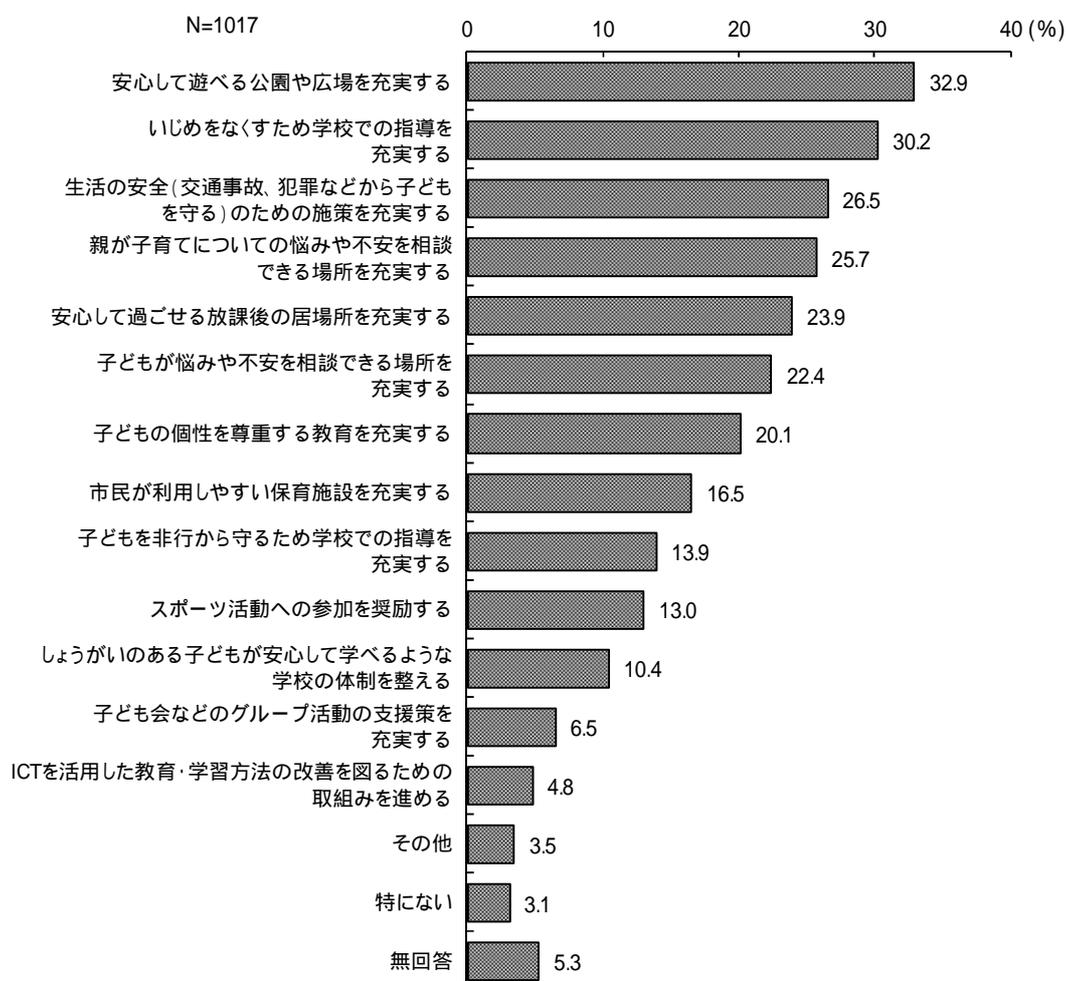
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

5. 子どもや若者のために

(1) 子供たちのために市が取り組むべき施策

子どもたちのために市が取り組むべき施策としては、「安心して遊べる公園や広場を充実する」(32.9%)、「いじめをなくすため学校での指導を充実する」(30.2%)の2つが30%台で上位にあげられ、以下、「生活の安全(交通事故,犯罪等から子どもを守る)のための施策を充実する」(26.5%)、「親が子育てについての悩みや不安を相談できる場所を充実する」(25.7%)、「安心して過ごせる放課後の居場所を充実する」(23.9%)、「子どもが悩みや不安を相談できる場所を充実する」(22.4%)、「子どもの個性を尊重する教育を充実する」(20.1%)が20%台でつづいており、多様な施策が求められている。

問13 あなたは子どもたちのために、市がどのような施策に取り組むべきとお考えですか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「生活の安全(交通事故,犯罪等から子どもを守る)のための施策を充実する」、「市民が利用しやすい保育施設を充実する」、「しょうがいのある子どもが安心して学べるような学校の体制を整える」については前回から5ポイント以上減少している。

(%)

	安心して遊べる公園や広場を充実する	いじめをなくすため学校での指導を充実する	生活の安全(交通事故,犯罪等から子どもを守る)のための施策を充実する	親が子育てについての悩みや不安を相談できる場所を充実する	子どもが悩みや不安を相談できる場所を充実する	子どもの個性を尊重する教育を充実する	市民が利用しやすい保育施設を充実する	子どもを非行から守るため学校での指導を充実する	スポーツ活動への参加を奨励する	しょうがいのある子どもが安心して学べるような学校の体制を整える	子ども会などのグループ活動の支援策を充実する	その他	特になし	無回答
今回(H26)	32.9	30.2	26.5	25.7	22.4	20.1	16.5	13.9	13.0	10.4	6.5	3.5	3.1	5.2
前回(H22)	33.4	27.9	31.5	28.7	26.7	19.7	22.9	17.1	16.2	15.4	8.7	4.9	3.2	2.1
前々回(H15)	33.0	23.2	31.8	31.3	28.6	28.0	17.8	20.1	16.5	13.3	11.6	5.4	3.0	0.6

「安心して過ごせる放課後の居場所を充実する」と「ICTを活用した教育・学習方法の改善を図るための取組みを進める」は今回調査から

家族形態別にみると、「安心して遊べる公園や広場を充実する」は、単身で本人18～39歳や長子が小学校入学前や小・中学生、高校・大学生に多くなっている。

「生活の安全(交通事故,犯罪等から子どもを守る)のための施策を充実する」は、長子が小・中学生や高校・大学生に多くなっている。

「安心して過ごせる放課後の居場所を充実する」と「市民が利用しやすい保育施設を充実する」は、長子が小学校入学前に多くなっている。

	合計	安心して遊べる公園や広場を充実する	いじめをなくすため学校での指導を充実する	生活の安全(交通事故,犯罪等から子どもを守る)のための施策を充実する	親が子育てについての悩みや不安を相談できる場所を充実する	安心して過ごせる放課後の居場所を充実する	子どもが悩みや不安を相談できる場所を充実する	子どもの個性を尊重する教育を充実する	市民が利用しやすい保育施設を充実する
[全体]	1,017	32.9	30.2	26.5	25.7	23.9	22.4	20.1	16.5
[家族形態(ライフステージ)]									
単身 本人18～39歳	111	49.5	27.0	26.1	30.6	23.4	29.7	19.8	20.7
単身 本人40～64歳	83	24.1	34.9	27.7	33.7	19.3	30.1	18.1	12.0
単身 本人65歳以上	80	22.5	35.0	15.0	23.8	16.3	23.8	17.5	11.3
夫婦のみ 本人64歳以下	124	33.9	20.2	25.8	33.9	21.8	19.4	17.7	24.2
夫婦のみ 本人65歳以上	112	20.5	29.5	14.3	26.8	23.2	22.3	23.2	10.7
長子が小学校入学前	54	44.4	31.5	25.9	14.8	37.0	22.2	20.4	37.0
長子が小・中学生	88	50.0	34.1	48.9	12.5	29.5	12.5	18.2	10.2
長子が高校・大学	79	45.6	21.5	36.7	19.0	27.8	21.5	19.0	12.7
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	30.0	33.0	31.0	35.0	26.0	22.0	19.0	19.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	26.3	36.8	23.7	21.9	24.6	20.2	24.6	14.0

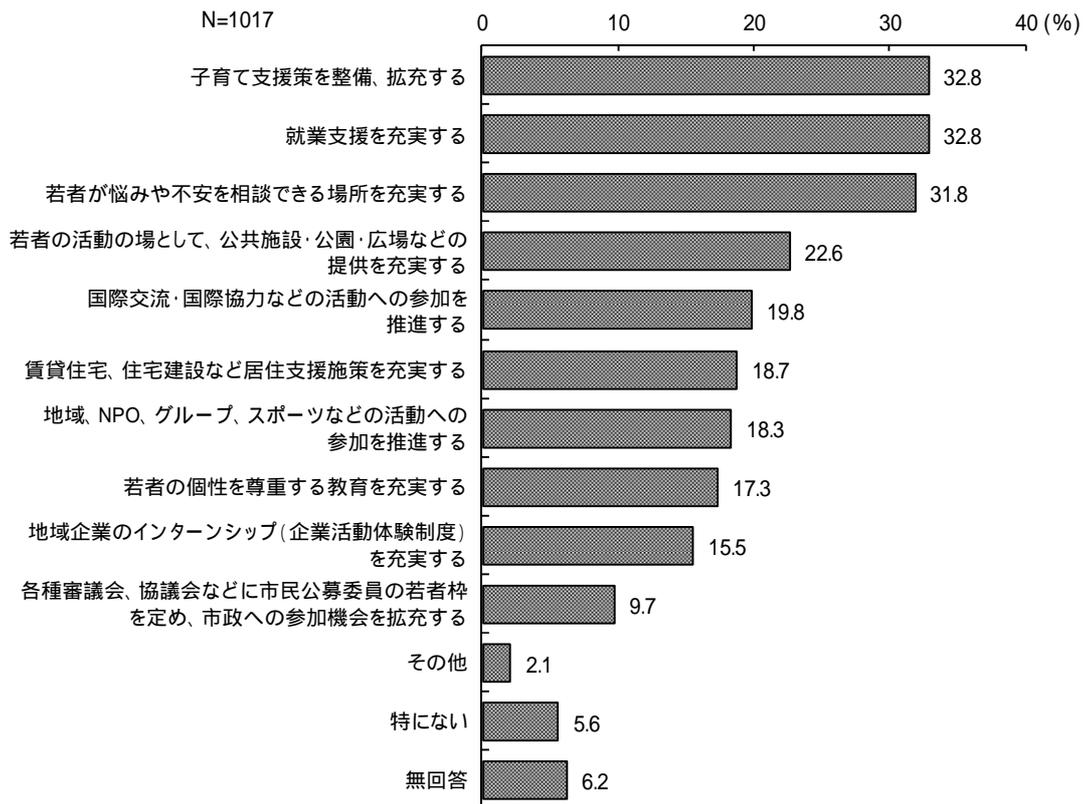
	合計	子どもを非行から守るため学校での指導を充実する	スポーツ活動への参加を奨励する	しょうがいのある子どもが安心して学べるような学校の体制を整える	子ども会などのグループ活動の支援策を充実する	ICTを活用した教育・学習方法の改善を図るための取り組みを進める	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	13.9	13.0	10.4	6.5	4.8	3.5	3.1	5.3
[家族形態(ライフステージ)]									
単身 本人18～39歳	111	6.3	21.6	16.2	7.2	3.6	2.7	0.9	0.0
単身 本人40～64歳	83	16.9	7.2	18.1	7.2	2.4	3.6	3.6	3.6
単身 本人65歳以上	80	23.8	5.0	10.0	5.0	1.3	1.3	5.0	13.8
夫婦のみ 本人64歳以下	124	5.6	19.4	11.3	6.5	1.6	5.6	4.8	4.0
夫婦のみ 本人65歳以上	112	17.0	14.3	5.4	7.1	3.6	5.4	4.5	12.5
長子が小学校入学前	54	11.1	13.0	3.7	11.1	18.5	3.7	0.0	1.9
長子が小・中学生	88	11.4	13.6	5.7	6.8	11.4	3.4	1.1	0.0
長子が高校・大学	79	8.9	15.2	6.3	6.3	8.9	5.1	0.0	3.8
本人64歳以下 長子が学校卒業	100	11.0	7.0	13.0	2.0	1.0	5.0	3.0	2.0
本人65歳以上 長子が学校卒業	114	21.1	8.8	12.3	7.9	5.3	1.8	3.5	6.1

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 若者のために市が取り組むべき施策

若者のために市が取り組むべき施策としては、「子育て支援策を整備、拡充する」(32.8%)、「就業支援を充実する」(32.8%)、「若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する」(31.8%)の3施策が30%台で上位にあげられており、全体的に子どものための施策同様、多様な要望がみられる。

問14 あなたは若者のために市がどのような施策に取り組むべきだとお考えですか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「就業支援を充実する」が7.9ポイント減となっており、「子育て支援策を整備、拡充する」が4.4ポイント増となっているが、施策要望が多様であることは変わらない。

(%)

	子育て支援策を整備、拡充する	就業支援を充実する	若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する	若者の活動の場として公共施設・公園・広場などの提供を充実する	国際交流・国際協力などの活動への参加を推進する	賃貸住宅、住宅建設など居住支援施策を充実する	地域、NPO、グループ、スポーツなどの活動への参加を推進する	若者の個性を尊重する教育を充実する	地域企業のインターンシップ（企業活動体験制度）を充実する	各種審議会、協議会等に市民公募委員の若者枠を定め、市政への参加機会を拡充する	その他	特になし	無回答
今回(H26)	32.8	32.8	31.8	22.6	19.8	18.7	18.3	17.3	15.5	8.7	2.1	5.6	6.2
前回(H22)	28.4	40.7	33.1	22.7	17.0	19.4	21.4	13.7	15.1	11.5	2.1	5.1	3.2
前々回(H15)	25.2	34.5	31.8	25.5	23.9	17.7	29.1	18.7	14.4	12.6	2.3	5.5	1.6

性・年齢別にみると、女性39歳以下では「子育て支援策を整備、拡充する」が56.0%と半数を超え多くになっているほか、「賃貸住宅、住宅建設など居住支援施策を充実する」をあげる人も多い。女性65歳以上では「若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する」をあげる人が多くなっている。

(%)

	合計	子育て支援策を整備、拡充する	就業支援を充実する	若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する	若者の活動の場として、公共施設・公園・広場などの提供を充実する	国際交流・国際協力などの活動への参加を推進する	賃貸住宅、住宅建設など居住支援施策を充実する	地域、NPO、グループ、スポーツなどの活動への参加を推進する	若者の個性を尊重する教育を充実する
【全体】	1,017	32.8	32.8	31.8	22.6	19.8	18.7	18.3	17.3
【性・年齢別】									
男性 39歳以下	74	41.9	23.0	24.3	31.1	25.7	21.6	17.6	24.3
男性 40～64歳	174	34.5	33.9	26.4	24.7	18.4	20.1	19.0	13.2
男性 65歳以上	117	28.2	21.4	36.8	32.5	13.7	11.1	20.5	23.1
女性 39歳以下	125	56.0	36.8	26.4	24.8	24.0	35.2	15.2	13.6
女性 40～64歳	220	29.5	42.7	30.0	18.2	22.3	17.3	20.0	13.2
女性 65歳以上	146	24.0	34.2	43.2	17.8	15.1	14.4	16.4	16.4

	合計	地域企業のインターンシップ(企業活動体験制度)を充実する	各種審議会、協議会などに市民公募委員の若者枠を定め、市政への参加機会を拡充する	その他	特にない	無回答
【全体】	1,017	15.5	9.7	2.1	5.6	6.2
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	24.3	12.2	1.4	4.1	0.0
男性 40～64歳	174	15.5	9.8	4.0	6.9	4.0
男性 65歳以上	117	8.5	17.1	1.7	6.0	7.7
女性 39歳以下	125	19.2	4.0	1.6	0.8	0.8
女性 40～64歳	220	20.0	7.3	0.9	7.3	5.0
女性 65歳以上	146	9.6	11.6	1.4	5.5	13.0

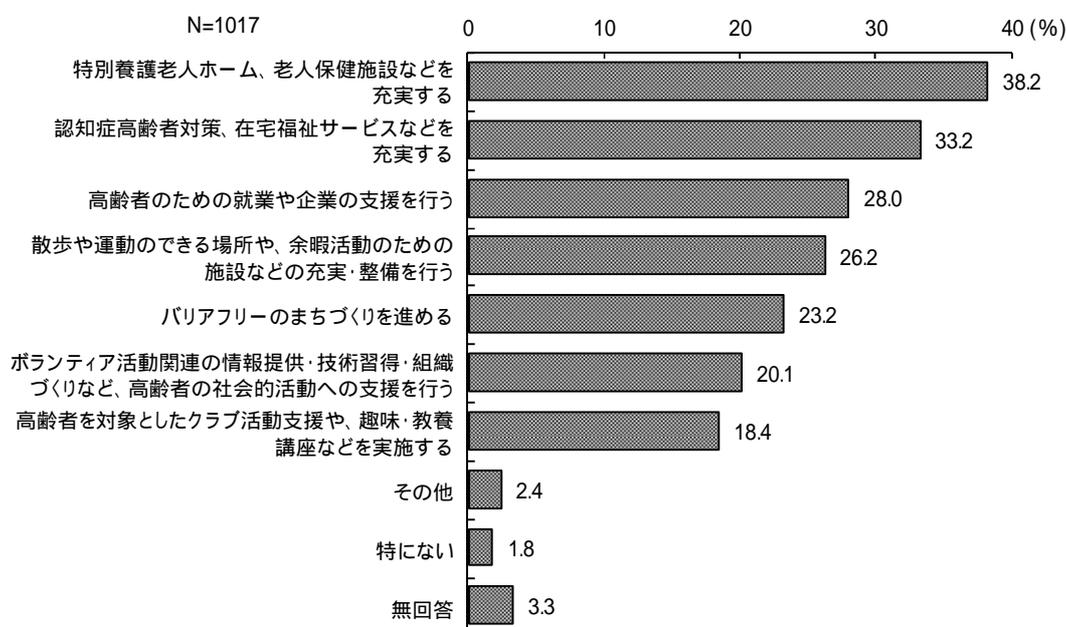
全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

6. 健康と福祉

(1) 高齢者のために効果的な施策

高齢者が豊かな生活を送るために効果的だと思われる施策としては、「特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する」(38.2%)と「認知症高齢者対策、在宅福祉サービスなどを充実する」(33.2%)が30%台で上位にあげられ、以下「高齢者のための就業や企業の支援を行う」(28.0%)、「散歩や運動のできる場所や、余暇活動のための施設などの充実・整備を行う」(26.2%)、「バリアフリーのまちづくりを進める」(23.2%)、「ボランティア活動関連の情報提供・技術習得・組織づくりなど、高齢者の社会的活動への支援を行う」(20.1%)が20%台でつづいている。

問15 高齢社会を迎え、高齢者が豊かな生活を送るためには、どのような施策が効果的と考えますか。(は2つまで)



前回調査との比較では、基本的に大きな差はみられない。

(%)

	特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する	認知症高齢者対策、在宅福祉サービスなどを充実する	高齢者のための就業や企業の支援を行う	散歩や運動のできる場所や、余暇活動のための施設などの充実・整備を行う	バリアフリーのまちづくりを進める	ボランティア活動関連の情報提供・技術習得・組織づくりなど、高齢者の社会的活動への支援を行う	高齢者を対象としたクラブ活動支援や、趣味・教養講座などを実施する	その他	特にない	無回答
今回(H26)	38.2	33.2	28.0	26.2	23.2	20.1	18.4	2.4	1.8	3.3
前回(H22)	41.8	30.5	28.2	23.8	24.2	20.2	21.2	2.8	2.4	0.9
前々回(H15)	26.4	24.5	28.1	26.7	26.0	29.0	22.8	2.3	2.1	1.0

性・年齢別にみると、「特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する」は男性65歳以上で約5割と多くなっている。

「バリアフリーのまちづくりを進める」は女性39歳以下で多くなっている。

(%)

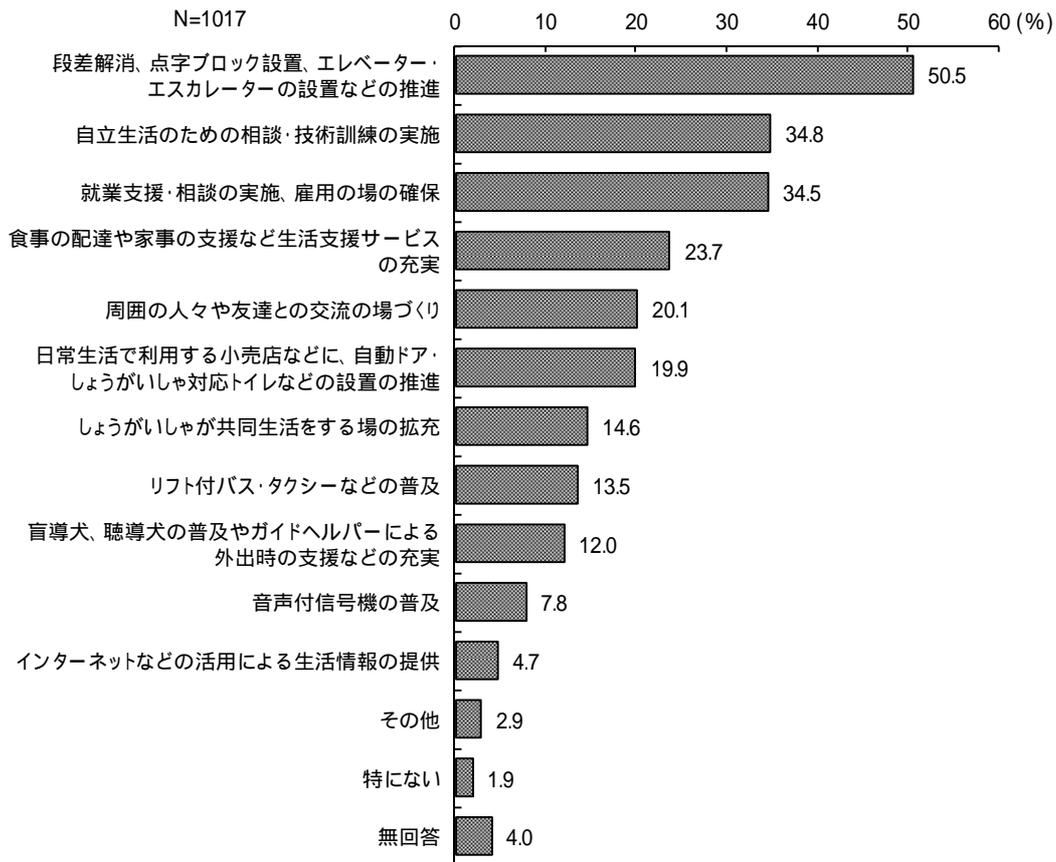
	合計	特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する	認知症高齢者対策、在宅福祉サービスなどを充実する	高齢者のための就業や企業の支援を行う	散歩や運動のできる場所や、余暇活動のための施設などの充実・整備を行う	バリアフリーのまちづくりを進める	ボランティア活動関連の情報提供・技術習得・組織づくりなど、高齢者の社会的活動への支援を行う	高齢者を対象としたクラブ活動支援や、趣味・教養講座などを実施する	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	38.2	33.2	28.0	26.2	23.2	20.1	18.4	2.4	1.8	3.3
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	32.4	31.1	33.8	27.0	28.4	18.9	9.5	1.4	5.4	1.4
男性 40～64歳	174	34.5	27.6	37.4	28.7	22.4	23.0	14.4	2.3	2.3	2.3
男性 65歳以上	117	49.6	20.5	23.1	25.6	16.2	23.1	17.9	1.7	1.7	2.6
女性 39歳以下	125	25.6	36.8	36.0	33.6	37.6	17.6	21.6	2.4	2.4	0.0
女性 40～64歳	220	40.9	40.0	32.7	17.7	20.5	25.0	17.7	2.3	0.5	2.7
女性 65歳以上	146	45.2	42.5	10.3	31.5	20.5	10.3	21.2	1.4	1.4	5.5

全体値より ○ : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、○ : +10～15%高い
 △ : -20%以上低い、△ : -15～20%低い、△ : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) しょうがいしゃのために重要な施策

しょうがいしゃが安心していきいきと暮らせるために重要な施策としては、「段差解消、点字ブロック、エレベーター・エスカレーターの設置」が最も多く50.5%と半数の人があげている。ついで「自立生活のための相談・技術訓練の実施」(34.8%)、「就業支援・相談の実施、雇用の場の確保」(34.5%)が30%台でつづいている。

問16 しょうがいしゃが安心していきいきと暮らせるためには、何が重要だと思いますか。(は3つまで)



前回調査との比較では、基本的に大きな差はみられない。

(%)

	の設置	訓練の実施	就業の確保	食事の配達	周囲の人々	の推進	日常生活	をしょうがい	の普及	援助等	音声付信号機	インターネット	その他	特にない	無回答
今回(H26)	50.5	34.8	34.5	23.7	20.1	19.9	14.6	13.5	12.0	7.8	4.7	2.9	1.9	4.0	
前回(H22)	49.7	36.9	36.9	26.8	21.6	19.5	12.4	11.3	15.4	8.7	3.9	4.2	2.3	2.0	
前々回(H15)	50.5	38.8	33.1	25.5	27.9	18.7	13.9	14.3	20.5	7.9	6.8	4.0	2.7	1.0	

性・年齢別にみると、「自立生活のための相談・技術訓練の実施」と「周囲の人々や友達との交流の場づくり」は男性39歳以下で多く、「就業支援・相談の実施、雇用の場の確保」は女性39歳以下で多くなっている。

(%)

	合計	段差解消、点字ブロック設置、エレベーター・エスカレーターなどの推進	自立生活のための相談・技術訓練の実施	就業支援・相談の実施、雇用の場の確保	食事の配達や家事の支援など生活支援サービスの充実	周囲の人々や友達との交流の場づくり	日常生活で利用する小売店などに、自動ドア・しょうがいしゃ対応トイレなどの設置の推進	しょうがいしゃが共同生活をする場の拡充
[全体]	1,017	50.5	34.8	34.5	23.7	20.1	19.9	14.6
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	43.2	45.9	43.2	12.2	31.1	17.6	16.2
男性 40～64歳	174	50.6	29.9	37.9	19.5	16.7	25.3	12.6
男性 65歳以上	117	50.4	39.3	29.9	27.4	18.8	13.7	13.7
女性 39歳以下	125	55.2	32.0	44.8	24.8	21.6	24.8	20.0
女性 40～64歳	220	51.8	39.5	39.5	21.8	19.5	22.3	11.8
女性 65歳以上	146	50.7	32.2	28.1	29.5	21.9	17.8	17.8

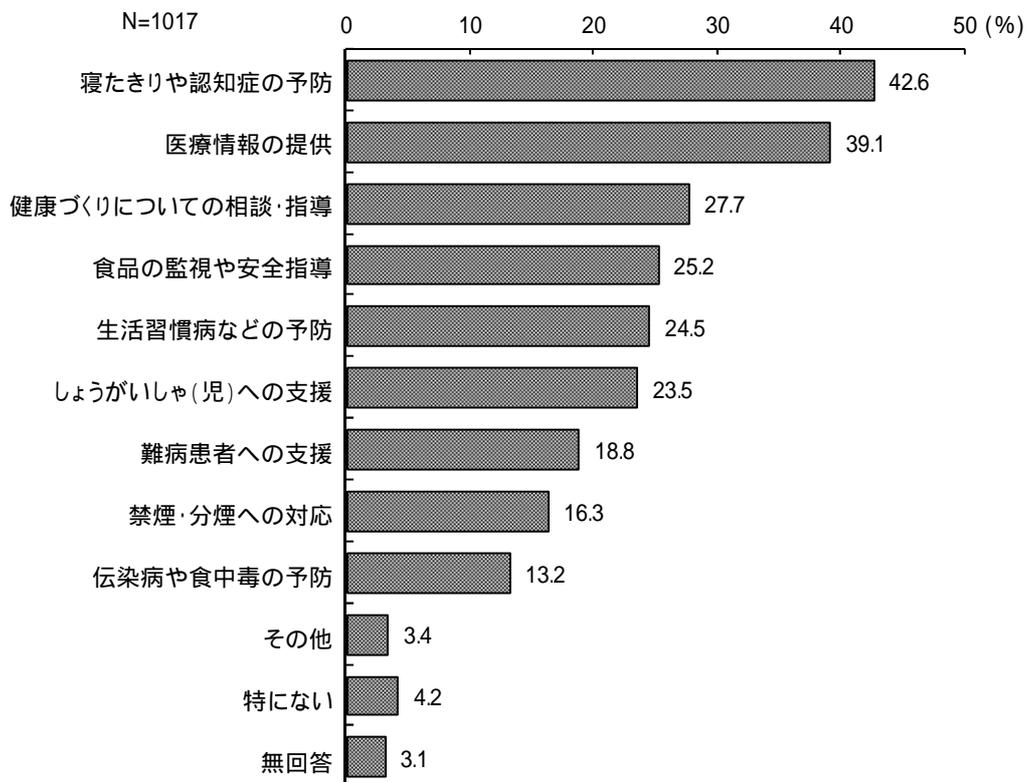
	合計	リフト付バス・タクシーなどの普及	盲導犬、聴導犬の普及やガイドヘルパーによる外出時の支援などの充実	音声付信号機の普及	インターネットなどの活用による生活情報の提供	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	13.5	12.0	7.8	4.7	2.9	1.9	4.0
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	9.5	5.4	2.7	8.1	6.8	4.1	1.4
男性 40～64歳	174	13.8	10.9	4.6	7.5	2.3	2.9	4.6
男性 65歳以上	117	15.4	7.7	8.5	2.6	6.0	1.7	2.6
女性 39歳以下	125	12.8	15.2	10.4	3.2	2.4	1.6	0.8
女性 40～64歳	220	11.8	17.3	5.5	5.0	2.7	0.9	2.3
女性 65歳以上	146	12.3	6.2	12.3	3.4	0.0	1.4	7.5

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 健康と福祉に関して力を入れるべき施策

健康と福祉に関して力を入れてほしい施策としては、「寝たきりや認知症の予防」(42.6%)と「医療情報の提供」(39.1%)の2つが40%前後で上位にあげられ、以下「健康づくりについての相談・指導」(27.7%)、「食品の監視や安全指導」(25.2%)、「生活習慣病などの予防」(24.5%)、「しようがいしゃ(児)への支援」(23.5%)が20%台でつづいている。

問17 あなたは、市に対し、健康と福祉に関しての施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「医療情報の提供」が8.8ポイント減少している。

(%)

	寝たきりや認知症の予防	医療情報の提供	健康づくりについての相談・指導	食品の監視や安全指導	生活習慣病などの予防	しようがいしゃ(児)への支援	難病患者への支援	禁煙・分煙への対応	伝染病や食中毒の予防	その他	特にない	無回答
今回(H26)	42.6	39.1	27.7	25.2	24.5	23.5	18.8	16.3	13.2	3.4	4.2	3.1
前回(H22)	40.0	47.9	26.4	24.5	23.3	24.9	23.4	17.5	10.9	3.1	3.5	1.3
前々回(H15)	34.7	48.7	30.4	31.0	23.5	24.5	19.9	20.9	14.7	2.7	3.3	1.4

性・年齢別にみると、「寝たきりや認知症の予防」は女性40歳以上で多くなっている。このほか、「禁煙・分煙への対応」は女性39歳以下、「伝染病や食中毒の予防」は男性39歳以下でやや多くなっている。

(%)

	合計	寝たきり や認知症 の予防	医療情報 の提供	健康づく りについ ての相 談・指導	食品の監 視や安全 指導	生活習慣 病などの 予防	しょうが いしゃ (児)への 支援
[全体]	1,017	42.6	39.1	27.7	25.2	24.5	23.5
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	28.4	31.1	20.3	23.0	25.7	29.7
男性 40～64歳	174	33.9	37.4	28.7	22.4	25.3	23.6
男性 65歳以上	117	39.3	42.7	35.9	23.9	29.9	18.8
女性 39歳以下	125	28.8	38.4	21.6	24.0	18.4	32.0
女性 40～64歳	220	55.0	39.1	22.7	26.4	20.9	26.8
女性 65歳以上	146	59.6	44.5	37.0	27.4	30.8	19.9

	合計	難病患者 への支援	禁煙・分 煙への対 応	伝染病や 食中毒の 予防	その他	特にな い	無回答
[全体]	1,017	18.8	16.3	13.2	3.4	4.2	3.1
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	20.3	18.9	24.3	6.8	9.5	1.4
男性 40～64歳	174	20.7	19.5	13.8	2.9	6.9	2.9
男性 65歳以上	117	15.4	11.1	10.3	2.6	6.0	2.6
女性 39歳以下	125	22.4	32.8	22.4	4.0	3.2	0.8
女性 40～64歳	220	19.5	15.9	10.5	4.1	1.8	2.3
女性 65歳以上	146	16.4	6.8	6.8	2.1	0.0	4.1

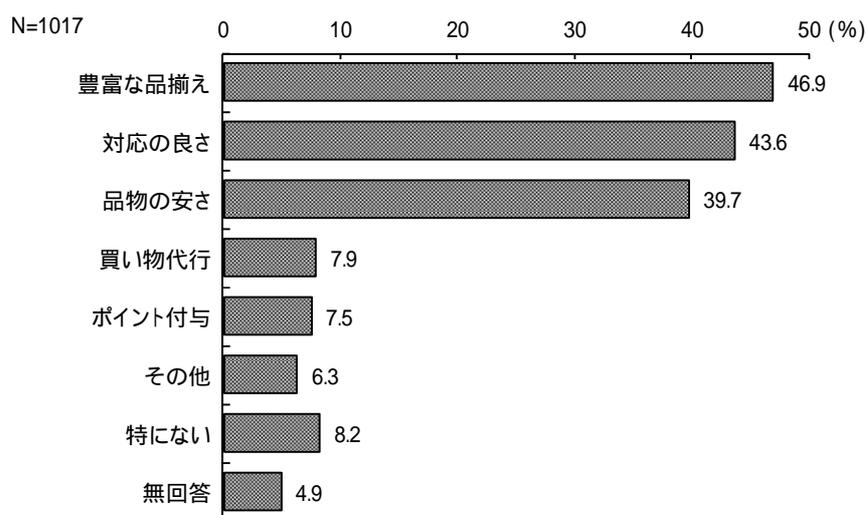
全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

7. 地域振興と観光、消費者

(1) 市内の商店に望むサービス

市内の商店に望むサービスとしては、「豊富な品揃え」(46.9%)、「対応の良さ」(43.6%)、「品物の安さ」(39.7%)の3つが上位にあげられている。

問18 あなたは、市内の商店にどのようなサービスを望みますか。(は2つまで)



性・年齢別にみると、女性39歳以下は「品物の安さ」をあげる人が半数を超え多くなっている。

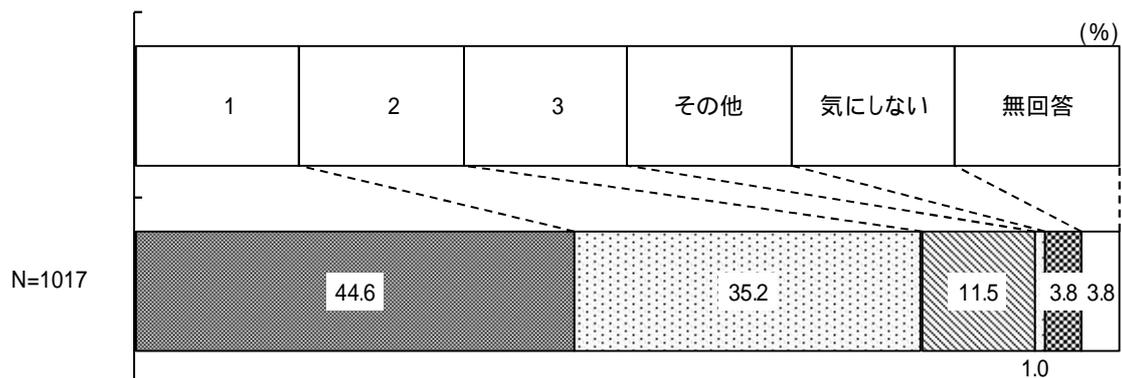
	合計	豊富な品揃え	対応の良さ	品物の安さ	買い物代行	ポイント付与	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	46.9	43.6	39.7	7.9	7.5	6.3	8.2	4.9
【性・年齢別】									
男性 39歳以下	74	47.3	40.5	47.3	0.0	5.4	10.8	9.5	2.7
男性 40～64歳	174	42.5	42.5	40.2	9.2	8.6	5.7	8.6	4.0
男性 65歳以上	117	41.9	38.5	38.5	7.7	6.8	1.7	11.1	7.7
女性 39歳以下	125	56.8	48.8	53.6	4.8	10.4	8.0	0.8	0.8
女性 40～64歳	220	50.9	45.5	36.4	5.9	7.3	7.7	8.6	2.3
女性 65歳以上	146	47.3	44.5	34.9	10.3	7.5	3.4	9.6	9.6

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 食の安全に関する意見

食の安全についての意見を聞いたところ、「安全性に不安があるので、店頭の商品の表示には細かく気をつかう」との意見が44.6%で最も多く、ついで「気にはなるが店頭での食品購入には価格その他の項目を優先しがちだ」との意見が35.2%でつづいている。

問19 食の安全について、あなたのご意見に最も近いものに、1つをつけてください。



- 1 安全性に不安があるので、店頭の商品の産地、生産者、成分などの表示には細かく気をつかう
- 2 気にはなるが、店頭での食品購入には、価格、その他の項目を優先しがちだ
- 3 国や行政がチェックしてくれるはずなので、あまり気にしない

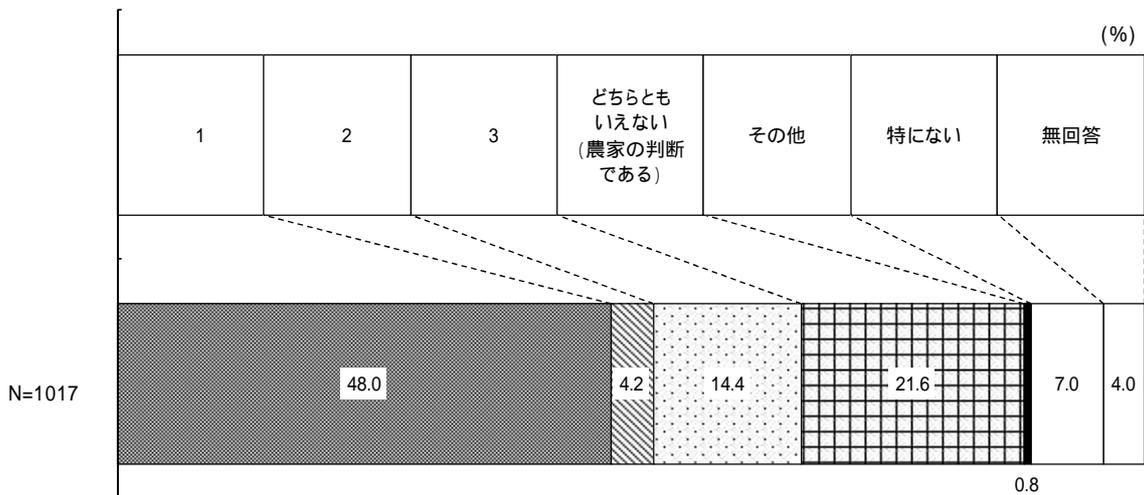
前回調査との比較では、基本的に大きな差はみられない。

	安全性に不安があるので、店頭の商品の表示には細かく気をつかう	気にはなるが店頭での食品購入には価格その他の項目を優先しがち	国や行政がチェックしてくれるはずなので、あまり気にしない	その他	気にしない	無回答
今回(H26)	44.6	35.2	11.5	1.0	3.8	3.8
前回(H22)	48.2	38.6	7.6	1.1	3.0	1.5
前々回(H15)	42.8	40.9	8.9	2.0	3.8	0.6

(3) 国立に望ましい農業

国立に望ましい農業については、約半数の人が「都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい」としている。

問20 地元・国立の農業について、あなたのご意見に最も近いものに、1つをつけてください。



- 1 都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい
- 2 都市では、農地は宅地や産業用地として転用、活用するのが望ましい
- 3 農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい

前回調査と比較しても、ほとんど変化はみられず、「都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい」との意見が多くなっている。

	都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい	都市では、農地は宅地や産業用地として転用、活用するのが望ましい	農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい	どちらともいえない(農家の判断である)	その他	特にない	無回答
今回(H26)	48.0	4.2	14.4	21.6	0.8	7.0	4.0
前回(H22)	48.3	3.0	19.2	20.8	1.0	5.0	2.6
前々回(H15)	53.9	5.5		34.2	0.7	4.7	1.0

前々回調査では、「農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい」の選択肢はなかった

性・年齢別にみても、各年代層とも「都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい」とする意見が多くなっている。

(%)

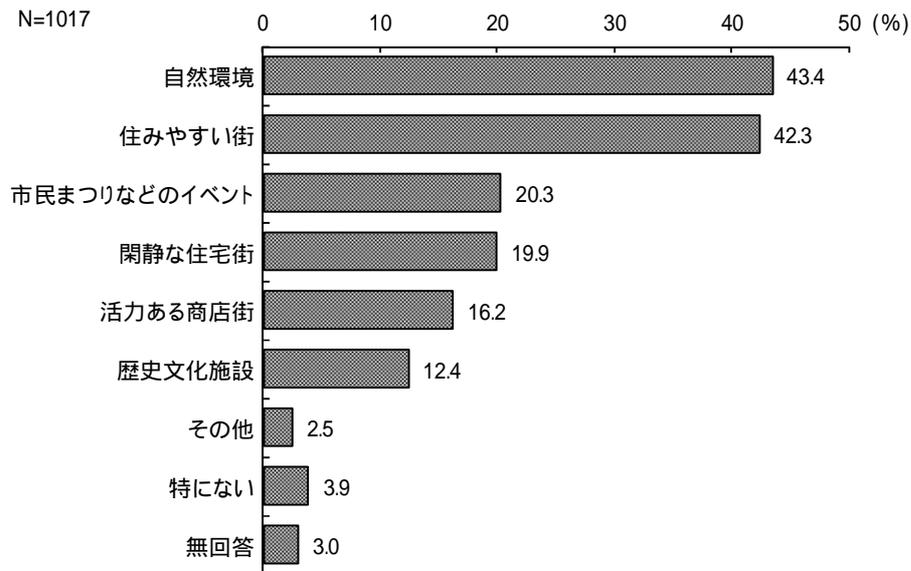
	合計	都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい	都市では、農地は宅地や産業用地として転用、活用するのが望ましい	農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい	どちらともいえない(農家の判断である)	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	48.0	4.2	14.4	21.6	0.8	7.0	4.0
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	37.8	9.5	17.6	23.0	2.7	8.1	1.4
男性 40～64歳	174	47.7	6.3	16.1	17.8	0.0	6.9	5.2
男性 65歳以上	117	40.2	3.4	17.1	23.9	2.6	10.3	2.6
女性 39歳以下	125	45.6	3.2	12.8	22.4	0.8	13.6	1.6
女性 40～64歳	220	56.8	2.3	13.2	20.0	0.5	4.1	3.2
女性 65歳以上	146	52.1	4.8	11.6	21.2	0.0	4.1	6.2

全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 国立らしい観光のあり方

国立らしい観光を進めるうえで、大切にしたいこととしては、「自然環境」(43.4%)と「住みやすい街」(42.3%)の2つが40%台で上位にあげられている。

問21 国立らしい観光を進めるうえで、あなたが大切にしたいと考えるものは次のどれですか。(○は2つまで)



性・年齢別にみると、「自然環境」は女性65歳以上、「住みやすい街」は男性39歳以下に多くなっている。このほか、女性39歳以下では「市民まつりなどのイベント」をあげる人が約3人に1人と多くなっている。

	合計	自然環境	住みやすい街	市民まつりなどのイベント	閑静な住宅街	活力ある商店街	歴史文化施設	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	43.4	42.3	20.3	19.9	16.2	12.4	2.5	3.9	3.0
【性・年齢別】										
男性 39歳以下	74	33.8	56.8	18.9	24.3	9.5	4.1	6.8	6.8	2.7
男性 40～64歳	174	36.2	39.7	20.1	26.4	12.6	13.2	2.3	4.6	2.9
男性 65歳以上	117	40.2	42.7	18.8	23.1	13.7	11.1	1.7	6.0	3.4
女性 39歳以下	125	41.6	43.2	32.8	21.6	24.8	10.4	0.8	2.4	0.0
女性 40～64歳	220	47.3	43.6	16.8	15.5	16.4	13.6	2.7	4.1	1.8
女性 65歳以上	146	57.5	40.4	18.5	11.6	17.1	14.4	2.1	2.1	3.4

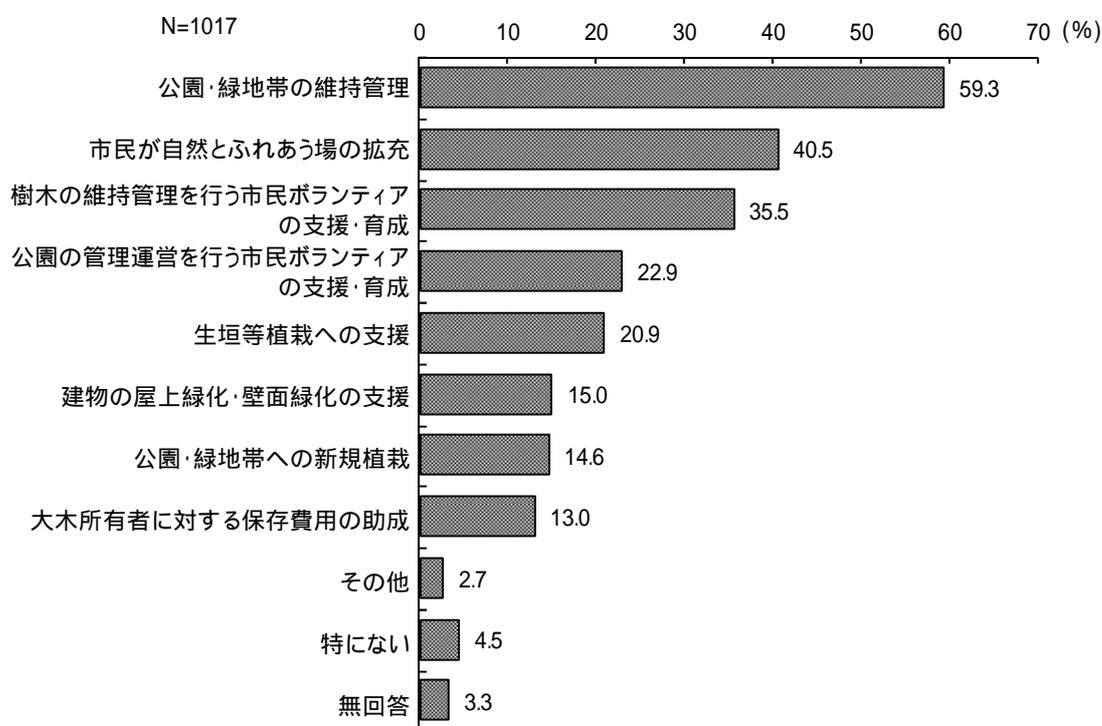
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

8. 環境（水・緑）

（1）みどりの保全と復元、創出のために市に望む施策

みどりの保全と復元、創出のために市が取り組むべきこととしては、「公園・緑地帯の維持管理」が59.3%で最も多く、以下「市民が自然とふれあう場の拡充」が40.5%、「樹木の維持管理を行う市民ボランティアの支援・育成」が35.5%でつづいている。

問22 国立市のみどりの保全と復元、創出のために、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。（は3つまで）



性・年齢別にみると、男性39歳以下では「市民が自然とふれあう場の拡充」や「樹木の維持管理を行う市民ボランティアの支援・育成」が少なくなっている。

(%)

	合計	公園・緑地帯の維持管理	市民が自然とふれあう場の拡充	樹木の維持管理を行う市民ボランティアの支援・育成	公園の管理運営を行う市民ボランティアの支援・育成	生垣等植栽への支援	建物の屋上緑化・壁面緑化の支援
[全体]	1,017	59.3	40.5	35.5	22.9	20.9	15.0
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	56.8	25.7	21.6	16.2	14.9	18.9
男性 40～64歳	174	63.8	34.5	33.9	23.6	23.0	19.5
男性 65歳以上	117	57.3	45.3	31.6	23.1	17.9	6.8
女性 39歳以下	125	65.6	43.2	32.0	22.4	16.8	21.6
女性 40～64歳	220	59.1	37.3	38.2	20.5	24.1	20.9
女性 65歳以上	146	56.2	50.0	43.2	29.5	22.6	4.8

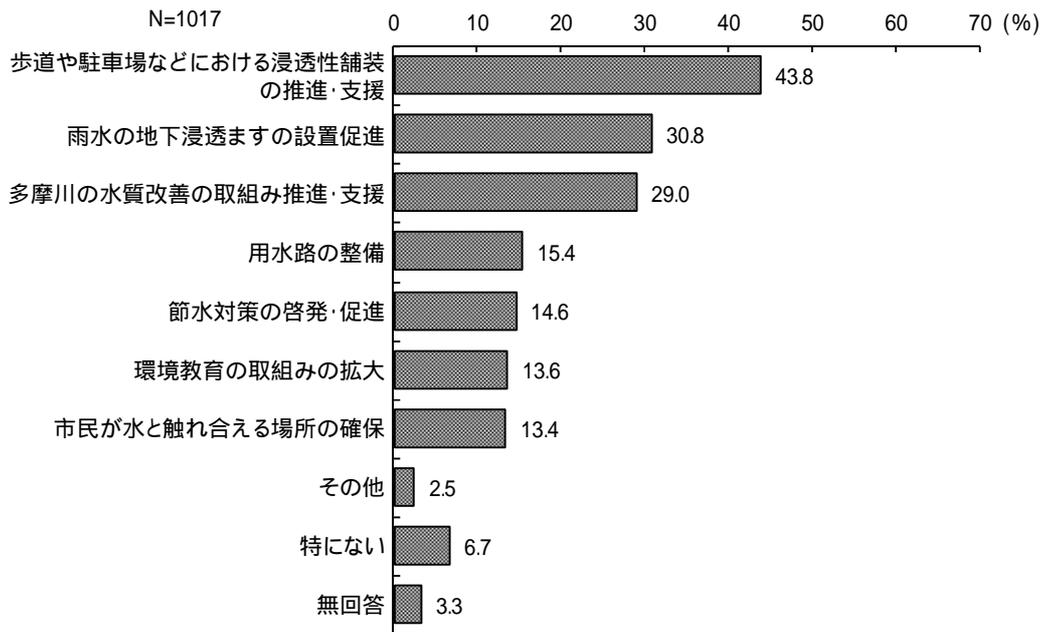
	合計	公園・緑地帯への新規植栽	大木所有者に対する保存費用の助成	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	14.6	13.0	2.7	4.5	3.3
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	20.3	13.5	2.7	10.8	4.1
男性 40～64歳	174	16.7	9.8	1.1	5.2	2.3
男性 65歳以上	117	18.8	13.7	2.6	6.8	3.4
女性 39歳以下	125	12.8	11.2	1.6	4.0	0.8
女性 40～64歳	220	11.4	16.4	3.6	4.1	2.7
女性 65歳以上	146	10.3	13.7	4.1	3.4	4.8

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 水環境保全のために市に望む施策

水環境の保全のため、市が取り組むべきこととしては、「歩道や駐車場などにおける浸透性舗装の推進・支援」が43.8%と最も多く、ついで「雨水の地下浸透ますの設置促進」(30.8%)と「多摩川の水質改善の取組み推進・支援」(29.0%)がつづいている。

問23 国立市の水環境の保全のため、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇は2つまで)

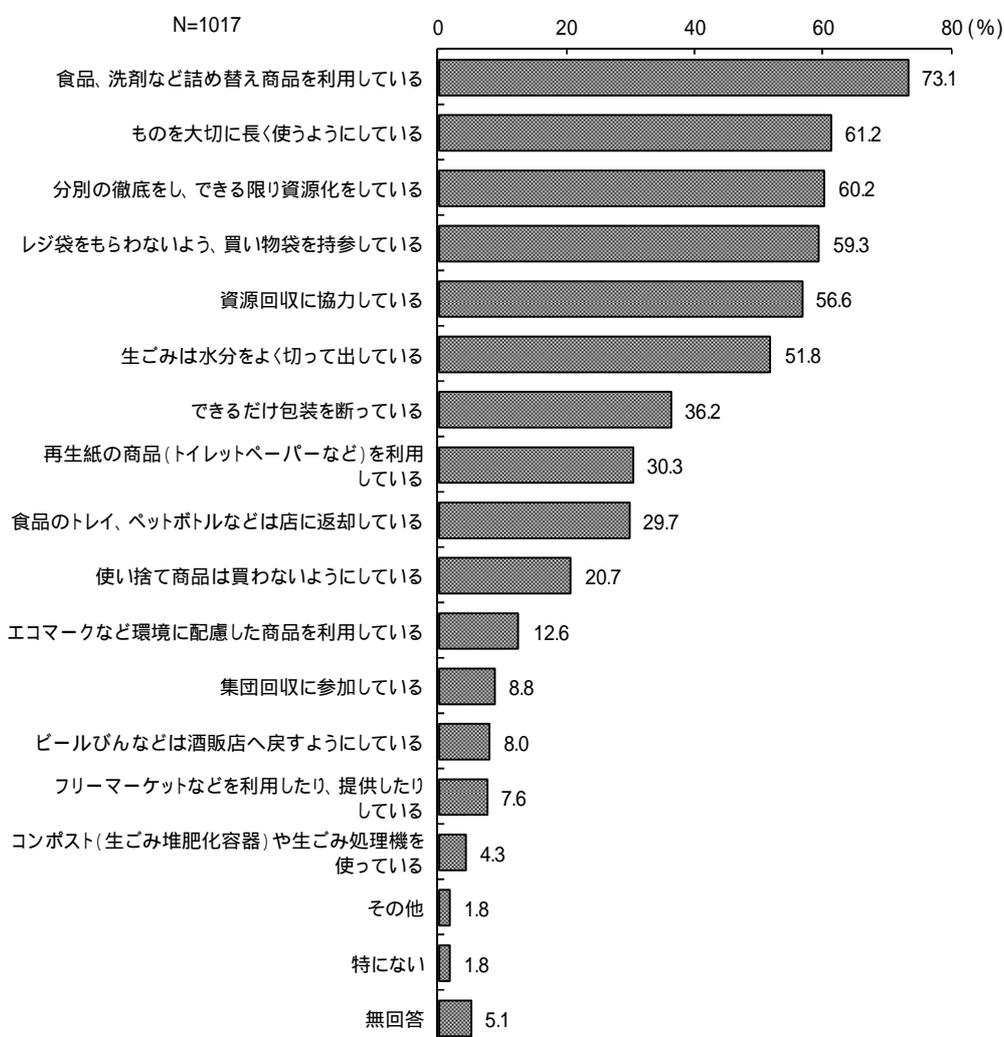


9 . 環境（ごみとリサイクル）

（ 1 ）循環型社会を形成するために取り組んでいること

循環型社会を形成するために取り組んでいることをみると、「食品、洗剤など詰め替え商品を利用している」が73.1%で最も多く、以下「ものを大切に長く使うようにしている」(61.2%)、「分別の徹底をし、出来る限り資源化している」(60.2%)、「レジ袋をもらわないよう、買い物袋を持参している」(59.3%)、「資源回収に協力している」(56.6%)、「生ごみは水分をよく切って出している」(51.8%)がつついている。

問24 家庭から出るごみを減らし、循環型社会（ごみの発生・排出が抑制され、再使用、再生利用、適正処分される環境にやさしい社会）を形成するために、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるもの全てに ）



前回調査と比較すると、あまり大きな差はみられないが、どの項目ともわずかではあるが減少している。

(%)

	食品、洗剤など詰め替え商品を利用している	ものを大切に長く使うようにしている	分別の徹底をし、できる限り資源化をしている	レジ袋をもらわないよう、買い物袋を持参している	資源回収に協力している	生ごみは水分をよく切つて出してやる	断つて包装を断つていく	再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している	食品のトレイ、ペットボトルなどは返却している
今回(H26)	73.1	61.2	60.2	59.3	56.6	51.8	36.2	30.3	29.7
前回(H22)	74.7	66.3	61.8	59.4	61.0	53.3	42.4	37.9	30.8
前々回(H15)	67.9	61.1	60.7	32.0	58.1	49.5	31.8	38.9	35.6

	使わない捨て商品はないようにしている	エコマークなど環境に配慮した商品を利用している	集団回収に参加している	ビールびんなどは酒販店へ戻すようにしている	フリーマーケットなどを利用したり提供したりしている	み堆肥(生ごみ処理機)やコンポスト(生ごみ処理機)を使っている	その他	特になし	無回答
今回(H26)	20.7	12.6	8.8	8.0	7.6	4.3	1.8	1.8	5.1
前回(H22)	21.5	14.0	9.9	10.0	9.8	5.0	1.3	1.7	1.4
前々回(H15)	19.2	15.0	14.6	16.8	11.5	5.1	0.8	3.1	0.6

性・年齢別にみると、女性40歳以上ではさまざまな取組みを積極的に行っていることがうかがえるが、男性39歳以下では、全体を下回る項目が多く、取り組みにはやや消極的な傾向がうかがえる。

	合計	食品、洗剤など詰め替え商品を利用している	ものを大切に長く使うようにしている	分別の徹底をし、できる限り資源化をしている	レジ袋をもらわないよう、買い物袋を持参している	資源回収に協力している	生ごみは水分をよく切って出している	できるだけ包装を断っている	再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している	食品のトレイ、ペットボトルなどは店に返却している	(%) 使い捨て商品は買わないようにしている
【全体】	1,017	73.1	61.2	60.2	59.3	56.6	51.8	36.2	30.3	29.7	20.7
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	54.1	52.7	48.6	41.9	33.8	31.1	25.7	13.5	18.9	10.8
男性 40～64歳	174	69.0	63.8	60.9	51.1	51.7	38.5	28.2	24.1	19.0	12.1
男性 65歳以上	117	62.4	65.0	58.1	47.9	59.0	46.2	24.8	28.2	23.1	19.7
女性 39歳以下	125	77.6	51.2	53.6	52.8	46.4	44.8	40.0	28.0	29.6	13.6
女性 40～64歳	220	86.8	60.5	69.1	72.7	60.9	62.7	47.3	33.6	36.8	27.7
女性 65歳以上	146	83.6	72.6	68.5	74.0	75.3	74.7	43.8	45.9	38.4	26.0

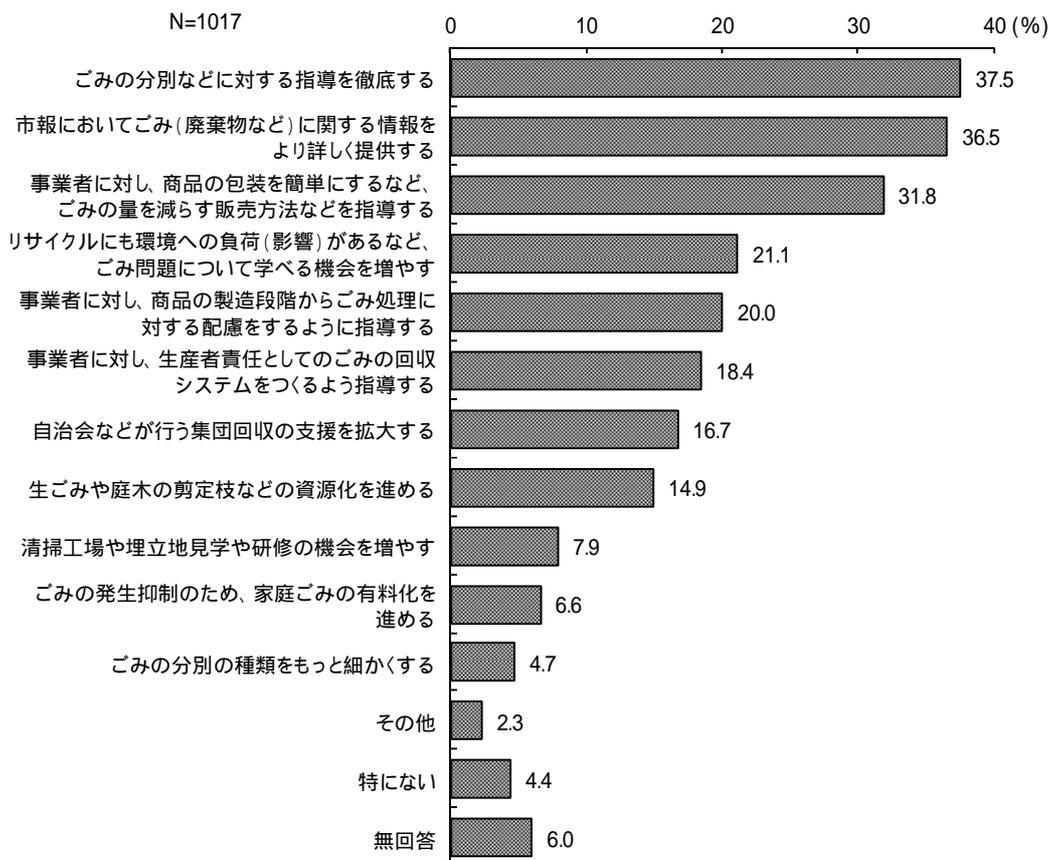
	合計	エコマークなど環境に配慮した商品を利用している	集団回収に参加している	ビールびんなどは酒販店へ戻すようにしている	フリーマーケットなどを利用したり、提供したりしている	コンポスト(生ごみ堆肥化容器)や生ごみ処理機を使っている	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	12.6	8.8	8.0	7.6	4.3	1.8	1.8	5.1
【性・年齢別】									
男性 39歳以下	74	4.1	4.1	2.7	5.4	2.7	0.0	5.4	4.1
男性 40～64歳	174	8.6	6.9	8.0	3.4	1.7	1.7	2.9	2.9
男性 65歳以上	117	11.1	12.0	7.7	1.7	3.4	0.0	0.9	9.4
女性 39歳以下	125	11.2	7.2	5.6	12.8	1.6	1.6	3.2	4.0
女性 40～64歳	220	13.2	8.2	8.6	10.0	4.5	3.2	0.0	5.0
女性 65歳以上	146	21.9	13.0	11.0	11.0	10.3	1.4	0.0	4.1

全体値より ○ : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、○ : +10～15%高い
 △ : -20%以上低い、△ : -15～20%低い、△ : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 循環型社会の形成のために行政がすべきこと

今後、循環型社会の形成のために行政がすべきこととしては、「ごみの分別などに対する指導を徹底する」(37.5%)、「市報においてごみ(廃棄物等)に関する情報をより詳しく提供する」(36.5%)、「事業者に対し、商品の包装を簡単にする等、ごみの量を減らす販売方法等を指導する」(31.8%)の3つが30%台で上位にあげられている。

問25 今後、循環型社会の形成のために、行政はどのようなことをすべきだと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「事業者に対し、商品の包装を簡単にする等、ごみの量を減らす販売方法等を指導する」「事業者に対し商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する」との回答が10ポイント前後減少しており、事業者に対する指導を求める声がやや少なくなっている。

(%)

	ごみの分別などに対する指導を徹底する	市報においてごみ(廃棄物等)に関する情報をより詳しく提供する	事業者に対し商品の包装を簡単にする等ごみの量を減らす販売方法等を指導する	事業者に対し商品の包装を簡単にする等ごみの量を減らす販売方法等を指導する	事業者に対し商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する	事業者に対し生産者責任としてのごみの回収システムをつくるよう指導する	事業者に対し商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する	自治会などが行う集団回収の支援を拡大する	生ごみや庭木の剪定枝などの資源化を進める	清掃工場や埋立地見学や研修の機会を増やす	ごみの発生抑制のため、家庭ごみの有料化を進める	ごみの分別の種類をもっと細かくする	その他	特になし	無回答
今回(H26)	37.5	36.5	31.8	21.1	20.0	18.4	16.7	14.9	7.8	6.6	4.7	2.3	4.4	6.0	
前回(H22)	36.5	37.3	44.8	17.2	29.1	24.0	15.8	14.4	6.0	5.4	4.0	2.6	3.5	2.6	
前々回(H15)	40.6	34.5	45.1	20.8	37.1	28.6	16.1	12.0	9.6		5.1	2.7	2.8	0.7	

前々回調査では、「ごみの発生抑制のため、家庭ごみの有料化を進める」の選択肢はなかった

性・年齢別みると、目立った差はみられないが、女性65歳以上で「事業者に対し、商品の包装を簡単にする等、ごみの量を減らす販売方法等を指導する」をあげる人が多くなっている。

(%)

	合計	ごみの分別などに対する指導を徹底する	市報においてごみ(廃棄物など)に関する情報をより詳しく提供する	事業者に対し、商品の包装を簡単にするなど、ごみの量を減らす販売方法を指導する	リサイクルにも環境への負荷(影響)があるなど、ごみ問題について学べる機会を増やす	事業者に対し、商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する	事業者に対し、生産者責任としてのごみの回収システムをつくるよう指導する	自治会などが行う集団回収の支援を拡大する
[全体]	1,017	37.5	36.5	31.8	21.1	20.0	18.4	16.7
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	36.5	24.3	29.7	27.0	14.9	16.2	14.9
男性 40～64歳	174	41.4	32.8	25.9	20.1	16.1	21.8	16.7
男性 65歳以上	117	35.9	41.9	23.9	16.2	17.9	20.5	20.5
女性 39歳以下	125	29.6	34.4	30.4	24.0	24.8	8.0	16.8
女性 40～64歳	220	38.6	39.1	33.2	21.8	20.9	21.8	13.2
女性 65歳以上	146	41.8	40.4	44.5	19.2	26.7	17.1	17.1

	合計	生ごみや庭木の剪定枝などの資源化を進める	清掃工場や埋立地見学や研修の機会を増やす	ごみの発生抑制のため、家庭ごみの有料化を進める	ごみの分別の種類をもっと細かくする	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	14.9	7.9	6.6	4.7	2.3	4.4	6.0
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	13.5	10.8	6.8	1.4	1.4	6.8	4.1
男性 40～64歳	174	13.2	8.6	7.5	8.0	5.2	6.9	4.0
男性 65歳以上	117	15.4	8.5	10.3	4.3	0.9	5.1	9.4
女性 39歳以下	125	12.8	8.0	3.2	4.0	1.6	7.2	4.8
女性 40～64歳	220	15.9	4.5	6.4	1.8	1.8	2.7	6.4
女性 65歳以上	146	17.8	6.8	5.5	8.2	1.4	1.4	5.5

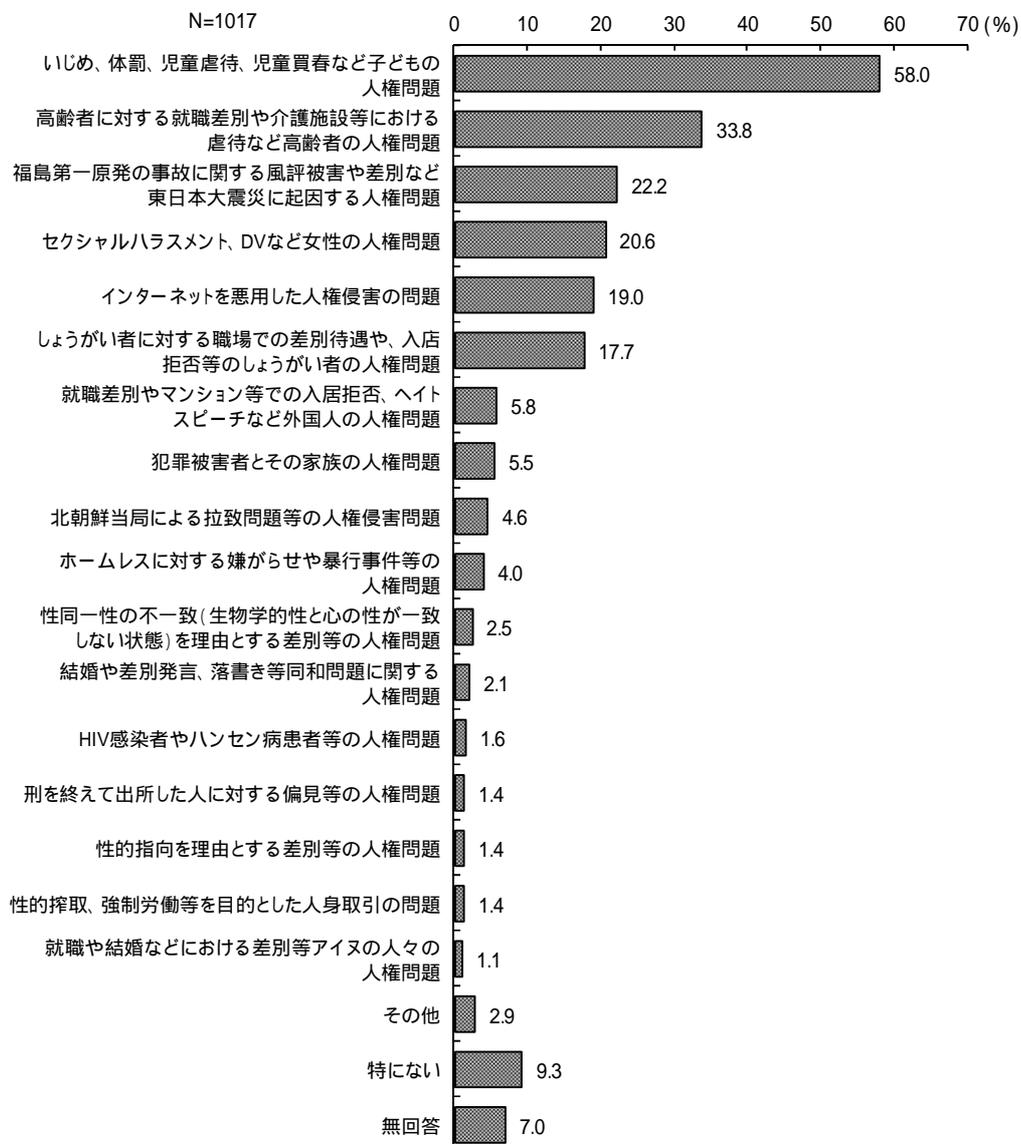
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

10 . 男女平等・人権・平和、個人情報保護

(1) 人権課題に対する市への要望

人権課題に対する市への要望をみると、「いじめ、体罰、児童虐待、児童買春など子どもの人権問題」をあげる人が58.0%と過半数を超え、ついで「高齢者に対する就職差別や介護施設等における虐待など高齢者の人権問題」が33.8%と多くなっている。

問26 市では様々な機関と連携しながら、市民の皆様の人権が尊重され、守られるよう取り組みを行っています。人権課題は多岐にわたりますが、あなたは、市にどのような課題に重点を置いて取り組んでほしいですか。(は3つまで)



性・年齢別にみると、女性65歳以上では「福島第一原発の事故に関する風評被害や差別など東日本大震災に起因する人権問題」、女性39歳以下では「セクシャルハラスメント、DVなど女性の人権問題」をあげる人が30%台と多くなっている。

(%)

	合計	いじめ、体罰、児童虐待、児童買春など子どもの人権問題	高齢者に対する就職差別や介護施設等における虐待など高齢者の人権問題	福島第一原発の事故に関する風評被害や差別など東日本大震災に起因する人権問題	セクシャルハラスメント、DVなど女性の人権問題	インターネットを悪用した人権侵害の問題	しょうがい者に対する職場での差別待遇や、入店拒否等のしょうがい者の人権問題	就職差別やマンション等での入居拒否、ヘイトスピーチなど外国人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題等の人権侵害問題	ホームレスに対する嫌がらせや暴行事件等の人権問題
【全体】	1,017	58.0	33.8	22.2	20.6	19.0	17.7	5.8	5.5	4.6	4.0
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	60.8	25.7	16.2	20.3	17.6	25.7	6.8	5.4	0.0	6.8
男性 40～64歳	174	64.4	36.2	19.0	20.1	19.5	19.5	9.2	7.5	3.4	5.7
男性 65歳以上	117	54.7	35.0	23.1	15.4	17.1	17.1	3.4	5.1	12.8	1.7
女性 39歳以下	125	61.6	28.0	14.4	31.2	19.2	20.0	7.2	2.4	2.4	2.4
女性 40～64歳	220	59.1	34.5	20.9	25.0	23.2	14.5	4.5	6.8	2.3	0.9
女性 65歳以上	146	51.4	43.2	36.3	17.1	18.5	17.1	4.1	6.2	6.2	6.2

	合計	性同一性の不一致(生物学的性と心の性が一致しない状態)を理由とする差別等の人権問題	結婚や差別発言、落書き等同和問題に関する人権問題	HIV感染者やハンセン病患者等の人権問題	刑を終えて出所した人に対する偏見等の人権問題	性的指向を理由とする差別等の人権問題	性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引の問題	就職や結婚などにおける差別等アイヌの人々の人権問題	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	2.5	2.1	1.6	1.4	1.4	1.4	1.1	2.9	9.3	7.0
【性・年齢別】											
男性 39歳以下	74	2.7	1.4	2.7	2.7	4.1	2.7	5.4	5.4	10.8	4.1
男性 40～64歳	174	1.1	2.9	1.1	1.1	1.1	0.6	0.0	2.9	11.5	2.9
男性 65歳以上	117	0.0	0.9	0.9	0.9	3.4	0.0	0.9	1.7	8.5	11.1
女性 39歳以下	125	7.2	4.8	3.2	0.8	2.4	4.0	1.6	3.2	10.4	4.0
女性 40～64歳	220	2.7	1.4	0.9	0.9	0.0	0.5	0.9	1.8	7.3	8.2
女性 65歳以上	146	0.7	1.4	1.4	2.1	1.4	2.1	0.7	2.1	5.5	9.6

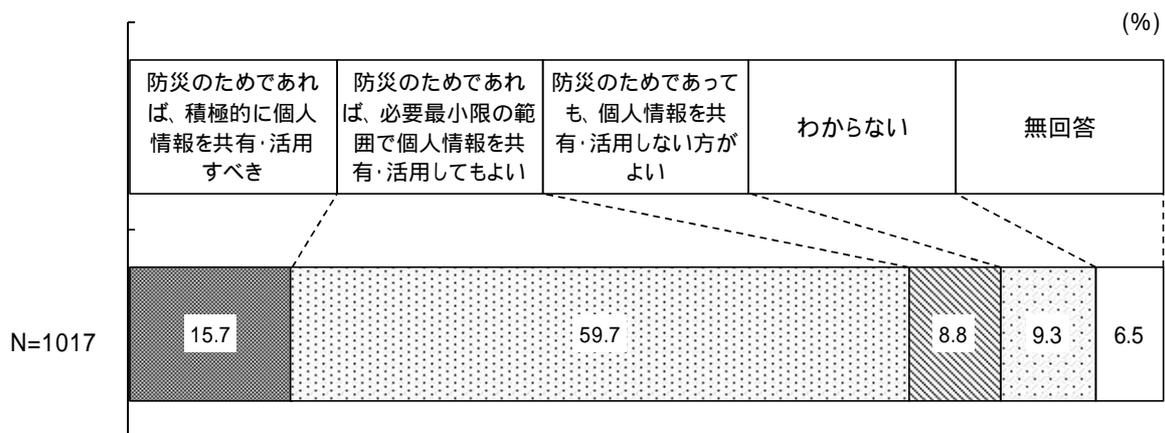
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 高齢者やしょうがい者の個人情報の共有について

個人情報の保護に関連して、市が保有する高齢者やしょうがい者の情報を、防災のために他の部局や自主防災組織といった関係団体と共有することについては、「防災のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」とする人が59.7%とほぼ6割を占めている。

「防災のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき」とする人は15.7%にとどまり、「防災のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい」とする人は8.8%と少ない。

問27 個人情報の保護に関連して、市が保有する高齢者やしょうがい者の情報を、防災のために他の部局や自主防災組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。以下から一つだけお選びください。



性・年齢別にみると、各年代層とも「防災のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい」とする人が多数を占めており、女性39歳以下では7割と多くなっている。

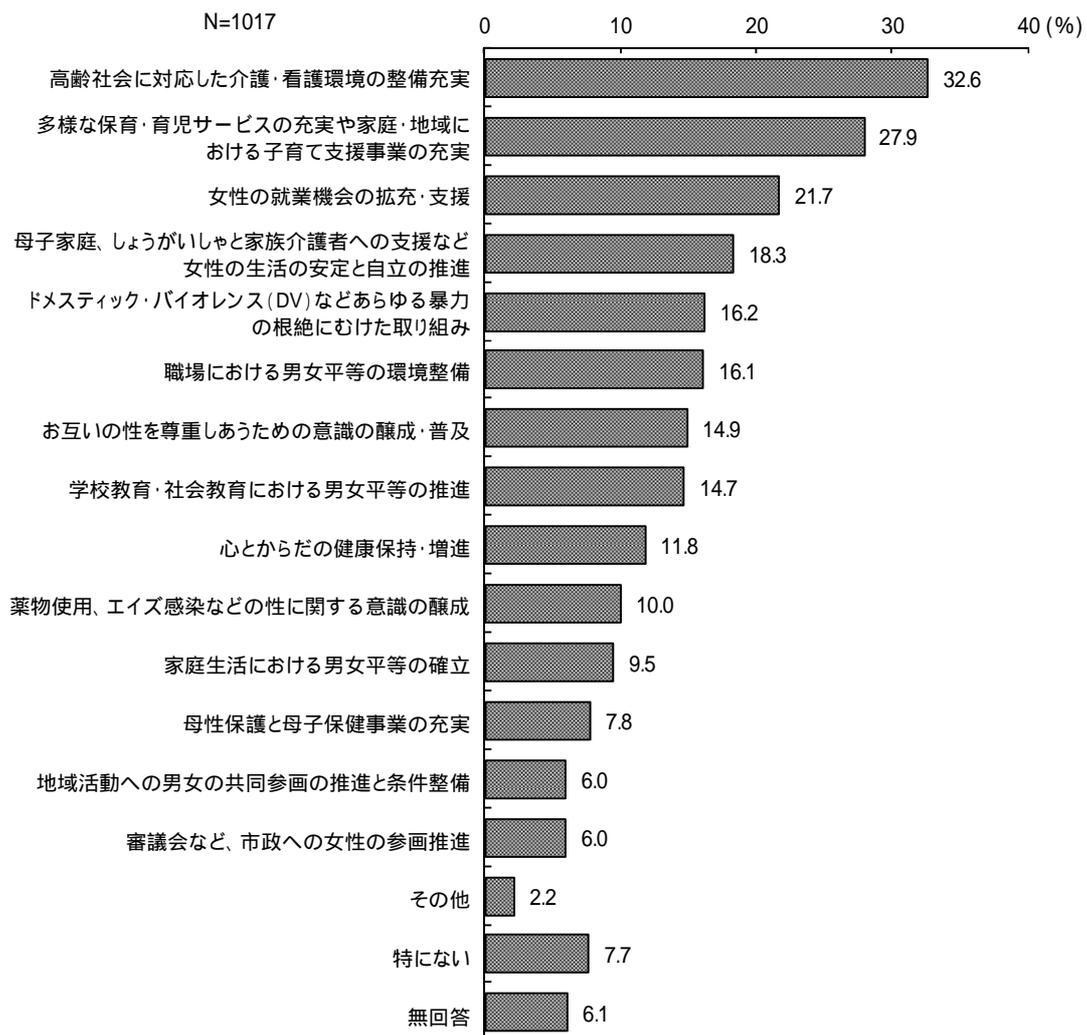
	合計	防災のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき	防災のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい	防災のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい	わからない	無回答
[全体]	1,017	15.7	59.7	8.8	9.3	6.5
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	16.2	58.1	8.1	10.8	6.8
男性 40～64歳	174	19.5	60.9	5.7	10.3	3.4
男性 65歳以上	117	22.2	51.3	8.5	8.5	9.4
女性 39歳以下	125	8.8	70.4	5.6	10.4	4.8
女性 40～64歳	220	16.4	61.4	6.4	9.1	6.8
女性 65歳以上	146	9.6	58.9	17.1	8.2	6.2

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 男女共同参画を進めるために充実させるべき施策

男女共同参画を推進するために充実すべき施策としては、「高齢社会に対応した介護・看護環境の整備充実」とする人が32.6%で最も多く、ついで「多様な保育・育児サービスの充実や家庭・地域における子育て支援事業の充実」が27.9%、「女性の就業機会の拡充・支援」が21.7%でつづいている。

問28 市では、男女の平等・自立と共同参画の社会の実現を目指した各種の事業を行っています。男女共同参画を推進するために、今後どのような施策を充実したらよいと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、大きな差はみられないが、「性の商品化,売買春,援助交際,薬物使用,エイズ感染等の性に関する意識の醸成」は4.9ポイント減少している。

(%)

	高齢社会に対応した介護看護環境の整備充実	多様な保育・育児サービスの実施 家庭地域における子育て支援事業の充実	女性の就業機会の拡充支援	母子家庭・シングルやと家族介護者への援助等女性の生活安定と自立の推進	ドメスティックバイオレンス等あらゆる暴力の根絶にむけた取り組み	職場における男女平等の環境整備	お互いの性を尊重しあうための意識の醸成普及	学校教育・社会教育における男女平等の推進	心とからだの健康保持増進	性的商品化・売買春・援助交際・薬物使用・エイズ感染等の性に関する意識の醸成	家庭生活における男女平等の確立	母性保護と母子保健事業の充実	地域活動への男女の共同参画の推進と条件整備	審議会など、市政への女性の参画推進	その他	特になし	無回答
今回(H26)	32.6	27.9	21.7	18.3	16.2	16.1	14.9	14.7	11.8	10.0	9.5	7.8	6.0	6.0	2.2	7.7	6.1
前回(H22)	33.6	24.2	21.5	21.4	18.6	13.2	13.6	15.4	11.9	14.9	9.0	9.5	6.2	5.6	2.3	7.2	4.0
前々回(H15)	29.7	25.3	21.6	21.6	21.8	14.7	17.4	18.0	12.9	25.5	12.3	8.2	5.9	5.2	2.4	5.7	2.0

性・年齢別にみると、男女とも65歳以上では「高齢社会に対応した介護・看護環境の整備充実」、女性39歳以下では「多様な保育・育児サービスの充実や家庭・地域における子育て支援事業の充実」と「女性の就業機会の拡充・支援」が多くなっている。

(%)

	合計	高齢社会に対応した介護・看護環境の整備充実	多様な保育・育児サービスの充実や家庭・地域における子育て支援事業の充実	女性の就業機会の拡充・支援	母子家庭、しょうがいしゃと家族介護者への支援など女性の生活の安定と自立の推進	ドメスティック・バイオレンス(DV)などあらゆる暴力の根絶にむけた取り組み	職場における男女平等の環境整備	お互いの性を尊重しあうための意識の醸成・普及	学校教育・社会教育における男女平等の推進	心とからだの健康保持・増進
【全体】	1,017	32.6	27.9	21.7	18.3	16.2	16.1	14.9	14.7	11.8
【性・年齢別】										
男性 39歳以下	74	14.9	32.4	20.3	13.5	17.6	21.6	25.7	10.8	14.9
男性 40～64歳	174	21.3	26.4	25.3	20.7	16.1	17.8	16.7	16.7	13.2
男性 65歳以上	117	45.3	17.1	15.4	14.5	15.4	19.7	17.1	15.4	14.5
女性 39歳以下	125	15.2	42.4	35.2	20.0	13.6	19.2	12.8	10.4	8.8
女性 40～64歳	220	31.8	33.6	27.3	19.1	18.6	11.4	9.5	17.3	8.2
女性 65歳以上	146	61.0	22.6	12.3	18.5	17.1	12.3	8.2	14.4	17.1

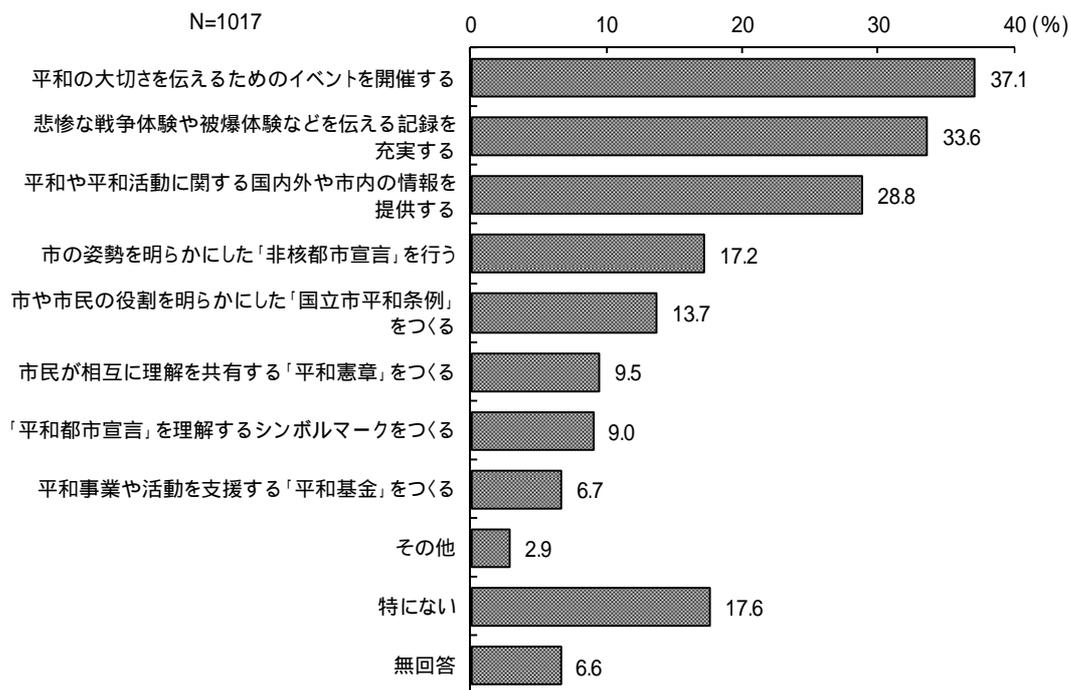
	合計	性の商品化、売買春、援助交際、薬物使用、エイズ感染などの性に関する意識の醸成	家庭生活における男女平等の確立	母性保護と母子保健事業の充実	地域活動への男女の共同参加の推進と条件整備	審議会など、市政への女性の参画推進	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	10.0	9.5	7.8	6.0	6.0	2.2	7.7	6.1
【性・年齢別】									
男性 39歳以下	74	8.1	12.2	6.8	5.4	1.4	2.7	12.2	2.7
男性 40～64歳	174	9.2	6.3	8.6	6.3	5.2	1.1	10.3	5.2
男性 65歳以上	117	11.1	6.8	5.1	5.1	9.4	0.9	9.4	6.0
女性 39歳以下	125	8.0	14.4	17.6	4.0	4.8	4.0	8.8	2.4
女性 40～64歳	220	11.4	9.5	9.5	2.3	6.4	1.8	5.0	6.8
女性 65歳以上	146	12.3	9.6	2.7	6.8	7.5	2.1	5.5	5.5

全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 市に望む平和施策

今後市が進めるべき平和施策としては、「平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する」(37.1%)が最も多く、ついで「悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する」(33.6%)、「平和や平和活動に関する国内外や市内の情報を提供する」(28.8%)がつづいている。

問29 市では平成12年6月に平和都市宣言を行うとともに、平和の大切さを未来に伝えるためのさまざまな事業を行っています。これから市はどのような平和施策を進めるべきだと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

(%)

	平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する	悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する	平和や平和活動に関する国内外や市内の情報を提供する	市の姿勢を明らかにした「非核都市宣言」を行う	市や市民の役割を明らかにした「国立市平和条例」をつくる	「平和都市宣言」を理解するシンボルマークをつくる	市民が相互に理解を共有する「平和憲章」をつくる	平和事業や活動を支援する「平和基金」をつくる	その他	特にない	無回答
今回(H26)	37.1	33.6	28.8	17.2	13.7	9.0	9.5	6.7	2.9	17.6	6.6
前回(H22)	37.5	32.7	27.9	14.0	13.0	10.3	8.9	8.9	4.3	18.1	5.0
前々回(H15)	40.6	39.3	37.3	18.4	17.4	7.1	10.6	15.3	4.0	12.6	1.8

性・年齢別でもあまり顕著な差はみられず、各年代層とも「平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する」、「悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する」、「平和や平和活動に関する国内外や市内の情報を提供する」の3つが上位にあげられている。

(%)

	合計	平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する	悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する	平和や平和活動に関する国内外や市内の情報を提供する	市の姿勢を明らかにした「非核都市宣言」を行う	市や市民の役割を明らかにした「国立市平和条例」をつくる	市民が相互に理解を共有する「平和憲章」をつくる
[全体]	1,017	37.1	33.6	28.8	17.2	13.7	9.5
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	33.8	29.7	31.1	17.6	10.8	9.5
男性 40～64歳	174	37.4	30.5	24.1	12.6	9.8	10.9
男性 65歳以上	117	39.3	38.5	26.5	15.4	17.9	15.4
女性 39歳以下	125	28.0	34.4	26.4	17.6	13.6	8.8
女性 40～64歳	220	32.7	33.2	33.6	20.5	11.4	7.3
女性 65歳以上	146	43.2	34.2	28.8	21.2	19.9	10.3

	合計	「平和都市宣言」を理解するシンボルマークをつくる	平和事業や活動を支援する「平和基金」をつくる	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	9.0	6.7	2.9	17.6	6.6
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	13.5	8.1	5.4	17.6	1.4
男性 40～64歳	174	9.8	9.2	3.4	23.6	5.7
男性 65歳以上	117	11.1	4.3	3.4	14.5	6.8
女性 39歳以下	125	9.6	8.0	2.4	20.0	4.0
女性 40～64歳	220	4.1	7.3	3.2	17.7	7.7
女性 65歳以上	146	13.0	5.5	0.0	15.1	6.8

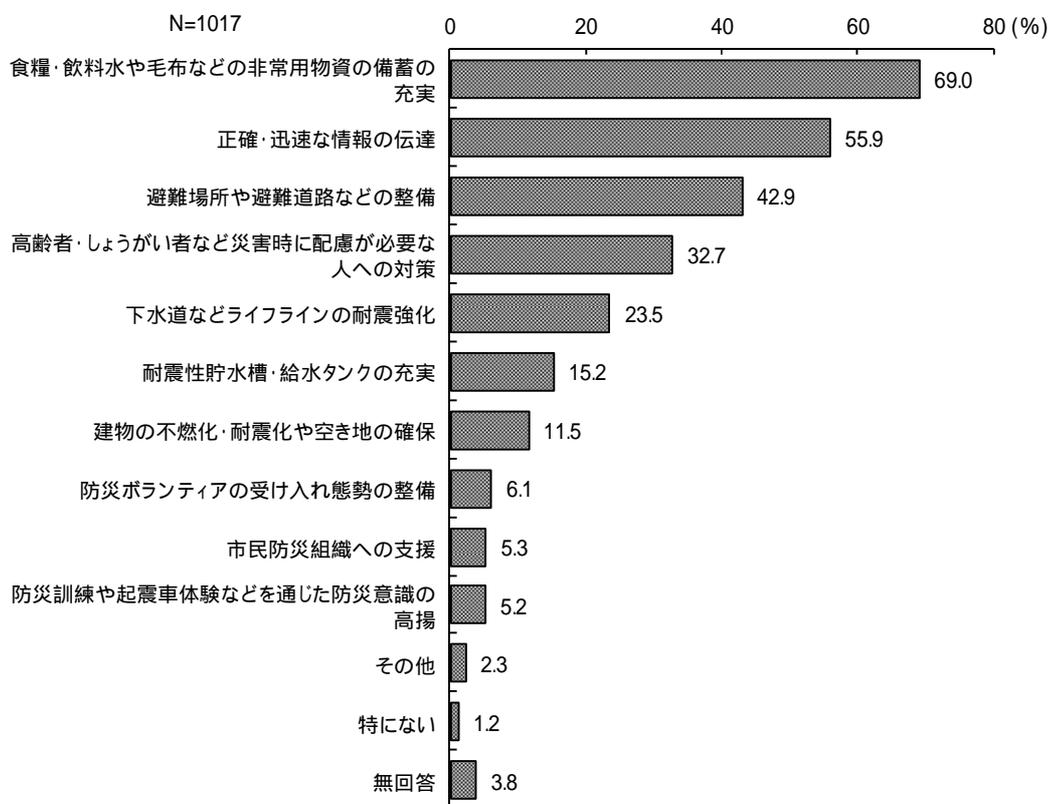
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

1.1. 防災対策について

(1) 市に望む防災対策

大規模地震等の自然災害に備えるための防災対策としては、「食糧・飲料水や毛布などの非常用物資の備蓄の充実」(69.0%)と「正確・迅速な情報の伝達」(55.9%)の2つが過半数を超え、以下「避難場所や避難道路などの整備」(42.9%)、「高齢者・しょうがい者など災害時に配慮が必要な人への対策」(32.7%)がつづいている。

問30 大規模地震等の自然災害に備えるため、国立市はどのような対策を講じるべきだと思いますか。(〇は3つまで)



性・年齢別にみると、女性65歳以上では「正確・迅速な情報の伝達」と「高齢者・しょうがい者など災害時に配慮が必要な人への対策」、女性39歳以下では「避難場所や避難道路などの整備」をあげる人が多くなっている。

居住地域別にみると、西で「避難場所や避難道路などの整備」をあげる人が5割強と多くなっている。

(%)

	合計	食糧・飲料水や毛布などの非常用物資の備蓄の充実	正確・迅速な情報の伝達	避難場所や避難道路などの整備	高齢者・しょうがい者など災害時に配慮が必要な人への対策	下水道などライフラインの耐震強化	耐震性貯水槽・給水タンクの充実	建物の不燃化・耐震化や空き地の確保
[全体]	1,017	69.0	55.9	42.9	32.7	23.5	15.2	11.5
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	73.0	47.3	48.6	25.7	24.3	6.8	16.2
男性 40～64歳	174	67.2	56.3	46.0	30.5	19.5	16.1	8.6
男性 65歳以上	117	69.2	56.4	39.3	37.6	21.4	11.1	12.8
女性 39歳以下	125	72.0	48.0	58.4	25.6	24.0	15.2	19.2
女性 40～64歳	220	70.0	59.5	45.5	26.4	27.3	18.2	12.3
女性 65歳以上	146	67.8	67.1	30.8	46.6	18.5	20.5	6.2
【居住地域】								
北	109	69.7	56.9	26.6	36.7	20.2	11.0	11.9
東	173	67.6	57.2	45.7	35.8	22.5	17.9	11.0
富士見台	241	71.4	53.9	45.2	34.0	21.6	14.9	10.0
中	128	69.5	60.9	39.8	29.7	25.8	14.8	14.1
西	134	63.4	50.7	53.0	30.6	29.9	15.7	13.4
谷保	145	70.3	60.7	41.4	29.0	25.5	15.9	10.3
泉、青柳、矢川、石田	86	69.8	50.0	43.0	31.4	17.4	15.1	11.6

	合計	防災ボランティアの受け入れ態勢の整備	市民防災組織への支援	防災訓練や起震車体験などを通じた防災意識の高揚	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	6.1	5.3	5.2	2.3	1.2	3.8
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	8.1	5.4	8.1	1.4	4.1	1.4
男性 40～64歳	174	5.2	5.7	5.2	2.9	2.3	3.4
男性 65歳以上	117	6.0	4.3	4.3	1.7	0.0	6.8
女性 39歳以下	125	6.4	4.8	9.6	0.8	0.8	1.6
女性 40～64歳	220	5.5	4.1	4.1	3.2	0.5	2.7
女性 65歳以上	146	7.5	6.2	1.4	2.1	0.7	3.4
【居住地域】							
北	109	3.7	8.3	5.5	2.8	1.8	4.6
東	173	5.2	4.0	6.9	2.9	0.6	2.9
富士見台	241	6.2	3.7	4.1	2.1	1.2	5.0
中	128	9.4	4.7	5.5	0.8	0.0	3.9
西	134	7.5	3.0	3.7	2.2	3.0	3.0
谷保	145	4.8	4.8	6.9	3.4	1.4	2.1
泉、青柳、矢川、石田	86	5.8	14.0	3.5	1.2	0.0	5.8

全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

12. 公共施設について

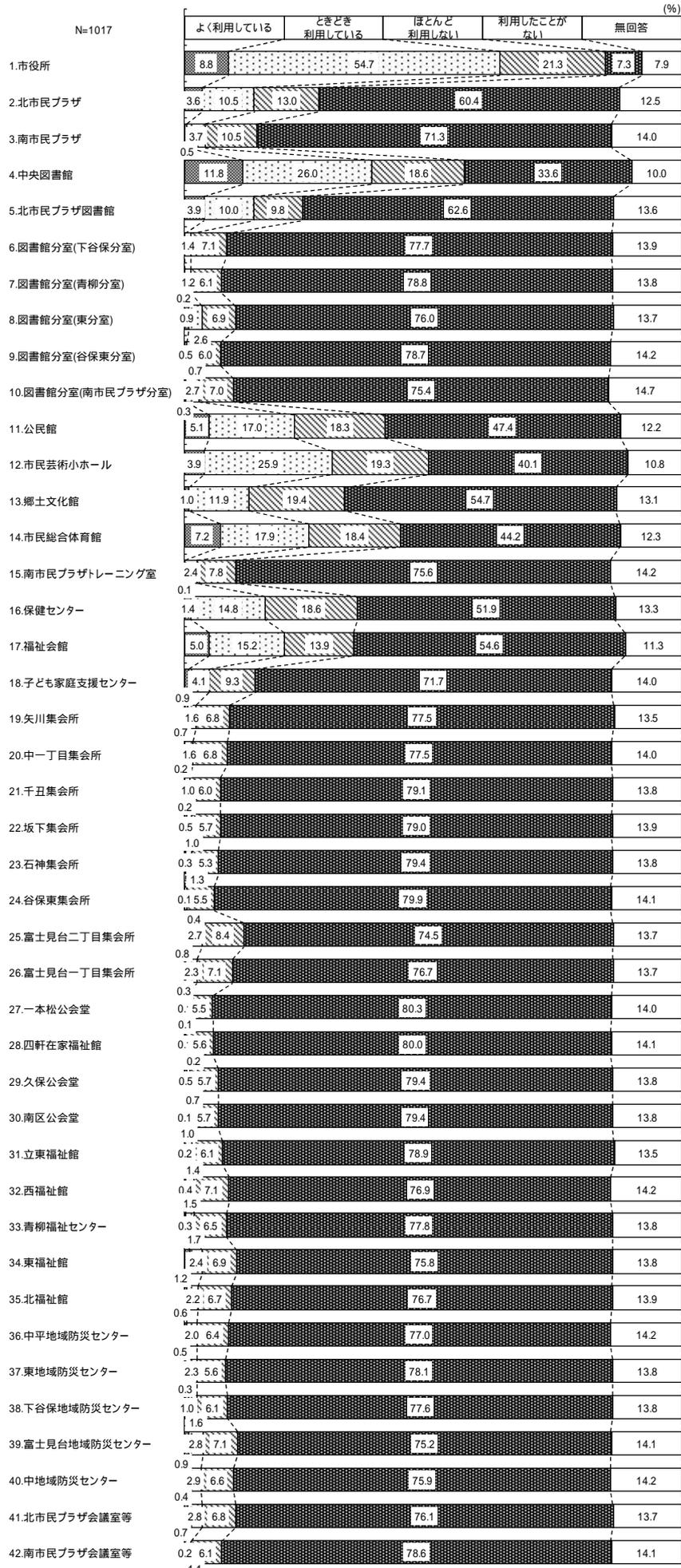
(1) 公共施設の利用状況

問31 あなたは、過去一年間で、市の公共施設をどのくらい利用しましたか。各項目の当てはまる番号に をつけてください。

市の公共施設42施設の利用状況をみたのが次ページのグラフである。「よく利用している」と「ときどき利用している」を合わせた利用率が10%を超える施設は、以下のとおりである。

施設名	利用率(%)
1.市役所	63.5
4.中央図書館	37.8
12.市民芸術小ホール	29.8
14.市民総合体育館	25.1
11.公民館	22.1
17.福祉会館	20.2
16.保健センター	16.2
2.北市民プラザ	14.1
5.北市民プラザ図書館	13.9
13.郷土文化館	12.9

N=1017



居住地域別に「よく利用している」と「ときどき利用している」を合わせた公共施設の利用率をみたのが以下の表である。10%以上の利用率がある施設の特徴を整理すると次のようになる。

施設名	居住地域別の特徴
1.市役所	・北の利用率は5割を切っている。
4.中央図書館	・富士見台の利用率が5割と高い
12.市民芸術小ホール	・各地域から利用率が2～3割半ばあり、平均して利用されている
14.市民総合体育館	・北の利用率は1割強と低い
11.公民館	・中の利用率が3割半ばと高い
17.福祉会館	・各地域から平均して利用されている
16.保健センター	・各地域から平均して利用されている
2.北市民プラザ	・北の利用率は5割を超え、西での利用率も比較的高い
5.北市民プラザ図書館	・北での利用率は5割近い
13.郷土文化館	・谷保での利用率が2割と比較的高い

(%)

	全体	北	東	富士見台	中	西	谷保	泉、青柳、矢川、石田
1.市役所	63.5	48.6	62.4	71.7	57.0	61.2	71.7	60.5
4.中央図書館	37.8	18.4	37.0	50.6	41.4	33.6	37.9	29.0
12.市民芸術小ホール	29.8	22.0	27.2	35.2	31.2	24.6	36.5	23.3
14.市民総合体育館	25.1	11.1	22.0	34.9	24.3	17.2	32.4	23.3
11.公民館	22.1	19.3	26.5	19.5	35.9	20.1	19.4	11.6
17.福祉会館	20.2	13.8	19.1	25.7	21.1	15.6	23.4	16.3
16.保健センター	16.2	19.2	13.3	17.0	15.7	11.9	20.7	16.3
2.北市民プラザ	14.1	56.9	6.4	2.9	15.6	26.1	4.8	2.3
5.北市民プラザ図書館	13.9	47.7	8.1	3.7	15.7	23.1	8.3	4.7
13.郷土文化館	12.9	5.5	8.7	15.3	11.7	11.2	20.0	16.3
18.子ども家庭支援センター	5.0	6.4	5.2	6.2	3.2	4.4	2.8	7.0
3.南市民プラザ	4.2	1.8	1.7	2.5	0.8	1.5	7.6	19.8
39.富士見台地域防災センター	3.7	1.8	2.9	6.6	1.6	3.7	3.5	2.4
34.東福祉館	3.6	1.8	14.4	1.6	0.8	0.0	2.1	1.2
8.図書館分室(東分室)	3.5	0.9	15.6	0.0	0.8	0.7	2.8	1.2
25.富士見台二丁目集会所	3.5	2.7	2.9	6.2	0.8	1.5	4.8	2.3
41.北市民プラザ会議室等	3.5	14.6	2.3	0.8	4.7	3.7	0.7	1.2
40.中地域防災センター	3.3	0.9	3.5	2.1	7.8	4.5	2.8	2.4
10.図書館分室(南市民プラザ分室)	3.0	0.0	1.2	1.2	0.0	2.2	6.9	13.9
35.北福祉館	2.8	17.5	0.6	0.4	0.0	4.4	0.7	0.0
38.下谷保地域防災センター	2.6	0.9	0.0	3.3	0.0	0.0	11.8	0.0
26.富士見台一丁目集会所	2.6	2.7	0.6	7.0	0.8	0.0	2.1	1.2
37.東地域防災センター	2.6	4.6	9.3	1.2	0.0	0.0	1.4	0.0
15.南市民プラザトレーニング室	2.5	0.9	0.6	0.4	1.6	2.2	5.5	10.5
36.中平地域防災センター	2.5	0.0	0.6	2.1	2.4	0.0	9.0	3.5
19.矢川集会所	2.3	1.8	0.0	3.7	0.0	0.7	4.2	5.9
33.青柳福祉センター	2.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	2.1	18.6
32.西福祉館	1.9	0.9	0.0	1.2	2.3	9.0	0.0	0.0
20.中一丁目集会所	1.8	1.8	1.7	1.2	4.7	0.7	1.4	1.2
23.石神集会所	1.6	0.0	0.6	1.6	0.0	0.7	6.9	0.0
31.立東福祉館	1.6	6.4	0.0	1.2	0.8	2.2	0.7	1.2
22.坂下集会所	1.5	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	7.6	0.0
6.図書館分室(下谷保分室)	1.4	0.9	0.0	1.7	0.8	0.7	4.8	0.0
7.図書館分室(青柳分室)	1.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7	1.4	11.6
42.南市民プラザ会議室等	1.3	0.9	0.0	0.8	0.0	0.0	1.4	9.3
9.図書館分室(谷保東分室)	1.2	0.9	0.6	0.4	0.8	0.7	4.2	1.2
21.千丑集会所	1.2	0.0	0.0	1.6	0.0	0.7	4.8	0.0
29.久保公会堂	1.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	7.6	0.0
30.南区公会堂	1.1	0.0	0.0	0.8	0.0	0.7	2.1	5.8
24.谷保東集会所	0.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	2.1	0.0
28.四軒在家福祉館	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	1.4	0.0
27.一本松公会堂	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0

全体値より : +20%以上高い、○ : +15~20%高い、 : +10~15%高い
 : -20%以上低い、 : -15~20%低い、 : -10~15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 公共施設を利用しない理由

公共施設を「ほとんど利用しない」「利用したことがない」と回答した人の理由をみたのが以下の表である。各施設とも「利用する必要がない」とする人が多数を占めているが、施設によっては「施設の存在やサービス内容を知らない」としている人が2割以上みられる施設がある。

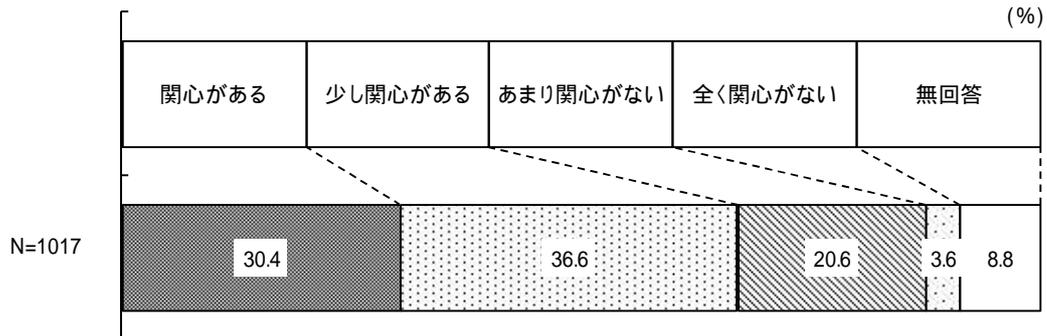
問3 1 また、「3 ほとんど利用しない」「4 利用したことがない」を選択した場合、その理由もご回答ください。(あてはまるもの全てに)

	合計	施設の存在やサービス内容を知らない	利用する必要がない	施設、サービス、利用料金などに不満がある	他の市、都や国の施設を利用している	民間施設を利用している	無回答
1.市役所	291	5.5	87.3	0.3	0.7	0.3	5.8
2.北市民プラザ	746	17.8	72.5	0.8	2.4	0.4	6.0
3.南市民プラザ	832	19.1	72.2	0.5	2.3	0.2	5.6
4.中央図書館	531	10.9	66.7	4.7	7.5	1.9	8.3
5.北市民プラザ図書館	737	14.4	74.9	1.5	3.9	0.4	4.9
6.図書館分室(下谷保分室)	862	17.3	73.3	0.7	3.9	0.3	4.4
7.図書館分室(青柳分室)	863	16.9	73.9	0.9	3.7	0.3	4.2
8.図書館分室(東分室)	843	17.1	73.5	0.9	3.8	0.4	4.3
9.図書館分室(谷保東分室)	861	17.2	74.3	0.7	3.6	0.3	3.8
10.図書館分室(南市民プラザ分室)	838	16.3	74.0	1.1	3.8	0.5	4.3
11.公民館	668	13.5	74.6	2.4	2.1	0.7	6.7
12.市民芸術小ホール	604	14.2	71.9	0.8	2.5	1.8	8.8
13.郷土文化館	753	20.1	67.9	1.6	1.3	0.5	8.6
14.市民総合体育館	637	13.3	69.5	3.3	2.7	4.7	6.4
15.南市民プラザトレーニング室	848	26.1	64.5	0.8	2.0	2.0	4.6
16.保健センター	717	21.1	68.9	0.6	1.1	2.0	6.4
17.福祉会館	696	21.3	71.1	0.1	1.0	0.6	5.9
18.子ども家庭支援センター	824	18.7	75.8	0.6	0.5	0.1	4.2
19.矢川集会所	857	22.8	72.3	0.2	0.2	0.1	4.3
20.中一丁目集会所	857	22.6	72.0	0.2	0.4	0.2	4.6
21.千丑集会所	865	23.0	71.7	0.3	0.5	0.1	4.4
22.坂下集会所	861	22.8	71.9	0.3	0.5	0.1	4.4
23.石神集会所	861	22.9	72.1	0.3	0.5	0.1	4.1
24.谷保東集会所	869	23.1	71.7	0.3	0.5	0.1	4.3
25.富士見台二丁目集会所	843	22.1	72.0	0.6	0.6	0.0	4.7
26.富士見台一丁目集会所	852	22.3	72.2	0.4	0.5	0.1	4.6
27.一本松公会堂	873	24.4	70.6	0.3	0.5	0.1	4.1
28.四軒在家福祉館	871	24.0	70.7	0.3	0.5	0.1	4.4
29.久保公会堂	865	24.2	70.6	0.3	0.5	0.1	4.3
30.南区公会堂	866	24.2	70.4	0.6	0.5	0.1	4.2
31.立東福祉館	864	24.4	70.6	0.3	0.5	0.0	4.2
32.西福祉館	854	23.9	70.7	0.4	0.5	0.0	4.6
33.青柳福祉センター	857	23.9	70.1	0.5	0.6	0.2	4.7
34.東福祉館	841	23.7	70.6	0.2	0.5	0.1	4.9
35.北福祉館	848	24.5	70.2	0.4	0.5	0.0	4.5
36.中平地域防災センター	848	25.8	69.2	0.2	0.5	0.1	4.1
37.東地域防災センター	851	25.9	69.1	0.2	0.5	0.1	4.2
38.下谷保地域防災センター	851	25.6	69.9	0.2	0.5	0.1	3.6
39.富士見台地域防災センター	837	25.4	69.5	0.2	0.5	0.0	4.3
40.中地域防災センター	839	24.7	70.2	0.2	0.4	0.2	4.3
41.北市民プラザ会議室等	843	22.5	72.0	0.6	0.7	0.2	3.9
42.南市民プラザ会議室等	861	23.7	71.1	0.6	0.7	0.0	3.9

(3) 公共施設の更新問題への関心

公共施設の更新問題への関心については、「関心がある」(30.4%)、「少し関心がある」(36.6%)を合わせると67.0%となり、3人に2人が関心ありとしている。

問3 2 過去に建設した公共施設が、今後一斉に更新(建て替え)の時期を迎えます。公共施設の更新には膨大な費用が見込まれており、全ての公共施設を更新することは難しい状況です。あなたは公共施設の更新問題について関心がありますか。1つをつけてください。))



性・年齢別にみると、各年代層とも6割以上が関心ありとしている。ただ、男女とも39歳以下は「少し関心がある」との消極的回答が5割弱と多くなっている。

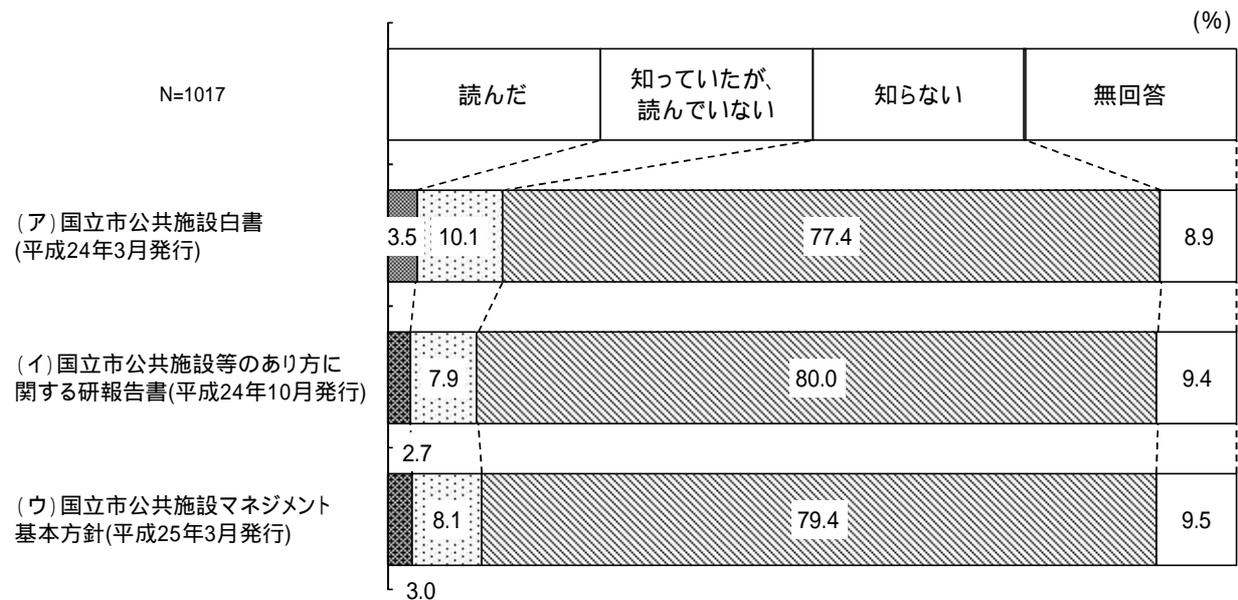
	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
【全体】	1,017	30.4	36.6	20.6	3.6	8.8
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	20.3	47.3	24.3	2.7	5.4
男性 40～64歳	174	35.6	32.8	24.1	2.3	5.2
男性 65歳以上	117	36.8	26.5	20.5	1.7	14.5
女性 39歳以下	125	22.4	49.6	18.4	8.0	1.6
女性 40～64歳	220	30.5	41.4	20.5	1.8	5.9
女性 65歳以上	146	34.9	28.1	17.1	3.4	16.4

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 公共施設の更新問題への市の取り組みの認知状況

公共施設の更新問題に関する市の白書や研究報告書、マネジメント基本方針を「読んだ」とする人は3%前後とわずかであり、「知っていたが、読んでいない」とする人も8~10%程度にとどまっている。

問33 公共施設の更新問題に対する国立市の取り組みをご存じですか。(ア)から(ウ)までについて、それぞれ1つずつをつけてください。)



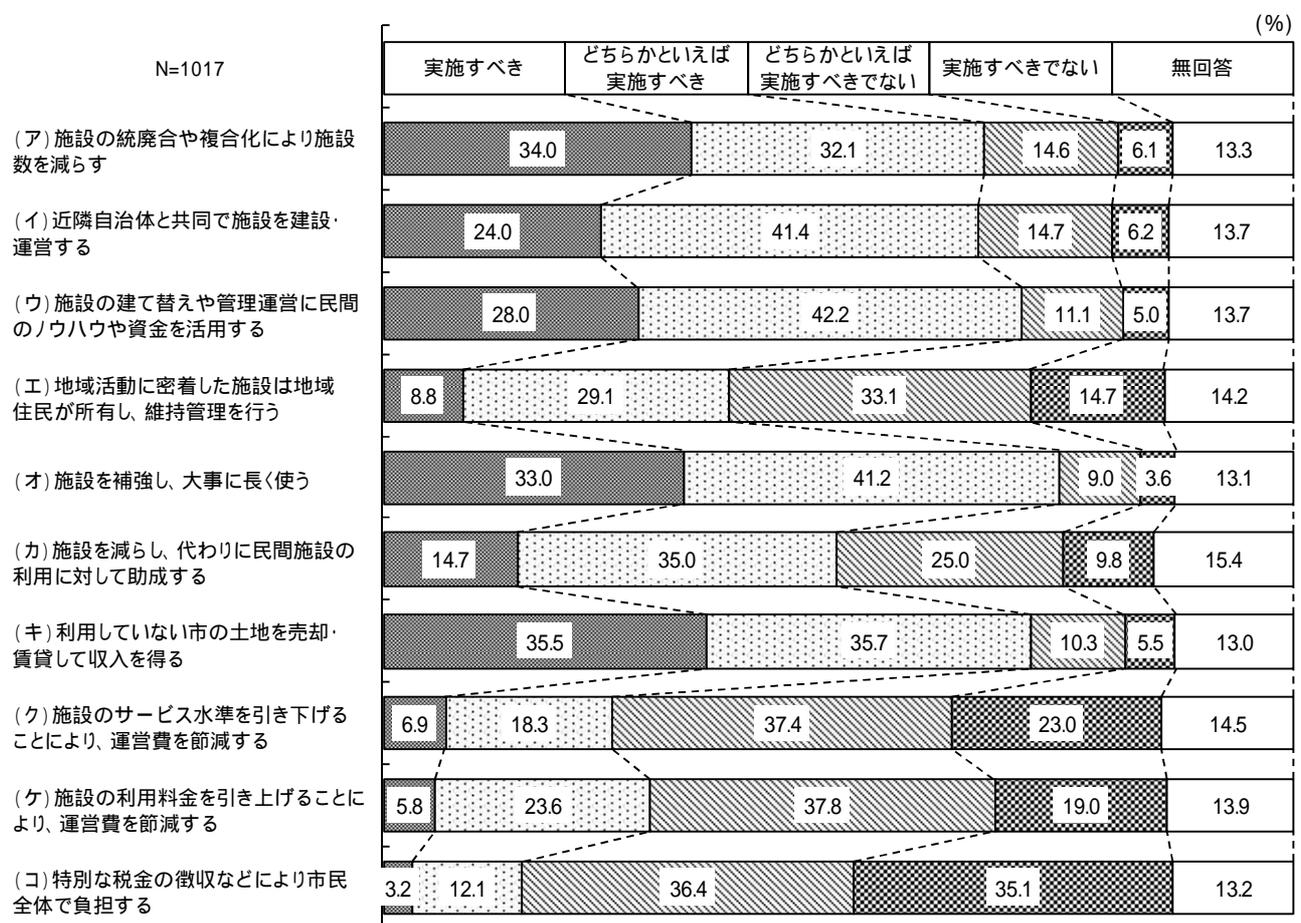
性・年齢別にみると、女性65歳以上では「読んだ」、「知っていたが、読んでいない」との回答がやや多くなっている。

	合計	公共施設白書		公共施設等のあり方に関する研究報告書		公共施設マネジメント基本方針	
		読んだ	知っていたが、読んでいない	読んだ	知っていたが、読んでいない	読んだ	知っていたが、読んでいない
【全体】	1,017	3.5	10.1	2.7	7.9	3.0	8.1
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	1.4	10.8	1.4	4.1	0.0	5.4
男性 40~64歳	174	1.7	10.9	2.3	8.0	2.9	6.9
男性 65歳以上	117	2.6	15.4	1.7	8.5	0.9	8.5
女性 39歳以下	125	2.4	2.4	1.6	1.6	1.6	3.2
女性 40~64歳	220	3.2	4.5	1.8	4.5	2.3	6.4
女性 65歳以上	146	6.2	17.1	5.5	15.1	7.5	14.4

(5) 公共施設の経費削減手法に対する考え

公共施設の経費削減手法について、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」を合わせた比率が最も高いのは、「(オ)施設を補強し、大事に長く使う」であり74.2%を占める。以下「(キ)利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」(71.2%)、「(ウ)施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」(70.2%)、「(ア)施設の統廃合や複合化により施設数を減らす」(66.1%)、「(イ)近隣自治体と共同で施設を建設・運営する」(65.4%)が65%を超えている。

問34 公共施設の更新問題に対して、公共施設に係る経費を少なくする手法として以下の方策を検討しています。これらの方策について、あなたはどのように思いますか。(ア)から(コ)までについて、それぞれ1つずつをつけてください。



性・年齢別に「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」を合わせた比率をみたのが以下の表である。男性39歳以下では「(ウ)施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」、女性39歳以下では「(オ)施設を補強し、大事に長く使う」、「(ウ)施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」、「(キ)利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る」、「(イ)近隣自治体と共同で施設を建設・運営する」をあげる人が多くなっている。

	合計	(ア)施設の統廃合や複合化により施設数を減らす	(イ)近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	(ウ)施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	(エ)地域活動に密着した施設は地域住民が所有し、維持管理を行う	(オ)施設を補強し、大事に長く使う	(カ)施設を減らし、代わりに民間施設の利用に対して助成する	(キ)利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る	(ク)施設のサービス水準を引き下げることにより、運営費を節減する	(ケ)施設の利用料金を引き上げることにより、運営費を節減する	(コ)特別な税金の徴収などにより市民全体で負担する
[全体]	1,017	66.1	65.4	70.2	37.9	74.2	49.7	71.2	25.2	29.4	15.3
[性・年齢別]											
男性 39歳以下	74	74.3	71.6	86.5	47.3	75.6	51.4	78.3	31.1	32.5	23.0
男性 40～64歳	174	72.4	74.7	78.8	39.1	75.9	52.3	78.2	27.5	37.9	17.2
男性 65歳以上	117	64.1	65.8	66.7	42.8	71.0	53.8	61.5	28.2	35.1	20.5
女性 39歳以下	125	71.2	76.8	84.0	40.0	87.2	57.6	83.2	28.8	28.0	13.6
女性 40～64歳	220	70.9	69.1	74.6	30.4	79.1	53.6	76.4	22.7	28.6	10.4
女性 65歳以上	146	50.0	45.9	49.3	35.6	62.4	36.3	59.0	19.8	24.0	16.5

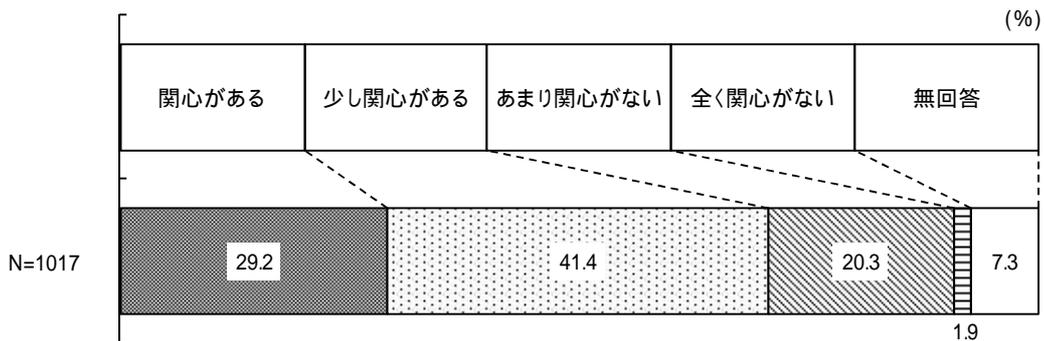
全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

1.3. 市政への関心

(1) 国立市政への関心

市政への関心については、「関心がある」(29.2%)、「少し関心がある」(41.4%)を合わせると70.6%と高い関心が示されている。

問36 あなたは国立市政に関心がありますか。1つをつけてください。



前回調査と比較すると、「関心がある」との回答が7.3ポイント減少している。

	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
今回(H26)	29.2	41.4	20.3	1.9	7.3
前回(H22)	36.5	40.0	16.9	1.7	5.0
前々回(H15)	36.4	40.7	19.0	3.5	0.4

性・年齢別にみると、各年代層とも「関心がある」と「少し関心がある」を合わせた比率は6割を超えているが、「関心がある」との比較的強い関心を示す回答は、女性39歳以下では少なく、男性65歳以上では多くなっている。

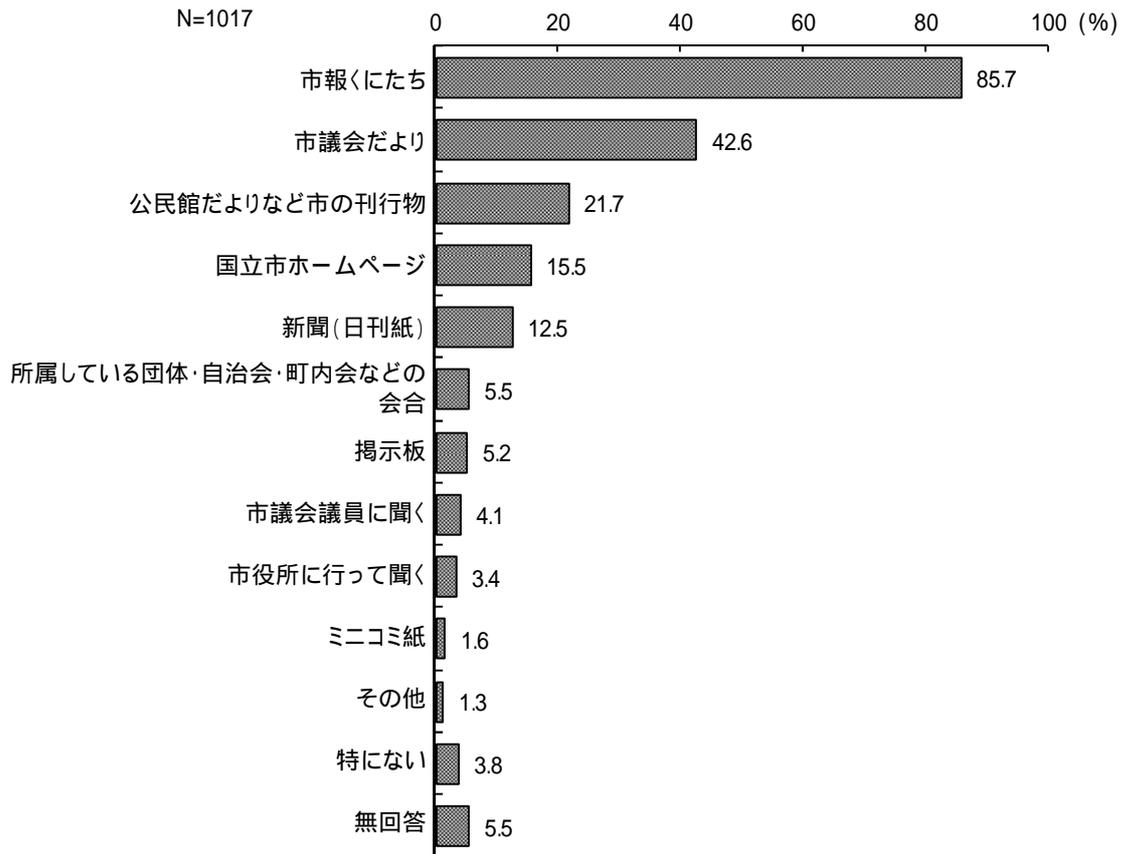
	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
【全体】	1,017	29.2	41.4	20.3	1.9	7.3
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	23.0	40.5	29.7	4.1	2.7
男性 40～64歳	174	28.2	42.5	24.1	1.7	3.4
男性 65歳以上	117	41.0	32.5	12.8	0.9	12.8
女性 39歳以下	125	15.2	50.4	29.6	4.8	0.0
女性 40～64歳	220	26.4	43.6	21.8	1.8	6.4
女性 65歳以上	146	37.7	35.6	11.0	0.7	15.1

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(2) 市の仕事・問題の認知手段

市で行っている仕事の内容や市が抱える問題を知る手段については、「市報くにたち」が85.7%と最も多く、次いで「市議会だより」42.6%となっている。

問37 あなたは、市で行っている仕事の内容や市が抱える問題について、どのような方法でお知りになりますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「新聞(日刊紙)」が5.8ポイント減少している。

	市報くにたち	市議会だより	公民館だよりなど市の刊行物	国立市ホームページ	新聞(日刊紙)	所属している団体・自治会・町内会などの会合	掲示板	市役所に行って聞く	市議会議員に聞く	ミニコミ紙	その他	特にない	無回答
今回(H26)	85.7	42.6	21.7	15.5	12.5	5.5	5.2	3.4	4.1	1.6	1.3	3.8	5.5
前回(H22)	88.0	40.8	23.9	13.0	18.3	4.8	4.6	4.2	3.6	2.8	1.8	3.9	1.6
前々回(H15)	88.8	42.4	26.2	8.5	31.5	6.8	6.6	2.8	3.4	2.1	3.1	4.8	0.3

性・年齢別にみると、女性65歳以上では「公民館だよりなど市の刊行物」、男性39歳以下では「国立市ホームページ」をあげる人が多くなっている。

(%)

	合計	市報く に たち	市議 会 だ よ り	公 民 館 だ よ り な ど 市 の 刊 行 物	国 立 市 ホ ー ム ペ ー ジ	新 聞 (日 刊 紙)	所 属 し て い る 団 体 ・ 自 治 会 ・ 町 内 会 な ど の 会 合	掲 示 板
[全体]	1,017	85.7	42.6	21.7	15.5	12.5	5.5	5.2
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	62.2	29.7	4.1	25.7	10.8	1.4	4.1
男性 40～64歳	174	86.8	48.9	12.1	24.1	14.4	5.7	5.2
男性 65歳以上	117	86.3	47.0	29.1	6.8	14.5	4.3	3.4
女性 39歳以下	125	85.6	34.4	16.8	18.4	5.6	3.2	4.0
女性 40～64歳	220	92.7	46.8	25.5	16.8	11.4	5.0	3.2
女性 65歳以上	146	85.6	41.8	33.6	8.2	16.4	9.6	4.1

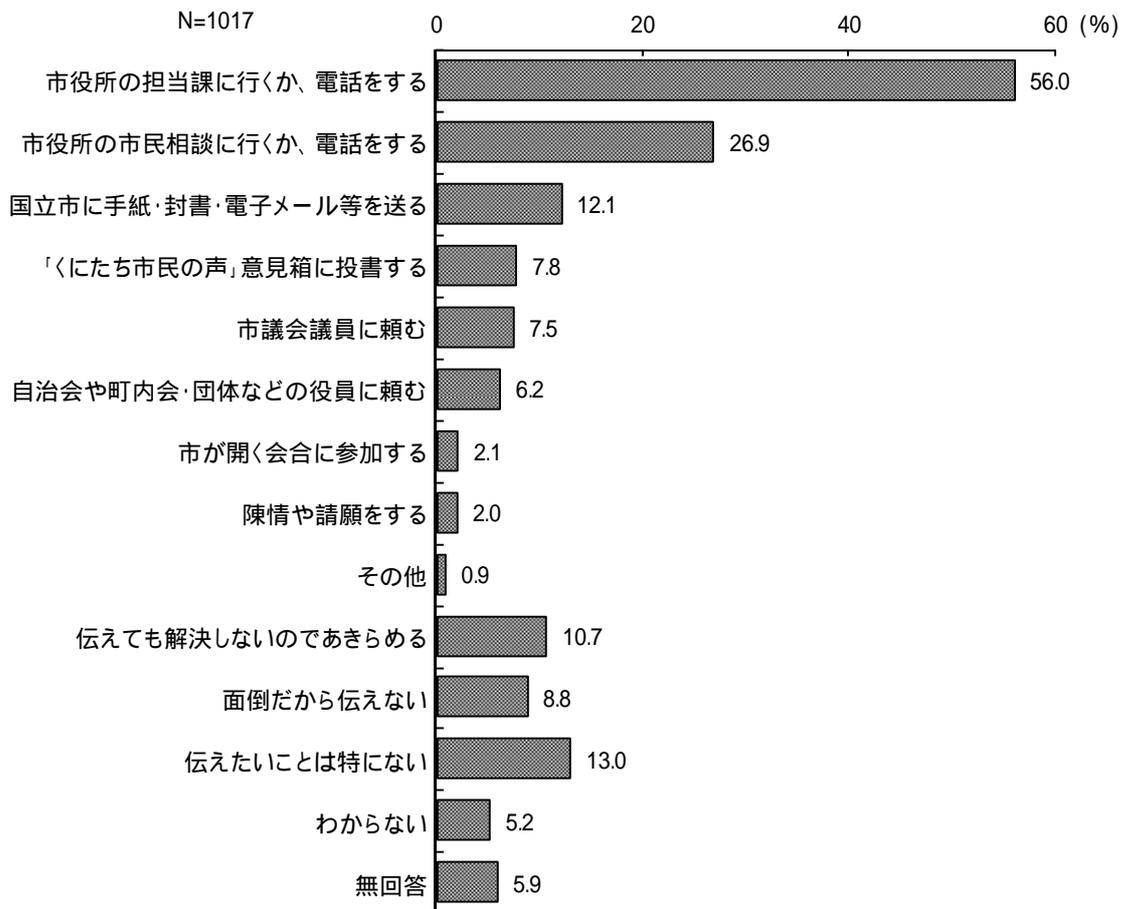
	合計	市議 会 議 員 に 聞 く	市 役 所 に 行 っ て 聞 く	ミ ニ コ ミ 紙	そ の 他	特 に な い	無 回 答
[全体]	1,017	4.1	3.4	1.6	1.3	3.8	5.5
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	1.4	0.0	2.7	1.4	16.2	2.7
男性 40～64歳	174	2.3	6.3	1.1	1.7	2.9	2.9
男性 65歳以上	117	6.0	4.3	0.9	0.0	0.9	12.0
女性 39歳以下	125	3.2	0.0	0.0	2.4	10.4	0.0
女性 40～64歳	220	1.8	0.9	2.7	1.8	1.8	4.1
女性 65歳以上	146	9.6	4.1	0.7	1.4	1.4	9.6

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(3) 市への意見・要望・苦情の伝達方法

市への意見・要望・苦情の伝達方法としては、「市役所の担当課に行くか、電話をする」が56.0%と過半数を超え、ついで「市役所の市民相談に行くか、電話をする」が26.9%でつづいている。

問38 あなたの意見や要望・苦情などを市に伝えたい場合、あなたはどうしますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、「伝えても解決しないのであきらめる」、「面倒だから伝えない」との回答が5ポイント程度増加している。

	市役所の担当課に行くか、電話をする	市役所の市民相談に行くか、電話をする	国立市に手紙・封書・電子メール等を送る	「くにたち市民の声」意見箱に投書する	市議会議員に頼む	自治会や町内会・団体などの役員に頼む	市が開く会合に参加する	陳情や請願をする	その他	伝えたいことは特にない	伝えても解決しないのであきらめる	面倒だから伝えない	わからない	無回答
今回(H26)	56.0	26.9	12.1	7.8	7.5	6.2	2.1	2.0	0.9	13.0	10.7	8.8	5.2	5.9
前回(H22)	60.5	29.8	9.4	6.3	6.5	4.6	2.4	2.2	0.8	9.8	5.4	3.1	4.7	2.3
前々回(H15)	68.9	34.5	11.3		10.3	10.5	4.4	4.8	1.3	10.0	9.2	8.9	2.7	0.4

前々回調査では、「「くにたち市民の声」意見箱に投書する」の選択肢はなかった

性・年齢別にみると、男女とも39歳以下では「市役所の担当課に行くか、電話をする」は少なく、「伝えたいことは特にない」が20%台と多くなっている。

居住地域別にみると、北では他地域に比べ「自治会や町内会・団体などの役員に頼む」が多くなっている。

(%)

	合計	市役所の担当課に行くか、電話をする	市役所の市民相談に行くか、電話をする	国立市に手紙・封書・電子メール等を送る	「くにたち市民の声」意見箱に投書する	市議会議員に頼む	自治会や町内会・団体などの役員に頼む	市が開く会合に参加する
[全体]	1,017	56.0	26.9	12.1	7.8	7.5	6.2	2.1
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	41.9	21.6	13.5	4.1	2.7	2.7	0.0
男性 40～64歳	174	60.3	33.9	19.5	5.7	6.9	6.3	1.1
男性 65歳以上	117	61.5	32.5	6.0	6.8	8.5	11.1	1.7
女性 39歳以下	125	36.0	16.0	8.0	11.2	6.4	3.2	0.0
女性 40～64歳	220	56.4	22.7	14.1	10.9	5.9	5.5	0.0
女性 65歳以上	146	64.4	27.4	6.8	8.9	11.6	8.2	7.5
【居住地域】								
北	109	49.5	19.3	10.1	8.3	6.4	18.3	3.7
東	173	54.9	24.3	9.2	6.4	8.1	4.6	2.3
富士見台	241	59.3	32.0	12.4	10.4	4.1	7.1	1.2
中	128	52.3	20.3	14.8	6.3	2.3	0.8	2.3
西	134	59.7	31.3	14.2	8.2	9.7	1.5	1.5
谷保	145	57.2	26.9	12.4	4.1	13.8	6.2	2.8
泉、青柳、矢川、石田	86	55.8	31.4	11.6	10.5	10.5	7.0	1.2

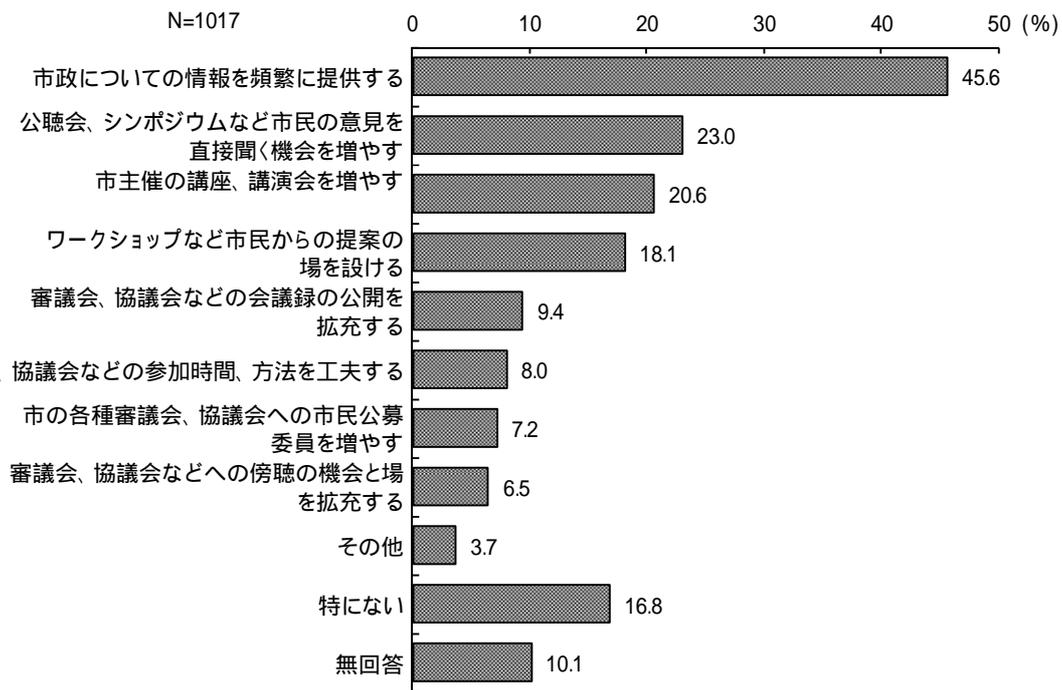
	合計	陳情や請願をする	その他	伝えても解決しないのであきらめる	面倒だから伝えない	伝えたいことはない	わからない	無回答
[全体]	1,017	2.0	0.9	10.7	8.8	13.0	5.2	5.9
【性・年齢別】								
男性 39歳以下	74	2.7	1.4	9.5	17.6	21.6	9.5	2.7
男性 40～64歳	174	1.1	0.6	11.5	7.5	11.5	2.3	2.9
男性 65歳以上	117	0.9	3.4	7.7	5.1	10.3	5.1	12.0
女性 39歳以下	125	0.8	0.0	14.4	15.2	25.6	11.2	0.0
女性 40～64歳	220	2.3	0.5	12.7	9.5	11.8	2.7	5.0
女性 65歳以上	146	3.4	0.0	6.8	4.1	8.9	3.4	11.6
【居住地域】								
北	109	1.8	0.9	2.8	7.3	14.7	7.3	5.5
東	173	2.9	1.7	13.9	11.6	15.0	4.0	3.5
富士見台	241	1.2	0.0	9.1	5.0	12.4	8.3	6.6
中	128	2.3	0.8	14.8	9.4	9.4	7.0	8.6
西	134	3.0	1.5	9.0	12.7	8.2	1.5	6.7
谷保	145	2.1	0.7	12.4	7.6	14.5	2.1	4.8
泉、青柳、矢川、石田	86	0.0	1.2	12.8	10.5	18.6	4.7	4.7

全体値より : +20%以上高い、○ : +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

(4) 市民参画を進めるために行うべき施策

市政への市民参画を進めるために行うべき施策としては、「市政についての情報を頻繁に提供する」が45.6%と最も多く、以下「公聴会、シンポジウムなど市民の意見を直接聞く機会を増やす」(23.0%)、「市主催の講座、講演会を増やす」(20.6%)、「ワークショップなど市民からの提案の場を設ける」(18.1%)の3つが20%前後でつづいている。

問39 市政への市民参画を進めるために、市はどのような施策を行うべきだと思いますか。(は3つまで)



前回調査と比較すると、あまり大きな差はみられない。

	市政についての情報を頻繁に提供する	公聴会、シンポジウムなど市民の意見を直接聞く機会を増やす	市主催の講座、講演会を増やす	ワークショップなど市民からの提案の場を設ける	審議会、協議会などの会議録の公開を拡充する	審議会、協議会などの参加時間、方法を工夫する	市の各種審議会、協議会への市民公募委員を増やす	審議会、協議会などへの傍聴の機会と場を拡充する	その他	特にない	無回答
今回(H26)	45.6	23.0	20.6	18.1	9.4	8.0	7.2	6.5	3.7	16.8	10.1
前回(H22)	47.0	26.6	19.6	16.7	11.6	7.7	7.9	9.8	3.1	16.0	5.7
前々回(H15)	52.2	31.4	23.3	22.5	12.7	8.2	10.7	11.3	3.8	15.4	1.7

性・年齢別にみると、顕著な差はみられないが、女性39歳以下では「特にない」との回答が多くなっている。

(%)

	合計	市政についての情報を頻繁に提供する	公聴会、シンポジウムなど市民の意見を直接聞く機会を増やす	市主催の講座、講演会を増やす	ワークショップなど市民からの提案の場を設ける	審議会、協議会などの会議録の公開を拡充する	審議会、協議会などの参加時間、方法を工夫する
[全体]	1,017	45.6	23.0	20.6	18.1	9.4	8.0
【性・年齢別】							
男性 39歳以下	74	36.5	21.6	16.2	21.6	10.8	12.2
男性 40～64歳	174	47.1	24.7	22.4	19.5	13.8	10.9
男性 65歳以上	117	53.0	27.4	25.6	14.5	12.0	4.3
女性 39歳以下	125	40.0	22.4	17.6	23.2	8.8	8.0
女性 40～64歳	220	50.5	23.6	20.9	21.8	7.7	7.7
女性 65歳以上	146	46.6	21.2	23.3	9.6	6.8	5.5

	合計	市の各種審議会、協議会への市民公募委員を増やす	審議会、協議会などへの傍聴の機会と場を拡充する	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	7.2	6.5	3.7	16.8	10.1
【性・年齢別】						
男性 39歳以下	74	6.8	6.8	4.1	17.6	5.4
男性 40～64歳	174	9.8	6.9	5.7	14.4	4.6
男性 65歳以上	117	12.0	6.0	2.6	12.0	12.8
女性 39歳以下	125	2.4	4.8	3.2	28.0	4.0
女性 40～64歳	220	8.2	8.2	4.5	10.9	8.2
女性 65歳以上	146	5.5	6.8	2.1	15.8	19.9

全体値より : +20%以上高い、○: +15～20%高い、 : +10～15%高い
 : -20%以上低い、 : -15～20%低い、 : -10～15%低い
 網掛けは、全体及び各属性において最も高い数値である

14. 自由意見

(1) 国立らしさのイメージ

問40 あなたは、「国立らしさ」と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべますか。下記回答欄に自由にご記入ください。

有効回収数1017件中561件の意見が寄せられ、主な意見としては「大学通り」「桜並木」「自然が多い」「緑豊か」「文教都市・学園都市」「きれいな街並み」「市民の意識が高い」等があげられている。

(2) 国立市政についての意見

有効回収数1017件中363件の意見が寄せられ、主に「市政のあり方に関する意見」「国立駅周辺整備に関する意見」「福祉施策に関する意見」「財政の健全化に関する意見」をはじめ多様な意見が寄せられた。

自由意見の内容詳細については、別冊「自由意見一覧」を参照

. 資料

1 . 調査票

第15回 国立市政世論調査

調査へのご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、国立市では「第15回国立市政世論調査」を実施することといたしました。この調査は、おおむね5年ごとに、国立にお住まいの皆様が市政に対してどのようなご意見、ご要望をお持ちかを伺い、今後の基本構想・基本計画策定及び国立市のまちづくりの参考とするために行うものです。

基本構想とは、市民が思い描く理想をまとめ、市民と議会・行政が一体となってその実現を目指すために定めるものです。また、基本計画は、構想を実現するために行財政の運営を総合的、計画的に行うために定めるもので、市の計画のなかでも最上位に位置付けられる大変重要な計画になります。

この調査への皆様のご回答が、国立市の今後の取り組みの重点を決めていく大切な資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から3,000人を無作為に抽出させていただき、回答をお願いするものです。調査事項は上記のための統計処理以外に使用したり、個人情報として公表したりすることは、一切ありません。なお、町丁目ごとに無作為抽出で行っているため、同時に抽出している「市民意識調査」等に引き続き対象となる方もいらっしゃる可能性もあります。あらかじめご了承のほどよろしくお願いいたします。

調査結果につきましては、概要を市報や国立市ホームページ（<http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>）等でお知らせいたします。

平成26年（2014年）6月

国立市

記入についてのお願い

- 1、調査は無記名です。
- 2、調査票には、あて名ご本人のお考えやご意見を回答してください。（ご本人が記入できない場合、家族の方などの代筆可）
- 3、回答にあたっては、問いの指示に従って調査票に直接ご記入ください。
- 4、回答は、平成26年（2014年）6月1日を基準としてご記入ください。
- 5、記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手不要です）に入れ、**平成26年6月23日（月）**までに郵便ポストへご投函ください。（住所・氏名は記入不要です）
- 6、この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒186-8501 国立市富士見台2-47-1 国立市政策経営部政策経営課政策経営係
電話（042）576-2111 内線223 FAX（042）576-0264
e-mail:sec_seisakukeiei@city.kunitachi.tokyo.jp

第 15 回国立市政世論調査 調査票

あなたご自身のことについて

F 1 . あなたの性別・年齢についておたずねします。(は各 1 つだけ)

性別	1 . 男性	2 . 女性
年齢	1 . 18 ~ 19 歳	5 . 50 ~ 59 歳
	2 . 20 ~ 29 歳	6 . 60 ~ 64 歳
	3 . 30 ~ 39 歳	7 . 65 ~ 69 歳
	4 . 40 ~ 49 歳	8 . 70 歳以上

F 2 . あなたのご職業は何ですか。(は 1 つだけ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 . 自営業・家事手伝い | 8 . 専業主夫・主婦 |
| 2 . 自由業 | 9 . 学生 |
| 3 . 経営・管理職 | 10 . 無職 |
| 4 . 事務職 | 11 . その他 |
| 5 . 専門・技術職 | (具体的に：) |
| 6 . 労務・サービス業 | |
| 7 . パート・アルバイト | |

(F 2 で 1 ~ 7 とお答えの方に)

F 2 - 1 . 職場はどちらでしょうか。(は 1 つだけ)

1 . 自宅と同じ	4 . 23 区以外の東京都 (国立市を除く)
2 . 国立市内	5 . 神奈川県・埼玉県
3 . 東京都内 23 区	6 . その他 (具体的に：)

F 3 . 現在のお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(は 1 つだけ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 . 持ち家 (一戸建て) | 5 . 社宅・寮・官舎 |
| 2 . 持ち家 (分譲マンションなど) | 6 . 間借り・住み込み |
| 3 . 民間の賃貸住宅 | 7 . その他 (具体的に：) |
| 4 . 公営・公団・公社賃貸住宅 | |

F 4 . あなたのお住まいの地域についておたずねします。(は 1 つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 . 北 | 6 . 谷保 |
| 2 . 東 | 7 . 泉 |
| 3 . 富士見台 | 8 . 青柳 |
| 4 . 中 | 9 . 矢川・石田 |
| 5 . 西 | |

F 5 . あなたは、国立市に何年ぐらい住んでいますか。(は 1 つだけ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 . 1 年未満 | 4 . 10 年以上 ~ 20 年未満 |
| 2 . 1 年以上 ~ 5 年未満 | 5 . 20 年以上 |
| 3 . 5 年以上 ~ 10 年未満 | 6 . 生まれてからずっと |

F 6 . あなたのご家族の構成はどうなっていますか。(は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 . 単身 (一人暮らし) | 4 . 三世帯世帯 (親と子と孫) |
| 2 . 夫婦だけ | 5 . その他 (具体的に:) |
| 3 . 二世帯世帯 (親と子) | |

F 7 . (家族形態) あなたご自身はどれにあたりますか。この中から選んでください。
(は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| ・ 単 身 | 1 . 本人 18 ~ 39 歳 |
| | 2 . 本人 40 ~ 64 歳 |
| | 3 . 本人 65 歳以上 |
| ・ 夫婦だけ | 4 . 本人 18 ~ 39 歳 |
| | 5 . 本人 40 ~ 64 歳 |
| | 6 . 本人 65 歳以上 |
| ・ 子どものいる人
(別居も含む) | 7 . 一番上の子どもが小学校入学前 |
| | 8 . 一番上の子どもが小・中学生 |
| | 9 . 一番上の子どもが高校・大学 |
| | 10 . 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 |
| | 11 . 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業 |

F7 の質問は、皆様のライフステージ (結婚や子育てなどの状況) をうかがうものです。そのため、未婚で、お子様がいない方は、ご自身の親と同居している方でも、「単身」からご選択ください。

・市政全般の満足度、優先度について

問1 国立市では、基本計画にて施策を定め、計画的に行政運営やまちづくりを行っています。あなたは、以下の基本計画上の施策の取組みについて、どの程度評価していますか。また、今後それらに対して、どのくらい力を入れてほしいと思いますか。各項目の当てはまる番号に をつけてください。

項目 番号 施策名 施策目標と取組みの概要	現在の評価度					→	今後の優先度				
	評価できる	どちらかといえば評価できる	どちらかといえは評価できない	評価できない	わからない		特に力を入れてほしい	力を入れてほしい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
1 子育て・子育てのしやすい環境づくり 子育て・子育てしやすい環境の中、保護者がいきいきと地域の中で子育てし、子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、待機児童対策をはじめとする保育・幼稚園行政、一貫した発達支援の推進、児童虐待への対策などを行っています。 また、子ども医療費助成等の幅広い子育て支援や、青少年の健全育成にも取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2 義務教育の充実 児童・生徒が自ら学び自ら考える力をつけ、社会的な自立に向けて豊かな人間性を育てるよう、ICTを含めた教育環境整備や教育の質的向上に努めています。 また特別支援教育にも力を入れて取組みを進めています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
3 地域福祉活動の推進 社会的に弱い立場にある人々を社会の一員として包み支えあう「ソーシャルインクルージョン」の考え方が地域に根付き、市民・地域コミュニティ（自治会等）・ボランティア団体・NPO等が福祉活動を行えるよう、社会福祉協議会や保護司会、民生委員の支援などに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
4 高齢者の自立の促進 高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して暮らせるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みや拠点づくりなどの地域包括ケアの推進を行っているほか、介護保険制度の運用、介護予防の事業などを行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
5 しょうがいしゃの自立の促進 しょうがいがある人もない人も、自分らしい生き方を実現できるよう、お互いに理解し、共感しあい、支えあい、関わりあう中で、しょうがいしゃが自らの生き方を選択でき、豊かな生活ができる社会をめざし、相談支援等に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
6 文化・芸術活動の充実 文化・芸術活動を支える人材が育ち、市内のギャラリー等を活用した取組みや文化・芸術活動のネットワークの整備などが幅広く行われ、市民が文化・芸術活動に親しめるよう、ネットワークやシステムの整備を行っています。 また、今後実施予定の野外彫刻展を中心とした一大イベント「くにたちアートビエンナーレ 2015」の事業支援を行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
7 歴史・文化遺産の保存と活用 市内の歴史・文化遺産が大切に守られ、活用されるよう、文化財の保護や展示、文化の継承等を行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目 番号 施策名 施策目標と取組みの概要	現在の評価度					→	今後の優先度				
	評価できる	どちらかといえば評価できる	どちらかといえば評価できない	評価できない	わからない		特に力を入れてほしい	力を入れてほしい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
8 多文化共生社会の実現 在住外国人が地域で孤立することなく受け入れられ、市民・外国人が相互の文化を知り、交流できるよう、外国人支援と交流機会の創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
9 地域コミュニティの振興 市内のコミュニティ（自治会、町内会、地域における共同体）が協働して、地域の課題解決に向け活動をできるよう、施設の整備や団体への助成を行っています。 近年では、市内の自治会同士をつなぐ取組みとして、自治会連絡会を開催しました。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
10 消費生活の安全確保と充実 市民が消費生活に関する情報を得ることができ、また、必要に応じ相談できるよう、消費生活相談や、啓発活動に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
11 健康づくりの推進 市民が生活習慣の見直しなどにより病気を予防でき、また病気になっても適切な医療を受けられるなど、市民がより健康な生活を送れるよう、健康増進事業や予防対策を行っています。 また、保健師が地域に積極的に出ていき、健康づくりと介護予防を一体的に行う「地域保健師」活動の取組みをはじめめています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
12 生涯学習の推進 市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、さまざまな局面で学べるよう、そして学びを通じて地域社会へ学習の成果を活かせるよう、公民館等での事業や図書館での資料貸出閲覧などを行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
13 スポーツ・レクリエーションの推進 市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康増進に結びつくよう、施設の整備、指導者養成、各種イベントの開催などを行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
14 平和と人権の尊重 市民一人ひとりが平和への強い意志を発信できるよう、また人権に対する理解が深まり、偏見や差別がなくなるよう、啓発イベントや相談体制の構築を行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
15 男女平等と男女共同参画社会の実現 あらゆる機会において男女が平等に参画する社会が実現できるよう、セミナーの開催などを行っています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
16 いきいきとした産業のあるまち 商店街や地域の魅力を引き出すこと、また、新たに活動する企業が増えることで活力を創出しまちがにぎわうよう、企業誘致の促進や空き店舗の活用検討、大学通り等でのイベント支援、商店街の活性化に取り組んでいます。 また、観光振興への取組みもはじめています。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
17 都市農業の推進 農業従事者・消費者・NPO・事業者などが連携し、ブランド力のある農産物を持続的に生産・加工・販売できるよう、農業振興に努めています。 また、市民が農業に親しめる環境をつくり、農業後継者が育成されることで農業・農地が守られるよう、取り組んでいます。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目 番号 施策名 施策目標と取組みの概要	現在の評価度						今後の優先度				
	評価できる	どちらかといえば評価できる	どちらかといえは評価できない	評価できない	わからない		特に力を入れてほしい	力を入れてほしい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
18 安全で便利な移動の確保と交通体系の充実 交通体系が充実し、市民が公共交通機関や自転車を快適に利用できるように、コミュニティバスの運行や、駐輪場整備などの環境整備を行っています。 また、誰もが安全で便利に移動できるよう谷保駅エレベーター設置事業などにも取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
19 市有財産の管理と有効活用 公共・公用施設が適切に管理され、市有財産が有効に活用されるよう、計画的な改修や将来に向けた見直し等の公共施設マネジメントに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
20 生活環境の保全とエコライフの推進 市民が地球温暖化対策等、環境負荷軽減への理解を深め、エコライフが実現できるよう、また、快適な生活環境が保たれるよう、騒音等の公害防止などに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
21 ごみの発生抑制と再資源化の推進 ごみの発生が抑制され、また、ごみが適正に処理され、環境負荷の少ない循環型社会が実現できるよう、EPR（生産者が使用済み製品を回収し、処理する責任を負うこと）の推進・啓発や、ゴミの減量に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
22 防災対策の推進と危機管理体制の構築 災害時に生命・財産が守られ、被害が最小限に抑えられるよう、住宅耐震化の促進や、各公共施設の耐震化、総合防災計画の見直し、防災訓練などを行っています。 また、近年では、災害時などに援助が必要な方を地域で支援する仕組みの構築などを行っています。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
23 防犯体制の推進 市民・地域・行政が協力して防犯対策を行い、安全で安心に暮らせるまちを実現するため、防犯灯電気料助成や、啓発キャンペーン等を行っています。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
24 後世に引き継ぐまちなみ このまちの美しい景観やまちなみが後世に引き継がれるよう、また市民や事業者と連携しながら、地域特性にふさわしい土地利用がされるよう、「まちづくり条例」制定にむけての検討や、建物の高さの規制検討など、都市景観形成の計画づくりと推進に取り組んでいます。 また、市のシンボルとして旧国立駅舎再築の取組みを進めています。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
25 都市基盤の整備 このまちの特性にあった基盤整備が行われ、だれもが住みよい環境をつくるために、区画整理や、道路整備・維持管理などを行っています。 また、国立駅周辺のまちづくりについて、南北広場の整備や高架下を利用した施設整備などの取組みを進めています。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5
26 水とみどりははぐくむまち 市がみどり豊かなまちになり、市内の貴重な水資源の水量や水質が向上するよう、緑化の推進や公園の維持管理、崖線の保全、雨水浸透ますの設置助成などを行っています。 また、市民とともに、城山公園や体験水田などを「里山」として一体的に整備するプロジェクトや、まちを花と緑でいっぱいにする運動にも取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➡	1	2	3	4	5

項目 番号	施策名 施策目標と取組みの概要	現在の評価度						今後の優先度				
		評価できる	どちらかといえば評価できる	どちらかといえは評価できない	評価できない	わからない		特に力を入れてほしい	力を入れてほしい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない	わからない
27	下水道の整備 市内全域が浸水被害から守られ、また多摩川などの公共用水域の良好な水質が維持できるよう、下水道の整備や耐震化などに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5
28	情報公開の推進と個人情報保護 行政情報が広く市民に公開され、個人情報適切に保護されるよう、市報くにたちの発行や、情報セキュリティの監査などを行っています。 最近では、部長マニフェストの公開や、市報くにたちのカラー化などの取組みをはじめしています。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5
29	市民参加・協働の推進 市民・NPO・事業者がまちづくりに積極的に参画している姿をめざし、NPO 活動の支援や協働をしています。 また、市内・近隣の大学・高校等との連携も推進しています。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5
30	効果的・効率的な行政運営の推進 市のあらゆる活動を効果的・効率的に行い、市民からより信頼される市役所をめざし、人事評価制度の確立や行政評価システムの運用、財政健全化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5
31	健全な財政運営 事業実施のための安定的な自主財源を確保し、自律した財政運営が行えるよう、納税の利便性向上事業や、適正な課税と公平な債権回収等に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5
32	議会運営の支援 議会の役割が十分に発揮されるように支援するとともに、議会の情報を広く市民に公開しています。	1	2	3	4	5	➔	1	2	3	4	5

・ 国立市の住みやすさについて

問2 あなたはこれからも国立市に住み続けたいと思いますか。(は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. できれば移転したい | 5. わからない |
| 2. 当分住み続けたい | 4. 移転したい | |

問3 問1で「1. ずっと住み続けたい」「2. 当分住み続けたい」と答えた方に伺います。
住み続けたい理由は何でしょうか。(は2つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 自然環境に恵まれているから | 7. 通勤・通学・買物などに便利だから |
| 2. 持ち家だから | 8. 仕事や教育の場として適しているから |
| 3. 自分の生まれ育ったところだから | 9. まちなみ・景観が美しいから |
| 4. この土地に愛着があるから | 10. 交通の便が良いから |
| 5. 隣近所との人間関係が良いから | 11. その他() |
| 6. 知人や親戚がいるから | 12. 特にない |

問4 問1で「3.できれば移転したい」「4.移転したい」と答えた方に伺います。移転したい理由は何でしょうか。(は2つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 自然環境が悪いから | 7. 通勤・通学・買物などに不便だから |
| 2. 持ち家でないから | 8. 仕事や教育の場として適していないから |
| 3. 自分の生まれ育ったところではないから | 9. まちの雰囲気が嫌いだから |
| 4. この土地に愛着がないから | 10. 交通の便が悪いから |
| 5. 隣近所との人間関係が良くないから | 11. その他() |
| 6. 知人や親戚がないから | 12. 特にない |

・コミュニティ・消費者について

問5 あなたは、国立市の魅力は何だと思えますか。(は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 通勤・通学に便利 | 7. 魅力ある商店が多い |
| 2. 緑や公園が多い | 8. 一橋大学などがあり文教地区である |
| 3. 市民の意識が高い | 9. 南部地域に田園や自然が残っている |
| 4. 道路が整備されている | 10. 公共施設が整備されている |
| 5. 落ち着いた住宅地区である | 11. その他() |
| 6. 大学通りをはじめまちなみがきれい | 12. 特にない |

問6 あなたは、「私たちの地域」といったとき、どのくらいの範囲を思い浮かべますか。(は1つ)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 1丁目、2丁目などの地域 | 6. 中学校の学区域 |
| 2. 東、中、西などの地域 | 7. 国立市の全域 |
| 3. 町内会、自治会地域 | 8. その他() |
| 4. 商店街を中心とした地域 | 9. 特にない |
| 5. 小学校の学区域 | |

問7 あなたは、日頃隣近所とどの程度のお付き合いをしていますか。(は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 訪問しあったり、留守の時頼み合うなど親しい付き合いをしている |
| 2. 道で会えば立ち話をする程度の付き合いをしている |
| 3. 会えばあいさつする程度の付き合いをしている |
| 4. 顔を知らずほとんど(全く)付き合いはない |
| 5. その他() |

問8 地域における人との付き合いや、地域との関わりについて次のような考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。

(ア)から(カ)までについてそれぞれ1つずつ をつけてください。

	そう思う	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない	わからない
(ア) 家庭生活に支障のない範囲でなら隣人の手助けは当然である	1	2	3	4	5	
(イ) 火災や急病の時に、隣近所の協力をあてにできない	1	2	3	4	5	
(ウ) 地域活動には、性別・年齢・職業の関係なく誰もが参加すべきである	1	2	3	4	5	
(エ) 地域社会がよくならなければ、自分の生活も良ならない	1	2	3	4	5	
(オ) 地域活動は、時間に余裕のある人や、やる気のある人に任せる方が良い	1	2	3	4	5	
(カ) たとえ地域社会のためでも、自分の生活に制約をうけたくない	1	2	3	4	5	

社会貢献的な市民活動について

問9 あなたは現在、仕事や趣味などを通して得た知識や経験を、グループ活動や地域活動に生かすため、下欄の枠内のような活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに)

1. 文化・芸術・スポーツなどの活動	10. 平和・人権・男女共同参画に関する取り組み
2. 講座・講演会・イベントなどの企画運営活動	11. 地域の子ども・青少年の育成活動
3. ごみ問題・リサイクルへの取り組み	12. 自治会・町内会などの地域活動
4. 地域の清掃などの奉仕活動	13. 高齢者グループの活動
5. 自然保護・緑化などの取り組み	14. 福祉・健康に関する取り組み
6. 幼稚園・保育園などの諸行事への支援	15. まちづくりなど計画づくりに関する参加活動
7. 小・中学校の部活動や総合的な学習活動への支援	16. 地域の防災・防犯活動
8. 文化財保護や保存活動	17. 消費者保護に関する取り組み
9. 国際化・国際交流に関する取り組み	18. その他()
	19. どれにも参加していない

問10 問9で1~18と答えた方に伺います。現在参加されている活動について支援を必要としていますか。支援が必要な場合、どのような支援が必要ですか。

(あてはまるもの全てに)

1. 支援は必要ない	5. 場所の提供
2. 市内の人材情報	6. 機材の貸出
3. 市内活動場所情報	7. その他()
4. ホームページ活用の方法情報	

問11 問9で「19. どれにも参加していない」と答えた方に伺います。あなたが活動に参加していないのは、どのような理由からですか。(は3つまで)

1. 参加する機会がなかった	6. 他人事には積極的に関わりたくない
2. 時間的な余裕がなかった	7. 精神的な負担がある
3. 一緒に参加する仲間がいなかった	8. 活動をリードする指導者がいなかった
4. 参加したい活動がなかった	9. その他()
5. 活動の詳しい内容がわからなかった	10. 特にない

問12 多くの市民のみなさんに活動に参加していただくため、市はどのようなことを行うことが必要と思いますか。(は2つまで)

1. 健康の維持・増進のための活動への支援
2. 教養や趣味を深める文化活動への支援
3. ボランティア組織、NPO 組織、地域活動団体への支援
4. ボランティア組織、NPO 組織、地域活動団体との連携の推進
5. 市民が利用しやすい公共施設の整備
6. その他()
7. 特にない

子どもや若者のために

問13 あなたは子どもたちのために、市がどのような施策に取り組むべきとお考えですか。(は3つまで)

1. 子どもの個性を尊重する教育を充実する
2. 子どもを非行から守るため学校での指導を充実する
3. いじめをなくすため学校での指導を充実する
4. 子どもが悩みや不安を相談できる場所を充実する
5. 親が子育てについての悩みや不安を相談できる場所を充実する
6. 子ども会などのグループ活動の支援策を充実する
7. スポーツ活動への参加を奨励する
8. 安心して遊べる公園や広場を充実する
9. 生活の安全(交通事故、犯罪などから子どもを守る)のための施策を充実する
10. 市民が利用しやすい保育施設を充実する
11. しょうがいのある子どもが安心して学べるような学校の体制を整える
12. 安心して過ごせる放課後の居場所を充実する
13. ICT を活用した教育・学習方法の改善を図るための取組みを進める
14. その他()
15. 特にない

問14 あなたは若者のために市がどのような施策に取り組むべきだとお考えですか。(は3つまで)

1. 若者の個性を尊重する教育を充実する
2. 若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する
3. 若者の活動の場として、公共施設・公園・広場などの提供を充実する
4. 地域、NPO、グループ、スポーツなどの活動への参加を推進する
5. 地域企業のインターンシップ(企業活動体験制度)を充実する
6. 国際交流・国際協力などの活動への参加を推進する
7. 各種審議会、協議会などに市民公募委員の若者枠を定め、市政への参加機会を拡充する
8. 賃貸住宅、住宅建設など居住支援施策を充実する
9. 子育て支援策を整備、拡充する
10. 就業支援を充実する
11. その他()
12. 特にない

健康と福祉

問15 高齢社会を迎え、高齢者が豊かな生活を送るためには、どのような施策が効果的と考えますか。(は2つまで)

1. 高齢者のための就業や企業の支援を行う
2. ボランティア活動関連の情報提供・技術習得・組織づくりなど、高齢者の社会的活動への支援を行う
3. 散歩や運動のできる場所や、余暇活動のための施設などの充実・整備を行う
4. 高齢者を対象としたクラブ活動支援や、趣味・教養講座などを実施する
5. バリアフリーのまちづくりを進める
6. 認知症高齢者対策、在宅福祉サービスなどを充実する
7. 特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する
8. その他()
9. 特にない

問16 しょうがいしゃが安心していきいきと暮らせるためには、何が重要だと思いますか。(は3つまで)

1. 段差解消、点字ブロック設置、エレベーター・エスカレーターの設置などの推進
2. 日常生活で利用する小売店などに、自動ドア・しょうがいしゃ対応トイレなどの設置の推進
3. リフト付バス・タクシーなどの普及
4. 音声付信号機の普及
5. 自立生活のための相談・技術訓練の実施
6. 就業支援・相談の実施、雇用の場の確保
7. 盲導犬、聴導犬の普及やガイドヘルパーによる外出時の支援などの充実
8. しょうがいしゃが共同生活をする場の拡充
9. 周囲の人々や友達との交流の場づくり
10. 食事の配達や家事の支援など生活支援サービスの充実
11. インターネットなどの活用による生活情報の提供
12. その他()
13. 特にない

問17 あなたは、市に対し、健康と福祉に関する施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 健康づくりについての相談・指導 | 7. 難病患者への支援 |
| 2. 食品の監視や安全指導 | 8. 医療情報の提供 |
| 3. 生活習慣病などの予防 | 9. 禁煙・分煙への対応 |
| 4. 伝染病や食中毒の予防 | 10. その他() |
| 5. 寝たきりや認知症の予防 | 11. 特にない |
| 6. しょうがいしゃ(児)への支援 | |

地域振興と観光、消費者

問18 あなたは、市内の商店にどのようなサービスを望みますか。(は2つまで)

1. 豊富な品揃え
2. 対応の良さ
3. 買い物代行
4. 品物の安さ
5. ポイント付与
6. その他()
7. 特にない

問19 食の安全について、あなたのご意見に最も近いものに、1つ をつけてください。

1. 安全性に不安があるので、店頭の商品の産地、生産者、成分などの表示には細かく気をつかう
2. 気にはなるが、店頭での食品購入には、価格、その他の項目を優先しがちだ
3. 国や行政がチェックしてくれるはずなので、あまり気にしない
4. その他 ()
5. 気にしない

問20 地元・国立の農業について、あなたのご意見に最も近いものに、1つ をつけてください。

1. 都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい
2. 都市では、農地は宅地や産業用地として転用、活用するのが望ましい
3. 農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい
4. どちらともいえない(農家の判断である)
5. その他 ()
6. 特にない

問21 国立らしい観光を進めるうえで、あなたが大切にしたいと考えるものは次のどれですか。
(○は2つまで)

1. 歴史文化施設
2. 活力ある商店街
3. 閑静な住宅街
4. 住みやすい街
5. 自然環境
6. 市民まつりなどのイベント
7. その他 ()
8. 特にない

・環境(水と緑)

問22 国立市のみどりの保全と復元、創出のために、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(は3つまで)

1. 生垣等植栽への支援
2. 建物の屋上緑化・壁面緑化の支援
3. 樹木の維持管理を行う市民ボランティアの支援・育成
4. 公園の管理運営を行う市民ボランティアの支援・育成
5. 公園・緑地帯の維持管理
6. 公園・緑地帯への新規植栽
7. 大木所有者に対する保存費用の助成
8. 市民が自然とふれあう場の拡充
9. その他 ()
10. 特にない

問23 国立市の水環境の保全のため、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(○は2つまで)

1. 雨水の地下浸透ますの設置促進
2. 歩道や駐車場などにおける浸透性舗装の推進・支援
3. 節水対策の啓発・促進
4. 市民が水と触れ合える場所の確保
5. 環境教育の取組みの拡大
6. 用水路の整備
7. 多摩川の水質改善の取組み推進・支援
8. その他 ()
9. 特にない

．ごみとリサイクル

問2 4 家庭から出るごみを減らし、循環型社会（ごみの発生・排出が抑制され、再使用、再生利用、適正処分される環境にやさしい社会）を形成するために、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。（あてはまるもの全てに ）

- 1．ものを大切に長く使うようにしている
- 2．使い捨て商品は買わないようにしている
- 3．できるだけ包装を断っている
- 4．食品、洗剤など詰め替え商品を利用している
- 5．生ごみは水分をよく切って出している
- 6．レジ袋をもらわないよう、買い物袋を持参している
- 7．コンポスト（生ごみ堆肥化容器）や生ごみ処理機を使っている
- 8．再生紙の商品（トイレトペーパーなど）を利用している
- 9．エコマークなど環境に配慮した商品を利用している
- 10．分別の徹底をし、できる限り資源化をしている
- 11．食品のトレイ、ペットボトルなどは店に返却している
- 12．ビールびんなどは酒販店へ戻すようにしている
- 13．資源回収に協力している
- 14．集団回収に参加している
- 15．フリーマーケットなどを利用したり、提供したりしている
- 16．その他（)
- 17．特にない

問2 5 今後、循環型社会の形成のために、行政はどのようなことをすべきだと思いますか。（ は3つまで）

- 1．ごみの分別などに対する指導を徹底する
- 2．自治会などが行う集団回収の支援を拡大する
- 3．清掃工場や埋立地見学や研修の機会を増やす
- 4．リサイクルにも環境への負荷（影響）があるなど、ごみ問題について学べる機会を増やす
- 5．市報においてごみ（廃棄物など）に関する情報をより詳しく提供する
- 6．事業者に対し、商品の包装を簡単にするなど、ごみの量を減らす販売方法などを指導する
- 7．事業者に対し、商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する
- 8．事業者に対し、生産者責任としてのごみの回収システムをつくるよう指導する
- 9．ごみの分別の種類をもっと細かくする
- 10．生ごみや庭木の剪定枝などの資源化を進める
- 11．ごみの発生抑制のため、家庭ごみの有料化を進める
- 12．その他（)
- 13．特にない

XI . 男女平等・人権・平和、個人情報保護

問26 市では様々な機関と連携しながら、市民の皆様の人権が尊重され、守られるよう取り組みを行っています。人権課題は多岐にわたりますが、あなたは、市にどのような課題に重点を置いて取り組んでほしいですか。(は3つまで)

- 1 . セクシャルハラスメント、DV など女性の人権問題
- 2 . いじめ、体罰、児童虐待、児童買春など子どもの人権問題
- 3 . 高齢者に対する就職差別や介護施設等における虐待など高齢者の人権問題
- 4 . しょうがい者に対する職場での差別待遇や、入店拒否等のしょうがい者の人権問題
- 5 . 結婚や差別発言、落書き等同和問題に関する人権問題
- 6 . 就職や結婚などにおける差別等アイヌの人々の人権問題
- 7 . 就職差別やマンション等での入居拒否、ヘイトスピーチなど外国人の人権問題
- 8 . HIV感染者やハンセン病患者等の人権問題
- 9 . 刑を終えて出所した人に対する偏見等の人権問題
- 10 . 犯罪被害者とその家族の人権問題
- 11 . インターネットを悪用した人権侵害の問題
- 12 . 北朝鮮当局による拉致問題等の人権侵害問題
- 13 . ホームレスに対する嫌がらせや暴行事件等の人権問題
- 14 . 性的指向を理由とする差別等の人権問題
- 15 . 性同一性の不一致(生物学的性と心の性が一致しない状態)を理由とする差別等の人権問題
- 16 . 性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引の問題
- 17 . 福島第一原発の事故に関する風評被害や差別など東日本大震災に起因する人権問題
- 18 . その他()
- 19 . 特にない

問27 個人情報の保護に関連して、市が保有する高齢者やしょうがい者の情報を、防災のために他の部局や自主防災組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。以下から一つだけお選びください。

- 1 . 防災のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき
- 2 . 防災のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい
- 3 . 防災のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい
- 4 . わからない

問28 市では、男女の平等・自立と共同参画の社会の実現を目指した各種の事業を行っています。男女共同参画を推進するために、今後どのような施策を充実したらよいと思いますか。
(は3つまで)

1. お互いの性を尊重しあうための意識の醸成・普及
2. ドメスティック・バイオレンス(DV)などあらゆる暴力の根絶にむけた取り組み
3. 性の商品化、売買春、援助交際、薬物使用、エイズ感染などの性に関する意識の醸成
4. 家庭生活における男女平等の確立
5. 女性の就業機会の拡充・支援
6. 職場における男女平等の環境整備
7. 学校教育・社会教育における男女平等の推進
8. 地域活動への男女の共同参画の推進と条件整備
9. 審議会など、市政への女性の参画推進
10. 母性保護と母子保健事業の充実
11. 心とからだの健康保持・増進
12. 多様な保育・育児サービスの充実や家庭・地域における子育て支援事業の充実
13. 高齢社会に対応した介護・看護環境の整備充実
14. 母子家庭、しょうがいしゃと家族介護者への支援など女性の生活の安定と自立の推進
15. その他()
16. 特にない

問29 市では平成12年6月に平和都市宣言を行うとともに、平和の大切さを未来に伝えるためのさまざまな事業を行っています。これから市はどのような平和施策を進めるべきだと思いますか。(は3つまで)

1. 平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する
2. 悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する
3. 平和や平和活動に関する国内外や市内の情報を提供する
4. 「平和都市宣言」を理解するシンボルマークをつくる
5. 市や市民の役割を明らかにした「国立市平和条例」をつくる
6. 市の姿勢を明らかにした「非核都市宣言」を行う
7. 市民が相互に理解を共有する「平和憲章」をつくる
8. 平和事業や活動を支援する「平和基金」をつくる
9. その他()
10. 特にない

XII. 防災対策について

問30 大規模地震等の自然災害に備えるため、国立市はどのような対策を講じるべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 食糧・飲料水や毛布などの非常用物資の備蓄の充実
2. 避難場所や避難道路などの整備
3. 正確・迅速な情報の伝達
4. 高齢者・しょうがいしゃなど災害時に配慮が必要な人への対策
5. 建物の不燃化・耐震化や空き地の確保
6. 耐震性貯水槽・給水タンクの充実
7. 防災ボランティアの受け入れ態勢の整備
8. 下水道などライフラインの耐震強化
9. 防災訓練や起震車体験などを通じた防災意識の高揚
10. 市民防災組織への支援
11. その他()
12. 特にない

XII. 公共施設について

問3 1 あなたは、過去一年間で、市の公共施設をどのくらい利用しましたか。各項目の当てはまる番号に をつけてください。

また、「3ほとんど利用しない」「4利用したことがない」を選択した場合、どのような理由からですか。（あてはまるもの全てに ）

	利用度					利用しなかった理由						
	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用しない	利用したことがない		内容を知らない	施設の存在やサービス内容	利用する必要がない	金などに不満がある	施設、サービス、利用料	利用している	他の市、都や国の施設を
市役所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
北市民プラザ	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
南市民プラザ	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
中央図書館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
北市民プラザ図書館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
図書館分室（下谷保分室）	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
図書館分室（青柳分室）	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
図書館分室（東分室）	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
図書館分室（谷保東分室）	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
図書館分室（南市民プラザ分室）	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
公民館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
市民芸術小ホール	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
郷土文化館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
市民総合体育館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
南市民プラザトレーニング室	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
保健センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
福社会館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		
子ども家庭支援センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5		

	利用度					利用しなかった理由					
	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用しない	利用したことがない		内容を知らない	施設の存在やサービス内容	利用する必要がない	金などに不満がある	施設、サービス、利用料	利用している
矢川集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
中一丁目集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
千丑集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
坂下集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
石神集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
谷保東集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
富士見台二丁目集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
富士見台一丁目集会所	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
一本松公会堂	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
四軒在家福祉館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
久保公会堂	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
南区公会堂	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
立東福祉館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
西福祉館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
青柳福祉センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
東福祉館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
北福祉館	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
中平地域防災センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
東地域防災センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
下谷保地域防災センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
富士見台地域防災センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
中地域防災センター	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
北市民プラザ会議室等	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	
南市民プラザ会議室等	1	2	3	4	→	1	2	3	4	5	

問3 2 過去に建設した公共施設が、今後一斉に更新（建て替え）の時期を迎えます。公共施設の更新には膨大な費用が見込まれており、全ての公共施設を更新することは難しい状況です。あなたは公共施設の更新問題について関心がありますか。1つ をつけてください。

1 . 関心がある	3 . あまり関心がない
2 . 少し関心がある	4 . 全く関心がない

問3 3 公共施設の更新問題に対する国立市の取り組みをご存じですか。（ア）から（ウ）までについて、それぞれ1つずつ をつけてください。

	読んだ	読んでいない	知っていたが	知らない
（ア）国立市公共施設白書（平成24年3月発行）	1	2	3	3
（イ）国立市公共施設等のあり方に関する研究報告書（平成24年10月発行）	1	2	3	3
（ウ）国立市公共施設マネジメント基本方針（平成25年3月発行）	1	2	3	3

問3 4 公共施設の更新問題に対して、公共施設に係る経費を少なくする手法として以下の方策を検討しています。これらの方策について、あなたはごどう思いますか。（ア）から（コ）までについて、それぞれ1つずつ をつけてください。

	実施すべき	実施すべき どちらかといえば	実施すべきでない どちらかといえば	実施すべきでない
（ア）施設の統廃合や複合化により施設数を減らす	1	2	3	4
（イ）近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	1	2	3	4
（ウ）施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4
（エ）地域活動に密着した施設は地域住民が所有し、維持管理を行う	1	2	3	4
（オ）施設を補強し、大事に長く使う	1	2	3	4
（カ）施設を減らし、代わりに民間施設の利用に対して助成する	1	2	3	4
（キ）利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る	1	2	3	4
（ク）施設のサービス水準を引き下げる	1	2	3	4
（ケ）施設の利用料金を引き上げる	1	2	3	4
（コ）特別な税金の徴収などにより市民全体で負担する	1	2	3	4

問3 5 公共施設の更新問題について何かご意見等がございましたら、下記回答欄に自由にご記入ください。

問40 あなたは、「国立らしさ」と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべますか。
下記回答欄に自由にご記入ください。

問41 国立市政について何かご意見等ございましたら、下記回答欄に自由にご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート票を同封の返信用封筒に入れて6月23日(月)までに
ポストへ投函をお願い致します。(切手は不要です)

2. 集計データ (単純集計結果)

表 - 1 (F1-1.性別)

	(上段:n / 下段:%)			
	合計	男性	女性	無回答
[全体]	1,017	370	492	155
	100.0	36.4	48.4	15.2

表 - 2 (F1-2.年齢)

	(上段:n / 下段:%)									
	合計	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	無回答
[全体]	1,017	18	75	116	177	174	96	102	250	9
	100.0	1.8	7.4	11.4	17.4	17.1	9.4	10.0	24.6	0.9

表 - 3 (F2.職業)

	(上段:n / 下段:%)						
	合計	自営業・家事手伝い	自由業	経営・管理職	事務職	専門・技術職	労務・サービス業
[全体]	1,017	73	26	62	85	117	40
	100.0	7.2	2.6	6.1	8.4	11.5	3.9

	(上段:n / 下段:%)						
	合計	パート・アルバイト	専業主夫・主婦	学生	無職	その他	無回答
[全体]	1,017	112	205	43	190	49	15
	100.0	11.0	20.2	4.2	18.7	4.8	1.5

表 - 4 ((F2で1～7とお答えの方に)F2-1.職場はどちらでしょうか。(は1つだけ)

	(上段:n / 下段:%)							
	合計	自宅と同じ	国市内	東京都内23区	23区以外の東京都(国立市を除く)	神奈川・埼玉	その他	無回答
[F2で1～7とお答えの方]	515	64	103	157	147	28	14	2
	100.0	12.4	20.0	30.5	28.5	5.4	2.7	0.4

表 - 5 (現在のお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(は1つだけ)

	(上段:n / 下段:%)								
	合計	持ち家(一戸建て)	持ち家(分譲マンションなど)	民間の賃貸住宅	公営・公団・公社賃貸住宅	社宅・寮・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
[全体]	1,017	495	182	172	114	24	8	15	7
	100.0	48.7	17.9	16.9	11.2	2.4	0.8	1.5	0.7

表 - 6 (あなたのお住まいの地域についておたずねします。(は1つだけ)

	(上段:n / 下段:%)										
	合計	北	東	富士見台	中	西	谷保	泉	青柳	矢川・石田	無回答
[全体]	1,017	109	173	241	128	134	145	20	60	6	1
	100.0	10.7	17.0	23.7	12.6	13.2	14.3	2.0	5.9	0.6	0.1

表 - 7 (あなたは、国立市に何年くらい住んでいますか。(は1つだけ))

	(上段:n / 下段:%)							
	合計	1年未満	1年以上 ~5年未 満	5年以上 ~10年未 満	10年以上 ~20年未 満	20年以上	生まれて からずっ と	無回答
[全体]	1,017	34	132	100	214	426	110	1
	100.0	3.3	13.0	9.8	21.0	41.9	10.8	0.1

表 - 8 (あなたのご家族の構成はどうなっていますか。(は1つだけ))

	(上段:n / 下段:%)						
	合計	単身(一 人暮ら し)	夫婦だけ	二世代世 帯(親と 子)	三世代世 帯(親と 子と孫)	その他	無回答
[全体]	1,017	148	254	470	59	47	39
	100.0	14.6	25.0	46.2	5.8	4.6	3.8

表 - 9 ((家族形態)あなたご自身はどれにあたりますか、この中から選んでください。(は1つだけ))

	(上段:n / 下段:%)						
	合計	単身 本 人18~39 歳	単身 本 人40~64 歳	単身 本 人65歳以 上	夫婦のみ 本人18~ 39歳	夫婦のみ 本人40~ 64歳	夫婦のみ 本人65歳 以上
[全体]	1,017	111	83	80	32	92	112
	100.0	10.9	8.2	7.9	3.1	9.0	11.0

	(上段:n / 下段:%)						
	合計	子どもの いる人 一番上の 子どもが 小学校入 学前	子どもの いる人 一番上の 子どもが 小・中学 生	子どもの いる人 一番上の 子どもが 高校・大 学	子どもの いる人 本人が64 歳以下 で、一番 上の子ど もが学校 卒業	子どもの いる人 本人が65 歳以上 で、一番 上の子ど もが学校 卒業	無回答
[全体]	1,017	54	88	79	100	114	72
	100.0	5.3	8.7	7.8	9.8	11.2	7.1

表 - 10 (問1現在の評価度) [全体]

	合計	(上段:n / 下段:%)						平均スコア
		評価できる(4)	どちらかといえば評価できる(3)	どちらかといえば評価できない(2)	評価できない(1)	わからない	無回答	
1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	1,017 100.0	79 7.8	350 34.4	115 11.3	35 3.4	364 35.8	74 7.3	1.73
2.義務教育の充実	1,017 100.0	85 8.4	317 31.2	98 9.6	27 2.7	404 39.7	86 8.5	1.63
3.地域福祉活動の推進	1,017 100.0	100 9.8	377 37.1	101 9.9	24 2.4	337 33.1	78 7.7	1.87
4.高齢者の自立の促進	1,017 100.0	102 10.0	355 34.9	143 14.1	27 2.7	321 31.6	69 6.8	1.88
5.しょうがいしゃの自立の促進	1,017 100.0	109 10.7	356 35.0	83 8.2	22 2.2	369 36.3	78 7.7	1.80
6.文化・芸術活動の充実	1,017 100.0	87 8.6	400 39.3	124 12.2	36 3.5	296 29.1	74 7.3	1.94
7.歴史・文化遺産の保存と活用	1,017 100.0	110 10.8	430 42.3	122 12.0	33 3.2	244 24.0	78 7.7	2.14
8.多文化共生社会の実現	1,017 100.0	69 6.8	308 30.3	98 9.6	26 2.6	457 44.9	59 5.8	1.48
9.地域コミュニティの振興	1,017 100.0	85 8.4	326 32.1	129 12.7	46 4.5	368 36.2	63 6.2	1.70
10.消費生活の安全確保と充実	1,017 100.0	63 6.2	253 24.9	141 13.9	49 4.8	441 43.4	70 6.9	1.42
11.健康づくりの推進	1,017 100.0	131 12.9	442 43.5	111 10.9	27 2.7	255 25.1	51 5.0	2.17
12.生涯学習の推進	1,017 100.0	105 10.3	425 41.8	122 12.0	32 3.1	272 26.7	61 6.0	2.06
13.スポーツ・レクリエーションの推進	1,017 100.0	80 7.9	408 40.1	145 14.3	39 3.8	277 27.2	68 6.7	1.97
14.平和と人権の尊重	1,017 100.0	78 7.7	271 26.6	134 13.2	36 3.5	433 42.6	65 6.4	1.50
15.男女平等と男女共同参画社会の実現	1,017 100.0	63 6.2	258 25.4	131 12.9	37 3.6	444 43.7	84 8.3	1.42
16.いきいきとした産業のあるまち	1,017 100.0	117 11.5	399 39.2	150 14.7	73 7.2	220 21.6	58 5.7	2.13
17.都市農業の推進	1,017 100.0	113 11.1	389 38.2	120 11.8	37 3.6	302 29.7	56 5.5	1.97
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	1,017 100.0	202 19.9	476 46.8	139 13.7	75 7.4	70 6.9	55 5.4	2.69
19.市有財産の管理と有効活用	1,017 100.0	59 5.8	274 26.9	167 16.4	53 5.2	399 39.2	65 6.4	1.52
20.生活環境の保全とエコライフの推進	1,017 100.0	78 7.7	317 31.2	166 16.3	47 4.6	334 32.8	75 7.4	1.74
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	1,017 100.0	148 14.6	475 46.7	117 11.5	50 4.9	166 16.3	61 6.0	2.41
22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	1,017 100.0	122 12.0	378 37.2	149 14.7	40 3.9	269 26.5	59 5.8	2.05
23.防犯体制の推進	1,017 100.0	106 10.4	361 35.5	159 15.6	50 4.9	274 26.9	67 6.6	1.97
24.後世に引き継ぐまちなみ	1,017 100.0	179 17.6	407 40.0	155 15.2	80 7.9	135 13.3	61 6.0	2.43
25.都市基盤の整備	1,017 100.0	127 12.5	394 38.7	185 18.2	76 7.5	180 17.7	55 5.4	2.22
26.水とみどりをはぐむまち	1,017 100.0	172 16.9	478 47.0	109 10.7	18 1.8	184 18.1	56 5.5	2.45
27.下水道の整備	1,017 100.0	159 15.6	462 45.4	56 5.5	12 1.2	260 25.6	68 6.7	2.26
28.情報公開の推進と個人情報保護	1,017 100.0	93 9.1	364 35.8	129 12.7	49 4.8	311 30.6	71 7.0	1.87
29.市民参加・協働の推進	1,017 100.0	71 7.0	356 35.0	113 11.1	22 2.2	376 37.0	79 7.8	1.71
30.効果的・効率的な行政運営の推進	1,017 100.0	62 6.1	270 26.5	145 14.3	58 5.7	398 39.1	84 8.3	1.51
31.健全な財政運営	1,017 100.0	69 6.8	256 25.2	161 15.8	70 6.9	381 37.5	80 7.9	1.53
32.議会運営の支援	1,017 100.0	63 6.2	317 31.2	129 12.7	50 4.9	377 37.1	81 8.0	1.61

表 - 11 (問1-2.今後の優先度) [全体]

	(上段:n / 下段:%)							平均スコア
	合計	特に力を入れてほしい(4)	力を入れてほしい(3)	あまり力を入れる必要はない(2)	力を入れる必要はない(1)	わからない	無回答	
1.子育て・子育てのしやすい環境づくり	1,017 100.0	236 23.2	530 52.1	34 3.3	3 0.3	128 12.6	86 8.5	2.80
2.義務教育の充実	1,017 100.0	193 19.0	540 53.1	46 4.5	7 0.7	137 13.5	94 9.2	2.70
3.地域福祉活動の推進	1,017 100.0	123 12.1	591 58.1	71 7.0	15 1.5	125 12.3	92 9.0	2.62
4.高齢者の自立の促進	1,017 100.0	244 24.0	553 54.4	46 4.5	7 0.7	83 8.2	84 8.3	2.93
5.しょうがいしゃの自立の促進	1,017 100.0	153 15.0	586 57.6	57 5.6	11 1.1	117 11.5	93 9.1	2.70
6.文化・芸術活動の充実	1,017 100.0	69 6.8	489 48.1	182 17.9	43 4.2	142 14.0	92 9.0	2.32
7.歴史・文化遺産の保存と活用	1,017 100.0	78 7.7	528 51.9	158 15.5	41 4.0	118 11.6	94 9.2	2.44
8.多文化共生社会の実現	1,017 100.0	36 3.5	482 47.4	169 16.6	32 3.1	214 21.0	84 8.3	2.10
9.地域コミュニティの振興	1,017 100.0	70 6.9	515 50.6	137 13.5	29 2.9	186 18.3	80 7.9	2.27
10.消費生活の安全確保と充実	1,017 100.0	71 7.0	517 50.8	132 13.0	29 2.9	169 16.6	99 9.7	2.32
11.健康づくりの推進	1,017 100.0	188 18.5	608 59.8	66 6.5	13 1.3	67 6.6	75 7.4	2.89
12.生涯学習の推進	1,017 100.0	102 10.0	544 53.5	149 14.7	20 2.0	118 11.6	84 8.3	2.53
13.スポーツ・レクリエーションの推進	1,017 100.0	89 8.8	550 54.1	148 14.6	20 2.0	118 11.6	92 9.0	2.51
14.平和と人権の尊重	1,017 100.0	100 9.8	447 44.0	152 14.9	40 3.9	188 18.5	90 8.8	2.25
15.男女平等と男女共同参画社会の実現	1,017 100.0	68 6.7	408 40.1	202 19.9	41 4.0	193 19.0	105 10.3	2.13
16.いきいきとした産業のあるまち	1,017 100.0	197 19.4	544 53.5	83 8.2	20 2.0	93 9.1	80 7.9	2.78
17.都市農業の推進	1,017 100.0	165 16.2	504 49.6	107 10.5	24 2.4	135 13.3	82 8.1	2.58
18.安全で便利な移動の確保と交通体系の充実	1,017 100.0	281 27.6	571 56.1	45 4.4	7 0.7	40 3.9	73 7.2	3.11
19.市有財産の管理と有効活用	1,017 100.0	96 9.4	515 50.6	109 10.7	16 1.6	195 19.2	86 8.5	2.32
20.生活環境の保全とエコライフの推進	1,017 100.0	138 13.6	572 56.2	72 7.1	11 1.1	128 12.6	96 9.4	2.63
21.ごみの発生抑制と再資源化の推進	1,017 100.0	224 22.0	622 61.2	35 3.4	8 0.8	47 4.6	81 8.0	3.03
22.防災対策の推進と危機管理体制の構築	1,017 100.0	302 29.7	538 52.9	30 2.9	5 0.5	66 6.5	76 7.5	3.07
23.防犯体制の推進	1,017 100.0	329 32.4	497 48.9	34 3.3	7 0.7	71 7.0	79 7.8	3.07
24.後世に引き継ぐまちなみ	1,017 100.0	248 24.4	432 42.5	128 12.6	56 5.5	77 7.6	76 7.5	2.76
25.都市基盤の整備	1,017 100.0	221 21.7	511 50.2	97 9.5	27 2.7	88 8.7	73 7.2	2.79
26.水とみどりをはぐむまち	1,017 100.0	208 20.5	577 56.7	80 7.9	8 0.8	71 7.0	73 7.2	2.89
27.下水道の整備	1,017 100.0	171 16.8	631 62.0	41 4.0	9 0.9	75 7.4	90 8.8	2.88
28.情報公開の推進と個人情報保護	1,017 100.0	115 11.3	511 50.2	146 14.4	17 1.7	132 13.0	96 9.4	2.50
29.市民参加・協働の推進	1,017 100.0	65 6.4	487 47.9	152 14.9	20 2.0	193 19.0	100 9.8	2.23
30.効果的・効率的な行政運営の推進	1,017 100.0	134 13.2	531 52.2	73 7.2	7 0.7	165 16.2	107 10.5	2.51
31.健全な財政運営	1,017 100.0	210 20.6	511 50.2	38 3.7	7 0.7	149 14.7	102 10.0	2.68
32.議会運営の支援	1,017 100.0	92 9.0	526 51.7	98 9.6	18 1.8	183 18.0	100 9.8	2.36

表 - 12 (問2.あなたはこれからも国立市に住み続けたいと思いますか。(は1つ))

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		ずっと住み続けたい	当分住み続けたい	できれば移転したい	移転したい	わからない	無回答
[全体]	1,017	533	293	52	11	87	41
	100.0	52.4	28.8	5.1	1.1	8.6	4.0

表 - 13 ((問2で「1.ずっと住み続けたい」「2.当分住み続けたい」と答えた方に伺います。) 問3.住み続けたい理由は何でしょうか。(は2つまで))(複数回答)

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		持ち家だから	まちなみ・景観が美しいから	自然環境に恵まれているから	通勤・通学・買物などに便利だから	この土地に愛着があるから	自分の生まれ育ったところだから
[問2で「1.ずっと住み続けたい」「2.当分住み続けたい」と答えた方]	826	334	294	277	159	128	86
	100.0	40.4	35.6	33.5	19.2	15.5	10.4

	合計	(上段:n / 下段:%)						
		交通の便が良いから	隣近所との人間関係が良いから	仕事や教育の場として適しているから	知人や親戚がいるから	その他	特にない	無回答
[問2で「1.ずっと住み続けたい」「2.当分住み続けたい」と答えた方]	826	82	62	57	50	25	8	4
	100.0	9.9	7.5	6.9	6.1	3.0	1.0	0.5

表 - 14 ((問2で「3.できれば移転したい」「4.移転したい」と答えた方に伺います。) 問4.移転したい理由は何でしょうか。(は2つまで))(複数回答)

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		通勤・通学・買物などに不便だから	この土地に愛着がないから	持ち家でないから	隣近所との人間関係が良くないから	交通の便が悪いから	自分の生まれ育ったところではないから
[問2で「3.できれば移転したい」「4.移転したい」と答えた方]	63	22	13	9	8	8	7
	100.0	34.9	20.6	14.3	12.7	12.7	11.1

	合計	(上段:n / 下段:%)						
		まちの雰囲気や景観が嫌いだから	知人や親戚がいないから	仕事や教育の場として適していないから	自然環境が悪いから	その他	特にない	無回答
[問2で「3.できれば移転したい」「4.移転したい」と答えた方]	63	5	4	4	3	16	2	1
	100.0	7.9	6.3	6.3	4.8	25.4	3.2	1.6

表 - 15 (問5.あなたは、国立市の魅力は何だと思えますか。(は3つまで))(複数回答)

	合計	(上段:n / 下段:%)						
		大学通りをはじめまちなみがきれい	落ち着いた住宅地区である	緑や公園が多い	一橋大学などがあり文教地区である	南部地域に田園や自然が残っている	通勤・通学に便利	市民の意識が高い
[全体]	1,017	521	447	393	391	225	156	130
	100.0	51.2	44.0	38.6	38.4	22.1	15.3	12.8

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		道路が整備されている	魅力ある商店が多い	公共施設が整備されている	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	82	49	27	21	32	39
	100.0	8.1	4.8	2.7	2.1	3.1	3.8

表 - 16 (問6.あなたは、「私たちの地域」といったとき、どのくらいの範囲を思い浮かべますか。(は1つ))

	合計	(上段:n / 下段:%)									
		1丁目、2丁目などの地域	東、中、西などの地域	町内会、自治会地域	商店街を中心とした地域	小学校の学区	中学校の学区	国立市の全域	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	80	221	83	39	57	29	375	22	65	46
	100.0	7.9	21.7	8.2	3.8	5.6	2.9	36.9	2.2	6.4	4.5

表 - 17 (問7.あなたは、日頃隣近所との程度のお付き合いをしていますか。(は1つ))

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		訪問しあったり、留守の時頼み合うなど親しい付き合いをしている	道で会えば立ち話をする程度の付き合いをしている	会えばあいさつする程度の付き合いをしている	顔を知らずほとんど(全く)付き合いはない	その他	無回答
[全体]	1,017	105	279	490	100	10	33
	100.0	10.3	27.4	48.2	9.8	1.0	3.2

表 - 18 (問8.地域との関わり方) [全体]

	合計	(上段:n / 下段:%)					
		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
(ア)家庭生活に支障のない範囲でなら隣人の手助けは当然である	1,017	389	435	61	37	43	52
(イ)火災や急病の時に、隣近所の協力をあてにできない	1,017	141	312	179	280	51	54
(ウ)地域活動には、性別・年齢・職業の関係なく誰もが参加すべきである	1,017	199	348	210	126	83	51
(エ)地域社会がよくならなければ、自分の生活も良くならない	1,017	194	374	174	145	73	57
(オ)地域活動は、時間に余裕のある人や、やる気のある人に任せる方が	1,017	92	371	213	217	71	53
(カ)たとえ地域社会のためでも、自分の生活に制約をうけたくない	1,017	160	405	218	116	60	58
	100.0	15.7	39.8	21.4	11.4	5.9	5.7

表 - 19 (問9.あなたは現在、仕事や趣味などを通して得た知識や経験を、グループ活動や地域活動に生かすため、下欄の枠内のような活動に参加していますか。(あてはまるもの全てに)) (複数回答)

	合計	(上段:n / 下段:%)									
		文化・芸術・スポーツなどの活動	自治会・町内会などの地域活動	ごみ問題・リサイクルへの取り組み	地域の清掃などの奉仕活動	地域の防災・防犯活動	高齢者グループの活動	福祉・健康に関する取り組み	講座・講演会・イベントなどの企画運営活動	地域の子ども・青少年の育成活動	自然保護・緑化などの取り組み
[全体]	1,017	161	143	98	92	64	53	48	45	44	40
	100.0	15.8	14.1	9.6	9.0	6.3	5.2	4.7	4.4	4.3	3.9

	合計	(上段:n / 下段:%)									
		幼稚園・保育園などの諸行事への支援	小・中学校の部活動や総合的な学習活動への支援	国際化・国際交流に関する取り組み	まちづくりなど計画的な取り組み	文化財保護や保存活動	平和・人権・男女共同参画に関する取り組み	消費者保護に関する取り組み	その他	どれにも参加していない	無回答
[全体]	1,017	35	27	18	15	10	10	4	20	554	61
	100.0	3.4	2.7	1.8	1.5	1.0	1.0	0.4	2.0	54.5	6.0

表 - 20 (問10.問9で1～18と答えた方に伺います。現在参加されている活動について支援を必要としていますか。支援が必要な場合、どのような支援が必要ですか。(あてはまるもの全てに)) (複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	場所の提供	支援は必要ない	市内活動場所情報	機材の貸出	市内の人材情報	ホームページ活用の方法情報	その他	無回答
【問9で1～18と答えた方】	402	125	117	82	58	40	36	19	60
	100.0	31.1	29.1	20.4	14.4	10.0	9.0	4.7	14.9

表 - 21 (問11.問9で「19.どれにも参加していない」と答えた方に伺います。あなたが活動に参加していないのは、どのような理由からですか。(は3つまで)) (複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	時間的な余裕がなかった	参加する機会がなかった	活動の詳細な内容がわからなかった	一緒に参加する仲間がいなかった	参加したい活動がなかった	精神的な負担がある	他人事には積極的に関わりたいくない	活動をリードする指導者がいなかった	その他	特になし	無回答
【問9で「19.どれにも参加していない」と答えた方】	554	258	249	137	80	77	67	34	6	62	57	1
	100.0	46.6	44.9	24.7	14.4	13.9	12.1	6.1	1.1	11.2	10.3	0.2

表 - 22 (問12.多くの市民のみなさんに活動に参加していただくため、市はどのようなことを行うことが必要と思いますか。(は2つまで)) (複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	市民が利用しやすい公共施設の整備	健康の維持・増進のための活動への支援	教養や趣味を深める文化活動への支援	ボランティア組織、NPO組織、地域活動団体との連携の推進	ボランティア組織、NPO組織、地域活動団体への支援	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	507	360	262	119	93	49	106	56
	100.0	49.9	35.4	25.8	11.7	9.1	4.8	10.4	5.5

表 - 23 (問13.あなたは子どもたちのために、市がどのような施策に取り組むべきとお考えですか。(は3つまで)) (複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	安心して遊べる公園や広場を充実させる	いじめをなくすため学校での指導を充実させる	生活の安全(交通事故、犯罪などから子どもを守る)のための施策を充実させる	親が子育てについての悩みや不安を相談できる場所を充実させる	安心して過ごせる放課後の居場所を充実させる	子どもが悩みや不安を相談できる場所を充実させる	子どもの個性を尊重する教育を充実させる	市民が利用しやすい保育施設を充実させる
【全体】	1,017	335	307	269	261	243	228	204	168
	100.0	32.9	30.2	26.5	25.7	23.9	22.4	20.1	16.5

	合計	子どもを非行から守るため学校での指導を充実させる	スポーツ活動への参加を奨励する	しょうがいのある子どもが安心して学べるような学校の体制を整える	子ども会などのグループ活動の支援策を充実させる	ICTを活用した教育・学習方法の改善を図るための取り組みを進める	その他	特になし	無回答
【全体】	1,017	141	132	106	66	49	36	32	54
	100.0	13.9	13.0	10.4	6.5	4.8	3.5	3.1	5.3

表 - 24 (問14.あなたは若者のために市がどのような施策に取り組むべきだとお考えですか。(は3つまで))(複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	子育て支援策を整備、拡充する	就業支援を充実する	若者が悩みや不安を相談できる場所を充実する	若者の活動の場として、公共施設・公園・広場などの提供を充実する	国際交流・国際協力などの活動への参加を推進する	賃貸住宅、住宅建設など居住支援施策を充実する	地域、NPO、グループ、スポーツなどの活動への参加を推進する	若者の個性を尊重する教育を充実する
[全体]	1,017	334	334	323	230	201	190	186	176
	100.0	32.8	32.8	31.8	22.6	19.8	18.7	18.3	17.3

	合計	地域企業のインターンシップ(企業活動体験制度)を充実する	各種審議会、協議会などに市民公募委員の若者枠を定め、市政への参加機会を拡充する	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	158	99	21	57	63
	100.0	15.5	9.7	2.1	5.6	6.2

表 - 25 (問15.高齢社会を迎え、高齢者が豊かな生活を送るためには、どのような施策が効果的と考えますか。(は2つまで))(複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	特別養護老人ホーム、老人保健施設などを充実する	認知症高齢者対策、在宅福祉サービスなどを充実する	高齢者のための就業や企業の支援を行う	散歩や運動のできる場所や、余暇活動のための施設などの充実・整備を行う	バリアフリーのまちづくりを進める	ボランティア活動関連の情報提供・技術習得・組織づくりなど、高齢者の社会的活動への支援を行う	高齢者を対象としたクラブ活動支援や、趣味・教養講座などを実施する	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	388	338	285	266	236	204	187	24	18	34
	100.0	38.2	33.2	28.0	26.2	23.2	20.1	18.4	2.4	1.8	3.3

表 - 26 (問16.しょうがいしゃが安心していきいきと暮らせるためには、何が重要だと思いますか。(は3つまで))(複数回答)

(上段:n / 下段:%)

	合計	段差解消、点字ブロック設置、エレベーター・エスカレーターなどの設置などの推進	自立生活のための相談・技術訓練の実施	就業支援・相談の実施、雇用の場の確保	食事の配達や家事の支援など生活支援サービスの充実	周囲の人々や友達との交流の場づくり	日常生活で利用する小売店などに、自動ドア・しょうがいしゃ対応トイレなどの設置の推進	しょうがいしゃが共同生活をする場の拡充
[全体]	1,017	514	354	351	241	204	202	148
	100.0	50.5	34.8	34.5	23.7	20.1	19.9	14.6

	合計	リフト付バス・タクシーなどの普及	盲導犬、聴導犬の普及やガイドヘルパーによる外出時の支援などの充実	音声付信号機の普及	インターネットなどの活用による生活情報の提供	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	137	122	79	48	29	19	41
	100.0	13.5	12.0	7.8	4.7	2.9	1.9	4.0

表 - 27 (問17.あなたは、市に対し、健康と福祉に関する施策として、今後どのようなことに力を入れてほしいと思いますか、(は3つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)					
	合計	寝たきりや認知症の予防	医療情報の提供	健康づくりについての相談・指導	食品の監視や安全指導	生活習慣病などの予防	しょうがいしゃ(児)への支援
[全体]	1,017	433	398	282	256	249	239
	100.0	42.6	39.1	27.7	25.2	24.5	23.5

	合計	難病患者への支援	禁煙・分煙への対応	伝染病や食中毒の予防	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	191	166	134	35	43	32
	100.0	18.8	16.3	13.2	3.4	4.2	3.1

表 - 28 (問18.あなたは、市内の商店にどのようなサービスを望みますか、(は2つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)							
	合計	豊富な品揃え	対応の良さ	品物の安さ	買い物代行	ポイント付与	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	477	443	404	80	76	64	83	50
	100.0	46.9	43.6	39.7	7.9	7.5	6.3	8.2	4.9

表 - 29 (問19.食の安全について、あなたのご意見に最も近いものに、1つ をつけてください。)

		(上段:n / 下段:%)					
	合計	安全性に不安があるので、店頭での食品購入には、価格、その他の項目を優先しがちだ	気にはなるが、店頭での食品購入には、価格、その他の項目を優先しがちだ	国や行政がチェックしてくれるはずなので、あまり気にしない	その他	気にしない	無回答
[全体]	1,017	454	358	117	10	39	39
	100.0	44.6	35.2	11.5	1.0	3.8	3.8

表 - 30 (問20.地元・国立の農業について、あなたのご意見に最も近いものに、1つ をつけてください。)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	都市の緑地保全や、農産物の地元供給の観点から、積極的に育成するのが望ましい	都市では、農地は宅地や産業用地として転用、活用するのが望ましい	農業・農地は市民との協働で維持・活用するのが望ましい	どちらともいえない(農家の判断である)	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	488	43	146	220	8	71	41
	100.0	48.0	4.2	14.4	21.6	0.8	7.0	4.0

表 - 31 (問21.国立らしい観光を進めるうえで、あなたが大切にしたいと考えるものは次のどれですか、(○は2つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)								
	合計	自然環境	住みやすい街	市民まつりなどのイベント	閑静な住宅街	活力ある商店街	歴史文化施設	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	441	430	206	202	165	126	25	40	31
	100.0	43.4	42.3	20.3	19.9	16.2	12.4	2.5	3.9	3.0

表 - 32 (問22.国立市のみどりの保全と復元、創出のために、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(は3つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	公園・緑地帯の維持管理	市民が自然とふれあう場の拡充	樹木の維持管理を行う市民ボランティアの支援・育成	公園の管理運営を行う市民ボランティアの支援・育成	生垣等植栽への支援	建物の屋上緑化・壁面緑化の支援	公園・緑地帯への新規植栽
[全体]	1,017	603	412	361	233	213	153	148
	100.0	59.3	40.5	35.5	22.9	20.9	15.0	14.6

	合計	大木所有者に対する保存費用の助成	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	132	27	46	34
	100.0	13.0	2.7	4.5	3.3

表 - 33 (問23.国立市の水環境の保全のため、あなたは、市がどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇は2つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)									
	合計	歩道や駐車場などにおける浸透性舗装の推進・支援	雨水の地下浸透ますの設置促進	多摩川の水質改善の取組み推進・支援	用水路の整備	節水対策の啓発・促進	環境教育の取組みの拡大	市民が水と触れ合える場所の確保	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	445	313	295	157	148	138	136	25	68	34
	100.0	43.8	30.8	29.0	15.4	14.6	13.6	13.4	2.5	6.7	3.3

表 - 34 (問24.家庭から出るごみを減らし、循環型社会(ごみの発生・排出が抑制され、再利用、再生利用、適正処分される環境にやさしい社会)を形成するために、あなたはどのようなことに取り組んでいますか。(あてはまるもの全てに)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)									
	合計	食品、洗剤など詰め替え商品を利用している	ものを大切に長く使うようにしている	分別の徹底をし、できる限り資源化をしている	レジ袋をもらわないよう、買い物袋を持参している	資源回収に協力している	生ごみは水分をよく切っている	できるだけ包装を断っている	再生紙の商品(トイレットペーパーなど)を利用している	食品のトレイ、ペットボトルなどは店に返却している	使い捨て商品は買わないようにしている
[全体]	1,017	743	622	612	603	576	527	368	308	302	211
	100.0	73.1	61.2	60.2	59.3	56.6	51.8	36.2	30.3	29.7	20.7

	合計	エコマークなど環境に配慮した商品を利用している	集団回収に参加している	ビールびんなどは酒販店へ戻すようにしている	フリーマーケットなどを利用したり、提供したりしている	コンポスト(生ごみ堆肥化容器)や生ごみ処理機を使っている	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017	128	90	81	77	44	18	18	52
	100.0	12.6	8.8	8.0	7.6	4.3	1.8	1.8	5.1

表 - 35 (問25.今後、循環型社会の形成のために、行政はどのようなことをすべきだと思いますか。(は3つまで))(複
数回答)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	ごみの分別などに対する指導を徹底する	市報においてごみ(廃棄物など)に関する情報をより詳しく提供する	事業者に対し、商品の包装を簡単にするなど、ごみの量を減らす販売方法などを指導する	リサイクルにも環境への負荷(影響)があるなど、ごみ問題について学ぶ機会を増やす	事業者に対し、商品の製造段階からごみ処理に対する配慮をするように指導する	事業者に対し、生産者責任としてのごみの回収システムをつくるよう指導する	自治会などが行う集団回収の支援を拡大する
[全体]	1,017 100.0	381 37.5	371 36.5	323 31.8	215 21.1	203 20.0	187 18.4	170 16.7

	合計	生ごみや庭木の剪定枝などの資源化を進める	清掃工場や埋立地見学や研修の機会を増やす	ごみの発生抑制のため、家庭ごみの有料化を進める	ごみの分別の種類をもっと細かくする	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017 100.0	152 14.9	80 7.9	67 6.6	48 4.7	23 2.3	45 4.4	61 6.0

表 - 36 (問26.市では様々な機関と連携しながら、市民の皆様の人権が尊重され、守られるよう取り組みを行っています。人権課題は多岐にわたりますが、あなたは、市にどのような課題に重点を置いて取り組んでほしいですか。(は3つまで))(複数回答)

		(上段:n / 下段:%)									
	合計	いじめ、体罰、児童虐待、児童買春など子どもの人権問題	高齢者に対する就職差別や介護施設等における虐待など高齢者の人権問題	福島第一原発の事故に関する風評被害や差別など東日本大震災に起因する人権問題	セクシャルハラスメント、DVなど女性の人権問題	インターネットを悪用した人権侵害の問題	しょうがい者に対する職場での差別待遇や、入店拒否等のしょうがい者の人権問題	就職差別やマンション等での入居拒否、ヘイトスピーチなど外国人の人権問題	犯罪被害者とその家族の人権問題	北朝鮮当局による拉致問題等の人権侵害問題	ホームレスに対する嫌がらせや暴行事件等の人権問題
[全体]	1,017 100.0	590 58.0	344 33.8	226 22.2	210 20.6	193 19.0	180 17.7	59 5.8	56 5.5	47 4.6	41 4.0

	合計	性同一性の不一致(生物学的性と心の性が一致しない状態)を理由とする差別等の人権問題	結婚や差別発言、落書き等と同和問題に関する人権問題	HIV感染者やハンセン病患者等の人権問題	刑を終えて出所した人に対する偏見等の人権問題	性的指向を理由とする差別等の人権問題	性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引の問題	就職や結婚などにおける差別等アイヌの人々の人権問題	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017 100.0	25 2.5	21 2.1	16 1.6	14 1.4	14 1.4	14 1.4	11 1.1	29 2.9	95 9.3	71 7.0

表 - 37 (問27.個人情報の保護に関連して、市が保有する高齢者やしょうがい者の情報を、防災のために他の部局や自主防災組織といった関係団体と共有することを、どのようにお考えですか。以下から一つだけお選びください。)

	合計	(上段:n / 下段:%)				
		防災のためであれば、積極的に個人情報を共有・活用すべき	防災のためであれば、必要最小限の範囲で個人情報を共有・活用してもよい	防災のためであっても、個人情報を共有・活用しない方がよい	わからない	無回答
[全体]	1,017	160	607	89	95	66
	100.0	15.7	59.7	8.8	9.3	6.5

表 - 38 (問28.市では、男女の平等・自立と共同参画の社会の実現を目指した各種の事業を行っています。男女共同参画を推進するために、今後どのような施策を充実したらよいと思いますか。(は3つまで) (複数回答))

	合計	(上段:n / 下段:%)								
		高齢社会に対応した介護・看護環境の整備充実	多様な保育・育児サービスの実践や家庭・地域における子育て支援事業の充実	女性の就業機会の拡充・支援	母子家庭、シングル-parentと家族介護者への支援など女性の生活の安定と自立の推進	ドメスティック・バイオレンス(DV)などあらゆる暴力の根絶にむけた取り組み	職場における男女平等の環境整備	お互いの性を尊重しあうための意識の醸成・普及	学校教育・社会教育における男女平等の推進	心とからだの健康保持・増進
[全体]	1,017	332	284	221	186	165	164	152	150	120
	100.0	32.6	27.9	21.7	18.3	16.2	16.1	14.9	14.7	11.8

	合計	その他の施策							
		性の商品化、売春、援助交際、薬物使用、エイズ感染などの性に関する意識の醸成	家庭生活における男女平等の確立	母性保護と母子保健事業の充実	地域活動への男女共同参画の推進と条件整備	審議会など、市政への女性の参画推進	その他	特になし	無回答
[全体]	1,017	102	97	79	61	61	22	78	62
	100.0	10.0	9.5	7.8	6.0	6.0	2.2	7.7	6.1

表 - 39 (問29.市では平成12年6月に平和都市宣言を行うとともに、平和の大切さを未来に伝えるためのさまざまな事業を行っています。これから市はどのような平和施策を進めるべきだと思いますか、(は3つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)					
	合計	平和の大切さを伝えるためのイベントを開催する	悲惨な戦争体験や被爆体験などを伝える記録を充実する	平和や平和活動に関する国内外や市内の情報提供をする	市の姿勢を明らかにした「非核都市宣言」を行う	市や市民の役割を明らかにした「国立市平和条例」をつくる	市民が相互に理解を共有する「平和憲章」をつくる
[全体]	1,017 100.0	377 37.1	342 33.6	293 28.8	175 17.2	139 13.7	97 9.5

	合計	「平和都市宣言」を理解するシンボルマークをつくる	平和事業や活動を支援する「平和基金」をつくる	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017 100.0	92 9.0	68 6.7	30 2.9	179 17.6	67 6.6

表 - 40 (問30.大規模地震等の自然災害に備えるため、国立市はどのような対策を講じるべきだと思いますか、(〇は3つまで)) (複数回答)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	食糧・飲料水や毛布などの非常用物資の備蓄の充実	正確・迅速な情報の伝達	避難場所や避難道路などの整備	高齢者・しょうがい者など災害時に配慮が必要な人への対策	下水道などライフラインの耐震強化	耐震性貯水槽・給水タンクの充実	建物の不燃化・耐震化や空き地の確保
[全体]	1,017 100.0	702 69.0	568 55.9	436 42.9	333 32.7	239 23.5	155 15.2	117 11.5

	合計	防災ボランティアの受け入れ態勢の整備	市民防災組織への支援	防災訓練や起震車体験などを通じた防災意識の高揚	その他	特にない	無回答
[全体]	1,017 100.0	62 6.1	54 5.3	53 5.2	23 2.3	12 1.2	39 3.8

表 - 41 (問31-1.公共施設利用度)【全体】

	(上段:n / 下段:%)					
	合計	よく利用している	ときどき利用している	ほとんど利用しない	利用したことがない	無回答
1.市役所	1,017	90	556	217	74	80
	100.0	8.8	54.7	21.3	7.3	7.9
2.北市民プラザ	1,017	37	107	132	614	127
	100.0	3.6	10.5	13.0	60.4	12.5
3.南市民プラザ	1,017	5	38	107	725	142
	100.0	0.5	3.7	10.5	71.3	14.0
4.中央図書館	1,017	120	264	189	342	102
	100.0	11.8	26.0	18.6	33.6	10.0
5.北市民プラザ図書館	1,017	40	102	100	637	138
	100.0	3.9	10.0	9.8	62.6	13.6
6.図書館分室(下谷保分室)	1,017	0	14	72	790	141
	100.0	0.0	1.4	7.1	77.7	13.9
7.図書館分室(青柳分室)	1,017	2	12	62	801	140
	100.0	0.2	1.2	6.1	78.8	13.8
8.図書館分室(東分室)	1,017	9	26	70	773	139
	100.0	0.9	2.6	6.9	76.0	13.7
9.図書館分室(谷保東分室)	1,017	5	7	61	800	144
	100.0	0.5	0.7	6.0	78.7	14.2
10.図書館分室(南市民プラザ分室)	1,017	3	27	71	767	149
	100.0	0.3	2.7	7.0	75.4	14.7
11.公民館	1,017	52	173	186	482	124
	100.0	5.1	17.0	18.3	47.4	12.2
12.市民芸術小ホール	1,017	40	263	196	408	110
	100.0	3.9	25.9	19.3	40.1	10.8
13.郷土文化館	1,017	10	121	197	556	133
	100.0	1.0	11.9	19.4	54.7	13.1
14.市民総合体育館	1,017	73	182	187	450	125
	100.0	7.2	17.9	18.4	44.2	12.3
15.南市民プラザトレーニング室	1,017	1	24	79	769	144
	100.0	0.1	2.4	7.8	75.6	14.2
16.保健センター	1,017	14	151	189	528	135
	100.0	1.4	14.8	18.6	51.9	13.3
17.福祉会館	1,017	51	155	141	555	115
	100.0	5.0	15.2	13.9	54.6	11.3
18.子ども家庭支援センター	1,017	9	42	95	729	142
	100.0	0.9	4.1	9.3	71.7	14.0
19.矢川集会所	1,017	7	16	69	788	137
	100.0	0.7	1.6	6.8	77.5	13.5
20.中一丁目集会所	1,017	2	16	69	788	142
	100.0	0.2	1.6	6.8	77.5	14.0
21.千丑集会所	1,017	2	10	61	804	140
	100.0	0.2	1.0	6.0	79.1	13.8
22.坂下集会所	1,017	5	10	58	803	141
	100.0	0.5	1.0	5.7	79.0	13.9
23.石神集会所	1,017	3	13	54	807	140
	100.0	0.3	1.3	5.3	79.4	13.8
24.谷保東集会所	1,017	1	4	56	813	143
	100.0	0.1	0.4	5.5	79.9	14.1
25.富士見台二丁目集会所	1,017	8	27	85	758	139
	100.0	0.8	2.7	8.4	74.5	13.7
26.富士見台一丁目集会所	1,017	3	23	72	780	139
	100.0	0.3	2.3	7.1	76.7	13.7
27.一本松公会堂	1,017	1	1	56	817	142
	100.0	0.1	0.1	5.5	80.3	14.0
28.四軒在家福祉館	1,017	1	2	57	814	143
	100.0	0.1	0.2	5.6	80.0	14.1
29.久保公会堂	1,017	5	7	58	807	140
	100.0	0.5	0.7	5.7	79.4	13.8
30.南区公会堂	1,017	1	10	58	808	140
	100.0	0.1	1.0	5.7	79.4	13.8
31.立東福祉館	1,017	2	14	62	802	137
	100.0	0.2	1.4	6.1	78.9	13.5
32.西福祉館	1,017	4	15	72	782	144
	100.0	0.4	1.5	7.1	76.9	14.2
33.青柳福祉センター	1,017	3	17	66	791	140
	100.0	0.3	1.7	6.5	77.8	13.8
34.東福祉館	1,017	12	24	70	771	140
	100.0	1.2	2.4	6.9	75.8	13.8
35.北福祉館	1,017	6	22	68	780	141
	100.0	0.6	2.2	6.7	76.7	13.9
36.中平地域防災センター	1,017	5	20	65	783	144
	100.0	0.5	2.0	6.4	77.0	14.2
37.東地域防災センター	1,017	3	23	57	794	140
	100.0	0.3	2.3	5.6	78.1	13.8
38.下谷保地域防災センター	1,017	10	16	62	789	140
	100.0	1.0	1.6	6.1	77.6	13.8
39.富士見台地域防災センター	1,017	9	28	72	765	143
	100.0	0.9	2.8	7.1	75.2	14.1
40.中地域防災センター	1,017	4	30	67	772	144
	100.0	0.4	2.9	6.6	75.9	14.2
41.北市民プラザ会議室等	1,017	7	28	69	774	139
	100.0	0.7	2.8	6.8	76.1	13.7
42.南市民プラザ会議室等	1,017	2	11	62	799	143
	100.0	0.2	1.1	6.1	78.6	14.1

表 - 42 (問31-2.利用しなかった理由) [当該施設を「3.ほとんど利用しない」「4.利用しない」方]

(上段:n / 下段:%)

	合計	施設の有 在やサー ビス内容 を知らな い	利用する 必要がな い	施設、 サービ ス、利用 料金など に不満が ある	他の市、 都や国の 施設を利 用してい る	民間施設 を利用し ている	無回答
1.市役所	291	16	254	1	2	1	17
	100.0	5.5	87.3	0.3	0.7	0.3	5.8
2.北市民プラザ	746	133	541	6	18	3	45
	100.0	17.8	72.5	0.8	2.4	0.4	6.0
3.南市民プラザ	832	159	601	4	19	2	47
	100.0	19.1	72.2	0.5	2.3	0.2	5.6
4.中央図書館	531	58	354	25	40	10	44
	100.0	10.9	66.7	4.7	7.5	1.9	8.3
5.北市民プラザ図書館	737	106	552	11	29	3	36
	100.0	14.4	74.9	1.5	3.9	0.4	4.9
6.図書館分室(下谷分室)	862	149	632	6	34	3	38
	100.0	17.3	73.3	0.7	3.9	0.3	4.4
7.図書館分室(青柳分室)	863	146	638	8	32	3	36
	100.0	16.9	73.9	0.9	3.7	0.3	4.2
8.図書館分室(東分室)	843	144	620	8	32	3	36
	100.0	17.1	73.5	0.9	3.8	0.4	4.3
9.図書館分室(谷保東分室)	861	148	640	6	31	3	33
	100.0	17.2	74.3	0.7	3.6	0.3	3.8
10.図書館分室(南市民プラザ分室)	838	137	620	9	32	4	36
	100.0	16.3	74.0	1.1	3.8	0.5	4.3
11.公民館	668	90	498	16	14	5	45
	100.0	13.5	74.6	2.4	2.1	0.7	6.7
12.市民芸術小ホール	604	86	434	5	15	11	53
	100.0	14.2	71.9	0.8	2.5	1.8	8.8
13.郷土文化館	753	151	511	12	10	4	65
	100.0	20.1	67.9	1.6	1.3	0.5	8.6
14.市民総合体育館	637	85	443	21	17	30	41
	100.0	13.3	69.5	3.3	2.7	4.7	6.4
15.南市民プラザトレーニング室	848	221	547	7	17	17	39
	100.0	26.1	64.5	0.8	2.0	2.0	4.6
16.保健センター	717	151	494	4	8	14	46
	100.0	21.1	68.9	0.6	1.1	2.0	6.4
17.福祉会館	696	148	495	1	7	4	41
	100.0	21.3	71.1	0.1	1.0	0.6	5.9
18.子ども家庭支援センター	824	154	625	5	4	1	35
	100.0	18.7	75.8	0.6	0.5	0.1	4.2
19.矢川集会所	857	195	620	2	2	1	37
	100.0	22.8	72.3	0.2	0.2	0.1	4.3
20.中一丁目集会所	857	194	617	2	3	2	39
	100.0	22.6	72.0	0.2	0.4	0.2	4.6
21.千丑集会所	865	199	620	3	4	1	38
	100.0	23.0	71.7	0.3	0.5	0.1	4.4
22.坂下集会所	861	196	619	3	4	1	38
	100.0	22.8	71.9	0.3	0.5	0.1	4.4
23.石神集会所	861	197	621	3	4	1	35
	100.0	22.9	72.1	0.3	0.5	0.1	4.1
24.谷保東集会所	869	201	623	3	4	1	37
	100.0	23.1	71.7	0.3	0.5	0.1	4.3
25.富士見台二丁目集会所	843	186	607	5	5	0	40
	100.0	22.1	72.0	0.6	0.6	0.0	4.7
26.富士見台一丁目集会所	852	190	615	3	4	1	39
	100.0	22.3	72.2	0.4	0.5	0.1	4.6
27.一本松公会堂	873	213	616	3	4	1	36
	100.0	24.4	70.6	0.3	0.5	0.1	4.1
28.四軒在家福祉館	871	209	616	3	4	1	38
	100.0	24.0	70.7	0.3	0.5	0.1	4.4
29.久保公会堂	865	209	611	3	4	1	37
	100.0	24.2	70.6	0.3	0.5	0.1	4.3
30.南区公会堂	866	210	610	5	4	1	36
	100.0	24.2	70.4	0.6	0.5	0.1	4.2
31.立東福祉館	864	211	610	3	4	0	36
	100.0	24.4	70.6	0.3	0.5	0.0	4.2
32.西福祉館	854	204	604	3	4	0	39
	100.0	23.9	70.7	0.4	0.5	0.0	4.6
33.青柳福祉センター	857	205	601	4	5	2	40
	100.0	23.9	70.1	0.5	0.6	0.2	4.7
34.東福祉館	841	199	594	2	4	1	41
	100.0	23.7	70.6	0.2	0.5	0.1	4.9
35.北福祉館	848	208	595	3	4	0	38
	100.0	24.5	70.2	0.4	0.5	0.0	4.5
36.中平地域防災センター	848	219	587	2	4	1	35
	100.0	25.8	69.2	0.2	0.5	0.1	4.1
37.東地域防災センター	851	220	588	2	4	1	36
	100.0	25.9	69.1	0.2	0.5	0.1	4.2
38.下谷保地域防災センター	851	218	595	2	4	1	31
	100.0	25.6	69.9	0.2	0.5	0.1	3.6
39.富士見台地域防災センター	837	213	582	2	4	0	36
	100.0	25.4	69.5	0.2	0.5	0.0	4.3
40.中地域防災センター	839	207	589	2	3	2	36
	100.0	24.7	70.2	0.2	0.4	0.2	4.3
41.北市民プラザ会議室等	843	190	607	5	6	2	33
	100.0	22.5	72.0	0.6	0.7	0.2	3.9
42.南市民プラザ会議室等	861	204	612	5	6	0	34
	100.0	23.7	71.1	0.6	0.7	0.0	3.9

表 - 43 (問32.過去に建設した公共施設が、今後一斉に更新(建て替え)の時期を迎えます。公共施設の更新には膨大な費用が見込まれており、全ての公共施設を更新することは難しい状況です。あなたは公共施設の更新問題について関心がありますか、1つ をつけてください。)

	(上段:n / 下段:%)					
	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
[全体]	1,017	309	372	210	37	89
	100.0	30.4	36.6	20.6	3.6	8.8

表 - 44 (問33.公共施設更新問題の認知)[全体]

	(上段:n / 下段:%)				
	合計	読んだ	知っているが、読んでいない	知らない	無回答
(ア) 国立市公共施設白書(平成24年3月発行)	1,017	36	103	787	91
	100.0	3.5	10.1	77.4	8.9
(イ) 国立市公共施設等のあり方に関する研報告書(平成24年10月発行)	1,017	27	80	814	96
	100.0	2.7	7.9	80.0	9.4
(ウ) 国立市公共施設マネジメント基本方針(平成25年3月発行)	1,017	31	82	807	97
	100.0	3.0	8.1	79.4	9.5

表 - 45 (問34.経費削減施策の評価)[全体]

	(上段:n / 下段:%)					
	合計	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	無回答
(ア) 施設の統廃合や複合化により施設数を減らす	1,017	346	326	148	62	135
	100.0	34.0	32.1	14.6	6.1	13.3
(イ) 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	1,017	244	421	150	63	139
	100.0	24.0	41.4	14.7	6.2	13.7
(ウ) 施設の建て替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1,017	285	429	113	51	139
	100.0	28.0	42.2	11.1	5.0	13.7
(エ) 地域活動に密着した施設は地域住民が所有し、維持管理を行う	1,017	90	296	337	150	144
	100.0	8.8	29.1	33.1	14.7	14.2
(オ) 施設を補強し、大事に長く使う	1,017	336	419	92	37	133
	100.0	33.0	41.2	9.0	3.6	13.1
(カ) 施設を減らし、代わりに民間施設の利用に対して助成する	1,017	150	356	254	100	157
	100.0	14.7	35.0	25.0	9.8	15.4
(キ) 利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る	1,017	361	363	105	56	132
	100.0	35.5	35.7	10.3	5.5	13.0
(ク) 施設のサービス水準を引き下げることにより、運営費を削減する	1,017	70	186	380	234	147
	100.0	6.9	18.3	37.4	23.0	14.5
(ケ) 施設の利用料金を引き上げることにより、運営費を削減する	1,017	59	240	384	193	141
	100.0	5.8	23.6	37.8	19.0	13.9
(コ) 特別な税金の徴収などにより市民全体で負担する	1,017	33	123	370	357	134
	100.0	3.2	12.1	36.4	35.1	13.2

表 - 46 (問36.あなたは国立市政に関心がありますか、1つ をつけてください。)

	(上段:n / 下段:%)					
	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
[全体]	1,017	297	421	206	19	74
	100.0	29.2	41.4	20.3	1.9	7.3

表 - 47 (問37.あなたは、市で行っている仕事の内容や市が抱える問題について、どのような方法でお知りになりますか。(は3つまで))(複数回答)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	市報に たち	市議会だ より	公民館だ よりなど 市の刊行 物	国立市 ホーム ページ	新聞(日 刊紙)	所属して いる団 体・自治 会・町内 会などの 会合	掲示板
[全体]	1,017	872	433	221	158	127	56	53
	100.0	85.7	42.6	21.7	15.5	12.5	5.5	5.2

	合計	市議会議 員に聞く	市役所に 行って聞 く	ミニコミ 紙	その他	特にな い	無回答
[全体]	1,017	42	35	16	13	39	56
	100.0	4.1	3.4	1.6	1.3	3.8	5.5

表 - 48 (問38.あなたの意見や要望・苦情などを市に伝えたい場合、あなたはどうしますか。(は3つまで))(複数回答)

		(上段:n / 下段:%)						
	合計	市役所の 担当課に 行くか、 電話をす る	市役所の 市民相談 に行くか、 電話をす る	国立市に 手紙・封 書・電子 メール等 を送る	「くにたち 市民の 声」意見 箱に投書 する	市議会議 員に頼む	自治会や 町内会・ 団体など の役員に 頼む	市が開く 会合に参 加する
[全体]	1,017	570	274	123	79	76	63	21
	100.0	56.0	26.9	12.1	7.8	7.5	6.2	2.1

	合計	陳情や請 願をする	その他	伝えても 解決しな いのであ きらめる	面倒だか ら伝えない	伝えたい ことは特 にない	わからな い	無回答
[全体]	1,017	20	9	109	89	132	53	60
	100.0	2.0	0.9	10.7	8.8	13.0	5.2	5.9

表 - 49 (問39.市政への市民参画を進めるために、市はどのような施策を行うべきだと思いますか。(は3つまで))(複数回答)

		(上段:n / 下段:%)					
	合計	市政につ いての情 報を頻繁 に提供す る	公聴会、 シンポジ ウムなど 市民の意 見を直接 聞く機会 を増やす	市主催の 講座、講 演会を増 やす	ワーク ショップ など市民 からの提 案の場を 設ける	審議会、 協議会な どの会議 録の公開 を拡充す る	審議会、 協議会な どの参加 時間、方 法を工夫 する
[全体]	1,017	464	234	210	184	96	81
	100.0	45.6	23.0	20.6	18.1	9.4	8.0

	合計	市の各種 審議会、 協議会へ の市民公 募委員を 増やす	審議会、 協議会な どへの傍 聴の機会 と場を拡 充する	その他	特にな い	無回答
[全体]	1,017	73	66	38	171	103
	100.0	7.2	6.5	3.7	16.8	10.1